英語1 (1A)

11585

担当者名 / Instructor McCLUNG ROBERT JOHN

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (1B)

11737

担当者名 / Instructor　McCLUNG ROBERT JOHN

単位数 / Credit　2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部　2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (2A)

11574

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (2B)

11576

担当者名 / Instructor HARING DIANE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (2C)

11582

担当者名 / Instructor BONANG RICHARD F.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (2D)

11580

担当者名 / Instructor MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (2E)

11581

担当者名 / Instructor 池端 千賀子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (2F)

11729

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (2G)

11738

担当者名 / Instructor HARING DIANE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (2H)

11739

担当者名 / Instructor BONANG RICHARD F.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (2I)

11740

担当者名 / Instructor MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (2J)

11736

担当者名 / Instructor 池端 千賀子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (3A)

11577

担当者名 / Instructor DOYLE SHANE JAMES

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (3B)

11578

担当者名 / Instructor FLANAGAN BRUCE AARON

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (3C)

11575

担当者名 / Instructor WOOLLOCK ANDREW

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (3D)

11573

担当者名 / Instructor MULLIGAN CHRISTOPHER

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (3E)

11579

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (3F)

11735

担当者名 / Instructor　MULLIGAN CHRISTOPHER

単位数 / Credit　2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部　2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (3G)

11732

担当者名 / Instructor TEGLER GARY WEAVER

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (3H)

11733

担当者名 / Instructor DOYLE SHANE JAMES

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (3I)

11731

担当者名 / Instructor HOVEY ANDREW G.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (3J)

11734

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (4A)

11730

担当者名 / Instructor AMUNDRUD THOMAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (5A)

11572

担当者名 / Instructor GAROFALO RUSSELL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (KA)

11584

担当者名 / Instructor COSGROVE DAVID MARK

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (KB)

11583

担当者名 / Instructor AMUNDRUD THOMAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (KC)

11741

担当者名 / Instructor COSGROVE DAVID MARK

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語1 (KD)

11742

担当者名 / Instructor GAROFALO RUSSELL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に習得することを目指しますが、特にオーラル・コミュニケーション能力の改善をはかるため、リスニングとスピーキングを重視します。教員は、現代社会、グローバル化、異文化間コミュニケーションなどのテーマについてコンテント・ベースト・アプローチを用い、英語講義科目の聴解力、グループ・ディスカッションやプレゼンテーションのスキルに重点を置いた授業を行います。学生は、関心あるトピックを選び、多様な媒体(プリント、視聴覚資料、コンピュータなど)を通して、自分の意見を表現することを学びます。また、この科目で学んだプレゼンテーションのスキルの実践の場として、前期に実施される「産業社会学部英語弁論大会」への応募などが考えられます。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

● 英語の短い講義やプレゼンテーションを聴解できる(要旨を聴き取る;事実に関する情報をつかむ;文脈から意味を推測する;ノートを取るなど)。

● グループ・ディスカッションができる(英語で意見を述べ、それを理解・納得させるための論拠を示すことができる;他の人の意見に賛成や反対の意見を述べることができる;ディスカッションをリードできる;ディスカッションの内容を要約し、報告できるなど)。

● 口頭で短いプレゼンテーションができる(明確な導入と結論のあるプレゼンテーションを構成できる;例を示しながら要点を説明できる;論理的構成のための話題展開語句を適切に使用できるなど)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (1A)

11844

担当者名 / Instructor HOVEY ANDREW G.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (1B)

11679

担当者名 / Instructor HOVEY ANDREW G.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (2A)

11838

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (2B)

11837

担当者名 / Instructor GODINEZ NIEVES F.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (2C)

11841

担当者名 / Instructor 池端 千賀子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (2D)

11842

担当者名 / Instructor DOYLE SHANE JAMES

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (2E)

11843

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (2F)

11670

担当者名 / Instructor FLANAGAN BRUCE AARON

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (2G)

11683

担当者名 / Instructor DOYLE SHANE JAMES

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (2H)

11682

担当者名 / Instructor 池端 千賀子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (2I)

11681

担当者名 / Instructor BONANG RICHARD F.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (2J)

11678

担当者名 / Instructor PARKER MALCOLM E.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (3A)

11839

担当者名 / Instructor AMUNDRUD THOMAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (3B)

11833

担当者名 / Instructor RICHARDSON RYAN A.

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (3C)

11836

担当者名 / Instructor McCLUNG ROBERT JOHN

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (3D)

11840

担当者名 / Instructor HARING DIANE

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (3E)

11835

担当者名 / Instructor MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (3F)

11671

担当者名 / Instructor AMUNDRUD THOMAS

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (3G)

11672

担当者名 / Instructor GAROFALO RUSSELL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (3H)

11674

担当者名 / Instructor McCLUNG ROBERT JOHN

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (3I)

11675

担当者名 / Instructor 尾鍋 智子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (3J)

11673

担当者名 / Instructor MAIERL URSULA

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (4A)

11676

担当者名 / Instructor COSGROVE DAVID MARK

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (5A)

11834

担当者名 / Instructor COSGROVE DAVID MARK

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (KA)

11845

担当者名 / Instructor GAROFALO RUSSELL

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (KB)

11846

担当者名 / Instructor 平山 真奈美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (KC)

11680

担当者名 / Instructor 入江 伸光

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語2 (KD)

11677

担当者名 / Instructor WOOLLOCK ANDREW

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この科目は、英語の4つの技能を総合的に修得することを目指しますが、特にライティングに重点を置きます。
ライティングでは、自分が扱うテーマを紹介するパラグラフ(序論)、テーマを展開し、支持するパラグラフ(本論)、論述を要約するパラグラフ(結論)などをつないで、一つのエッセイを書くことを目標とします。英文のレトリック、パラグラフの展開方法(比較と対照、原因・結果、列挙と描例示、意見と理由など)とともに、ライティングの過程で必要なブレーンストーミング、アウトライン(要点の下書き)、校正、編集などの技能も学びます。学期の終わりに、この科目で学んだ技能を使ってエッセイを作成し、クラスごとの文集を作成する予定です。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- 与えられたWritingの課題について、その目的、対象の読者を理解し、それらに適した文体と書式を使うことができる。
- ブレーンストーミングのテクニックを使ってアイデアを生み出すことができる。
- アイデアを構成するためのアウトラインを書くことができる。
- 主要なアイデアを解説や例を使って展開できる。
- 明確な主題文のある一貫性のあるパラグラフを構成できる。
- 論理的に整合性・一貫性のあるエッセイを書くことができる。
- 他の人の書いたエッセイを読んで、評価、編集ができる。
- 他の文献からの情報をエッセイに引用し、参考文献リストを作成できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加。詳細は授業開始時に配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (1A)

10813

担当者名 / Instructor 清水 利宏

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills （英語重視コース）
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング（skimming）、スキャニング（scanning）などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。
- スキミング（skimming）：英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキャニング（scanning）：英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる（話題展開を示す語句を認識できる）。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (2A)

10655

担当者名 / Instructor 入江 伸光

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills （英語重視コース）
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング（skimming）、スキャニング（scanning）などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。
- スキミング（skimming）：英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキャニング（scanning）：英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる（話題展開を示す語句を認識できる）。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (2B)

10663

担当者名 / Instructor 尾鍋 智子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills （英語重視コース）
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング（skimming）、スキャニング（scanning）などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。
- スキミング（skimming）：英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキャニング（scanning）：英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる（話題展開を示す語句を認識できる）。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (2C)

10656

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills （英語重視コース）
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング（skimming）、スキャニング（scanning）などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。
- スキミング（skimming）：英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキャニング（scanning）：英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる（話題展開を示す語句を認識できる）。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (2D)

10664

担当者名 / Instructor 清水 利宏

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills （英語重視コース）
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング（skimming）、スキャニング（scanning）などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。
- スキミング（skimming）：英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキャニング（scanning）：英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる（話題展開を示す語句を認識できる）。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (2E)

10811

担当者名 / Instructor 入江 伸光

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills （英語重視コース）
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング（skimming）、スキャニング（scanning）などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。
- スキミング（skimming）：英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキャニング（scanning）：英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる（話題展開を示す語句を認識できる）。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (2F)

10819

担当者名 / Instructor 尾鍋 智子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills （英語重視コース）
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング（skimming）、スキャニング（scanning）などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。
- スキミング（skimming）：英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキャニング（scanning）：英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる（話題展開を示す語句を認識できる）。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (2G)

10812

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills （英語重視コース）
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング（skimming）、スキャニング（scanning）などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。
- スキミング（skimming）：英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキャニング（scanning）：英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる（話題展開を示す語句を認識できる）。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (3A)

10660

担当者名 / Instructor 平山 真奈美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills （英語重視コース）
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング（skimming）、スキャニング（scanning）などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。
- スキミング（skimming）：英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキャニング（scanning）：英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる（話題展開を示す語句を認識できる）。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (3B)

10661

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills （英語重視コース）
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング（skimming）、スキャニング（scanning）などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。
- スキミング（skimming）：英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキャニング（scanning）：英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる（話題展開を示す語句を認識できる）。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (3C)

10662

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills （英語重視コース）
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング（skimming）、スキャニング（scanning）などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。
- スキミング（skimming）：英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキャニング（scanning）：英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる（話題展開を示す語句を認識できる）。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (3D)

10654

担当者名 / Instructor ランザ 一美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills （英語重視コース）
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング（skimming）、スキャニング（scanning）などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。
- スキミング（skimming）：英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキャニング（scanning）：英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる（話題展開を示す語句を認識できる）。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (3E)

10809

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills （英語重視コース）
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング（skimming）、スキャニング（scanning）などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。
- スキミング（skimming）：英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキャニング（scanning）：英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる（話題展開を示す語句を認識できる）。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (3F)

10810

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills （英語重視コース）
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング（skimming）、スキャニング（scanning）などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。
- スキミング（skimming）：英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキャニング（scanning）：英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる（話題展開を示す語句を認識できる）。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (3G)

10817

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills （英語重視コース）
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング（skimming）、スキャニング（scanning）などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。
- スキミング（skimming）：英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキャニング（scanning）：英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる（話題展開を示す語句を認識できる）。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (3H)

10818

担当者名 / Instructor ランザ 一美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills （英語重視コース）
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング（skimming）、スキャニング（scanning）などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。
- スキミング（skimming）：英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキャニング（scanning）：英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる（話題展開を示す語句を認識できる）。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (4A)

10659

担当者名 / Instructor　東 自由里

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills （英語重視コース）
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング（skimming）、スキャニング（scanning）などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。
- スキミング（skimming）：英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキャニング（scanning）：英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる（話題展開を示す語句を認識できる）。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部　2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (5A)

10816

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills （英語重視コース）
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング（skimming）、スキャニング（scanning）などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。
- スキミング（skimming）：英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキャニング（scanning）：英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる（話題展開を示す語句を認識できる）。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (KA)

10657

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills （英語重視コース）
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング（skimming）、スキャニング（scanning）などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。
- スキミング（skimming）：英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキャニング（scanning）：英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる（話題展開を示す語句を認識できる）。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (KB)

10658

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills （英語重視コース）
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング（skimming）、スキャニング（scanning）などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。
- スキミング（skimming）：英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキャニング（scanning）：英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる（話題展開を示す語句を認識できる）。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語3 (KC)

10814

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Essential Reading Skills （英語重視コース）
この科目は、英語の基礎的読解力(Reading)に重点をおき、英語力を改善することをねらいとしています。語彙を増やし、テキストについて文脈をふまえ、主要なアイデアとそれを補強するアイデアを把握し、スキミング（skimming）、スキャニング（scanning）などの読む技能を習得します。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。
- スキミング（skimming）：英文をざっと読んで、主要なアイデアや要旨を読み取ることができる。
- スキャニング（scanning）：英文をざっと読んで、必要な情報を見つけることができる。
- テキストの妥当性を判断できる。
- 知らない語句の意味を、文脈から推測できる。
- 英文の事実と意見を区別できる。
- 主要なアイデアと、それを補強する具体的な情報や例などを区別できる。
- 言語で明確に表わされた情報と、暗示された情報を区別できる。
- 推論や結論を導くことができる。
- グラフ、図、表などが読み取れる。
- 英文の構成が理解できる（話題展開を示す語句を認識できる）。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (1A)

10734

担当者名 / Instructor　ランザ 一美

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

＜対象：英語重視コース＞ Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域（たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど）に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル（批評的）に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文（あるいは展開文）の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部　2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (2A)

10922

担当者名 / Instructor 清水 利宏

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

＜対象：英語重視コース＞ Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域（たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど）に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル（批評的）に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文（あるいは展開文）の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (2B)

10911

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

＜対象：英語重視コース＞ Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域（たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど）に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル（批評的）に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文（あるいは展開文）の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (2C)

10918

担当者名 / Instructor 平山 真奈美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

＜対象：英語重視コース＞ Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域（たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど）に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル（批評的）に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文（あるいは展開文）の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (2D)

10912

担当者名 / Instructor　ランザ 一美

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

＜対象：英語重視コース＞ Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域（たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど）に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル（批評的）に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文（あるいは展開文）の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部　2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (2E)

10732

担当者名 / Instructor 清水 利宏

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

＜対象：英語重視コース＞ Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域（たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど）に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル（批評的）に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文（あるいは展開文）の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (2F)

10725

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

＜対象：英語重視コース＞ Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域（たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど）に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル（批評的）に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文（あるいは展開文）の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (2G)

10733

担当者名 / Instructor 平山 真奈美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

＜対象：英語重視コース＞ Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域（たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど）に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル（批評的）に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文（あるいは展開文）の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (3A)

10914

担当者名 / Instructor 酒井 玲子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

＜対象：英語重視コース＞ Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域（たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど）に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル（批評的）に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文（あるいは展開文）の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (3B)

10915

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

＜対象：英語重視コース＞ Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域（たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど）に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル（批評的）に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文（あるいは展開文）の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (3C)

10916

担当者名 / Instructor 尾鍋 智子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

＜対象：英語重視コース＞ Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域（たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど）に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル（批評的）に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文（あるいは展開文）の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (3D)

10921

担当者名 / Instructor 入江 伸光

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

＜対象：英語重視コース＞ Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域（たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど）に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル（批評的）に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文（あるいは展開文）の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (3E)

10735

担当者名 / Instructor 馬場 智姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

＜対象：英語重視コース＞ Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域（たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど）に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル（批評的）に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文（あるいは展開文）の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (3F)

10736

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

＜対象：英語重視コース＞ Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域（たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど）に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル（批評的）に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文（あるいは展開文）の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (3G)

10728

担当者名 / Instructor 尾鍋 智子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

＜対象：英語重視コース＞ Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域（たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど）に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル（批評的）に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文（あるいは展開文）の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (3H)

10729

担当者名 / Instructor 入江 伸光

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

＜対象：英語重視コース＞ Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域（たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど）に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル（批評的）に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文（あるいは展開文）の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (4A)

10913

担当者名 / Instructor HOSACK IAN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

＜対象：英語重視コース＞ Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域（たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど）に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル（批評的）に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文（あるいは展開文）の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (5A)

10727

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

＜対象：英語重視コース＞ Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域（たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど）に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル（批評的）に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文（あるいは展開文）の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (KA)

10919

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

＜対象：英語重視コース＞ Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域（たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど）に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル（批評的）に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文（あるいは展開文）の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (KB)

10920

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

＜対象：英語重視コース＞ Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域（たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど）に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル（批評的）に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文（あるいは展開文）の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語4 (KC)

10737

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

＜対象：英語重視コース＞ Critical Reading and Discussion

この科目は、産業社会学部の「専門性」と連携して、さまざまな専門領域（たとえば、家族、福祉、ジェンダー、メディアなど）に関連した、多様なタイプの英文テキストをクリティカル（批評的）に読み、議論する力を養います。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では、次のような技能の習得を目指します。

- テキストの主題とそれを支持するアイデアを見分けることができる。
- 支持文（あるいは展開文）の情報が妥当かどうかを判断できる。
- テキストの中の事実と意見を区別できる。
- 主題に関する著者の姿勢を理解できる。
- テキストの目的と著者の意図をつかむことができる。
- 同一の問題について書かれたさまざまな著者の意見を、比較・対照できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (1A)

11352

担当者名 / Instructor 蛇持 純子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):
This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (2A)

11210

担当者名 / Instructor 入江 伸光

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):
This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (2B)

11215

担当者名 / Instructor 山口 和夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):
This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (2C)

11216

担当者名 / Instructor 清水 利宏

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):
This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (2D)

11217

担当者名 / Instructor 平山 真奈美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):
This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (2E)

11348

担当者名 / Instructor 入江 伸光

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):
This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (2F)

11349

担当者名 / Instructor 山口 和夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):
This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (2G)

11350

担当者名 / Instructor 清水 利宏

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):
This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (2H)

11351

担当者名 / Instructor 平山 真奈美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (3A)

11207

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):
This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (3B)

11208

担当者名 / Instructor TEGLER GARY WEAVER

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (3C)

11209

担当者名 / Instructor 尾鍋 智子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):
This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (3D)

11222

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):
This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (3E)

11344

担当者名 / Instructor 坂本 利子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):
This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (3F)

11345

担当者名 / Instructor 尾鍋 智子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (3G)

11339

担当者名 / Instructor 伊東 寿泰

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):
This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (3H)

11346

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):
This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (4A)

11221

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):
This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (5A)

11338

担当者名 / Instructor SANDERS MATTHEW R.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (KA)

11218

担当者名 / Instructor DUQUETTE JEAN-PAUL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (KB)

11219

担当者名 / Instructor SANDERS MATTHEW R.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):

This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語5 (KC)

11353

担当者名 / Instructor 東 自由里

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

メディアと時事英語 (Media English I):
This course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. Instructors use authentic (or authentic-like) items from TV and/or radio news to develop students' listening comprehension skills. While providing students with a knowledge of journalistic English, the course should also help develop skills, such as the ability to:1)understand the gist of a news report– extract factual information from a news report,2) distinguish between fact & opinion, 3) follow the sequence of reported events
4) make a brief oral / written summary of a news item, 5)recognize characteristic features of broadcast news English

到達目標 / Attainment Objectives

国内外の時事問題に対する関心を英語学習によって高める。必要とする情報を迅速に的確に入手できる読み方、聞き取り方を身につける。時事的な背景知識にも言及しながら、時事英語の持つ文体的、構造的特徴、構文把握法、語彙の特徴を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
第2回	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	
第3回		
第4回		
第5回		
第6回		
第7回		
第8回		
第9回		
第10回		
第11回		
第12回		
第13回		
第14回		
第15回		

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (1A)

11280

担当者名 / Instructor 山口 和夫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II
Print Media
(Required for students following the English-emphasis course
Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (2A)

11423

担当者名 / Instructor 尾鍋 智子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II
Print Media
(Required for students following the English-emphasis course
Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (2B)

11420

担当者名 / Instructor 入江 伸光

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II
Print Media
(Required for students following the English-emphasis course
Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (2C)

11419

担当者名 / Instructor 蛇持 純子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II
Print Media
(Required for students following the English-emphasis course
Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (2D)

11421

担当者名 / Instructor 河島 美代子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II
Print Media
(Required for students following the English-emphasis course
Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (2E)

11281

担当者名 / Instructor 尾鍋 智子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II
Print Media
(Required for students following the English-emphasis course
Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (2F)

11282

担当者名 / Instructor 河島 美代子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II
Print Media
(Required for students following the English-emphasis course
Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (2G)

11279

担当者名 / Instructor 入江 伸光

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II
Print Media
(Required for students following the English-emphasis course
Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (2H)

11283

担当者名 / Instructor 蛇持 純子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II
Print Media
(Required for students following the English-emphasis course
Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (3A)

11432

担当者名 / Instructor SANDERS MATTHEW R.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II
Print Media
(Required for students following the English-emphasis course
Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (3B)

11431

担当者名 / Instructor 平山 真奈美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II
Print Media
(Required for students following the English-emphasis course
Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (3C)

11430

担当者名 / Instructor 池内 靖子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II
Print Media
(Required for students following the English-emphasis course
Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (3D)

11424

担当者名 / Instructor 清水 利宏

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II
Print Media
(Required for students following the English-emphasis course
Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (3E)

11276

担当者名 / Instructor 清水 利宏

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II
Print Media
(Required for students following the English-emphasis course
Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (3F)

11277

担当者名 / Instructor 平山 真奈美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II
Print Media
(Required for students following the English-emphasis course
Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (3G)

11284

担当者名 / Instructor MILLER WARREN A.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II
Print Media
(Required for students following the English-emphasis course
Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (3H)

11278

担当者名 / Instructor SANDERS MATTHEW R.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II
Print Media
(Required for students following the English-emphasis course
Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (4A)

11433

担当者名 / Instructor HOSACK IAN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II
Print Media
(Required for students following the English-emphasis course
Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (5A)

11275

担当者名 / Instructor KUZEL JOHN MICHAEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II
Print Media
(Required for students following the English-emphasis course
Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (KA)

11418

担当者名 / Instructor KUZEL JOHN MICHAEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II
Print Media
(Required for students following the English-emphasis course
Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (KB)

11428

担当者名 / Instructor MILLER WARREN A.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II
Print Media
(Required for students following the English-emphasis course
Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語6 (KC)

11273

担当者名 / Instructor COSGROVE DAVID MARK

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

English 6: Media English II

Print Media

(Required for students following the English-emphasis course

Along with English 5, this course aims to develop students' ability to comprehend and respond critically to the English media. English 6 focuses on the written word, using topical articles in both traditional newspaper format and from on-line Internet news sources. While providing students with knowledge of journalistic English, the course should also help develop critical reading and thinking skills.

到達目標 / Attainment Objectives

- read for gist; read for specific information
- distinguish between fact & opinion
- distinguish explicit & implicit information
- identify an author's viewpoint
- evaluate evidence offered in support of an opinion
- draw inferences and conclusions
- recognize characteristic features of print media English

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	Orientation	Self-Introduction, Explanation of Attainment Objectives, Procedures, and Grading Methods
	以下の詳細は、担当教員から授業開始第一週に配布されるシラバスを参照	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

各担当者より指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	課題、発表、出席、小テスト、授業参加を含む。詳細は授業で配布されるシラバスを確認すること。2/3 以上の授業に出席した者のみ成績評価の対象となる。出席点のみで単位を認定することはない。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

自分のクラスを確認し、指定されているテキストを生協で購入すること。

参考書 / Reference Books

産業社会学部 2011年度「外国語ハンドブック」を参照

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

英語音声演習1（単位回復）(Z1)

11847

担当者名 / Instructor　平尾 日出夫

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

ビジネスシーンでの機能的会話遂行のための基礎的演習
この講座では、Quick Englishビジネス会話編1(前期)を使用しながら基本的なビジネスシーンでの機能的会話遂行能力の基礎を養うことを目指している。授業では、上述のソフトウェアを使用しながら、聞き取りと会話の基礎的演習を中心に行なっていく。

到達目標 / Attainment Objectives

ビジネスの様々なシーンで必要とされる機能的会話能力を最低限遂行することが出来るだけの言語能力の養成を目指している。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Unit 1	ビジネス英会話
2	Unit 2	ビジネス英会話
3	Unit 3	ビジネス英会話
4	Unit 4	ビジネス英会話
5	Unit 5	ビジネス英会話
6	前半総合演習＋検証テスト1	ビジネス英会話
7	前半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
8	Unit 6	ビジネス英会話
9	Unit 7	ビジネス英会話
10	Unit 8	ビジネス英会話
11	Unit 9	ビジネス英会話
12	Unit 10	ビジネス英会話
13	後半総合演習＋検証テスト2	ビジネス英会話
14	後半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
15	総合練習	ビジネス英会話、ビデオソフトを使っての聞取り総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

会話能力を高めるには、インターネット等で英語のニュースやインタビュー番組を見たり、洋画を鑑賞したりして、日頃から英語の音声媒体にできるだけ多く触れることを心がけてください。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表等なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトを利用した授業を行う。ソフトは大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ABC　http://abcnews.go.com/
VOA　http://www.voanews.com/
BBC World Service　http://www.bbc.co.uk/worldservice/
NHK　http://www.nhk.or.jp/rj/podcast/index.html
Randall's ESL Cyber Listening Lab　http://www.esl-lab.com/index.htm

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語音声演習1（単位回復）(Z2)

11919

担当者名 / Instructor　平尾 日出夫

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

ビジネスシーンでの機能的会話遂行のための基礎的演習
この講座では、Quick Englishビジネス会話編1(前期)を使用しながら基本的なビジネスシーンでの機能的会話遂行能力の基礎を養うことを目指している。授業では、上述のソフトウェアを使用しながら、聞き取りと会話の基礎的演習を中心に行なっていく。

到達目標 / Attainment Objectives

ビジネスの様々なシーンで必要とされる機能的会話能力を最低限遂行することが出来るだけの言語能力の養成を目指している。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Unit 1	ビジネス英会話
2	Unit 2	ビジネス英会話
3	Unit 3	ビジネス英会話
4	Unit 4	ビジネス英会話
5	Unit 5	ビジネス英会話
6	前半総合演習＋検証テスト1	ビジネス英会話
7	前半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
8	Unit 6	ビジネス英会話
9	Unit 7	ビジネス英会話
10	Unit 8	ビジネス英会話
11	Unit 9	ビジネス英会話
12	Unit 10	ビジネス英会話
13	後半総合演習＋検証テスト2	ビジネス英会話
14	後半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
15	総合練習	ビジネス英会話、ビデオソフトを使っての聞取り総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

会話能力を高めるには、インターネット等で英語のニュースやインタビュー番組を見たり、洋画を鑑賞したりして、日頃から英語の音声媒体にできるだけ多く触れることを心がけてください。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表等なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトを利用した授業を行う。ソフトは大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ABC　http://abcnews.go.com/
VOA　http://www.voanews.com/
BBC World Service　http://www.bbc.co.uk/worldservice/
NHK　http://www.nhk.or.jp/rj/podcast/index.html
Randall's ESL Cyber Listening Lab　http://www.esl-lab.com/index.htm

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語音声演習2（単位回復）（Z1）

11878

担当者名 / Instructor　平尾 日出夫

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

ビジネスシーンでの機能的会話遂行のための基礎的演習
この講座では、Quick Englishビジネス会話編2(後期)を使用しながら基本的なビジネスシーンでの機能的会話遂行能力の基礎を養うことを目指している。授業では、上述のソフトウェアを使用しながら、聞き取りと会話の基礎的演習を中心に行なっていく。

到達目標 / Attainment Objectives

ビジネスの様々なシーンで必要とされる機能的会話能力を最低限遂行することが出来るだけの言語能力の養成を目指している。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Unit 1	ビジネス英会話
2	Unit 2	ビジネス英会話
3	Unit 3	ビジネス英会話
4	Unit 4	ビジネス英会話
5	Unit 5	ビジネス英会話
6	前半総合演習＋検証テスト1	ビジネス英会話
7	前半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
8	Unit 6	ビジネス英会話
9	Unit 7	ビジネス英会話
10	Unit 8	ビジネス英会話
11	Unit 9	ビジネス英会話
12	Unit 10	ビジネス英会話
13	後半総合演習＋検証テスト2	ビジネス英会話
14	後半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
15	総合練習	ビジネス英会話、ビデオソフトを使っての聞取り総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

会話能力を高めるには、インターネット等で英語のニュースやインタビュー番組を見たり、洋画を鑑賞したりして、日頃から英語の音声媒体にできるだけ多く触れることを心がけてください。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表等なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトを利用した授業を行う。ソフトは大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ABC　http://abcnews.go.com/
VOA　http://www.voanews.com/
BBC World Service　http://www.bbc.co.uk/worldservice/
NHK　http://www.nhk.or.jp/rj/podcast/index.html
Randall's ESL Cyber Listening Lab　http://www.esl-lab.com/index.htm

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語音声演習2（単位回復）（Z2）

11928

担当者名 / Instructor　平尾 日出夫

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

ビジネスシーンでの機能的会話遂行のための基礎的演習
この講座では、Quick Englishビジネス会話編2(後期)を使用しながら基本的なビジネスシーンでの機能的会話遂行能力の基礎を養うことを目指している。授業では、上述のソフトウェアを使用しながら、聞き取りと会話の基礎的演習を中心に行なっていく。

到達目標 / Attainment Objectives

ビジネスの様々なシーンで必要とされる機能的会話能力を最低限遂行することが出来るだけの言語能力の養成を目指している。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Unit 1	ビジネス英会話
2	Unit 2	ビジネス英会話
3	Unit 3	ビジネス英会話
4	Unit 4	ビジネス英会話
5	Unit 5	ビジネス英会話
6	前半総合演習＋検証テスト1	ビジネス英会話
7	前半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
8	Unit 6	ビジネス英会話
9	Unit 7	ビジネス英会話
10	Unit 8	ビジネス英会話
11	Unit 9	ビジネス英会話
12	Unit 10	ビジネス英会話
13	後半総合演習＋検証テスト2	ビジネス英会話
14	後半の各ユニットの総括練習	ビジネス英会話
15	総合練習	ビジネス英会話、ビデオソフトを使っての聞取り総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

会話能力を高めるには、インターネット等で英語のニュースやインタビュー番組を見たり、洋画を鑑賞したりして、日頃から英語の音声媒体にできるだけ多く触れることを心がけてください。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表等なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトを利用した授業を行う。ソフトは大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ABC　http://abcnews.go.com/
VOA　http://www.voanews.com/
BBC World Service　http://www.bbc.co.uk/worldservice/
NHK　http://www.nhk.or.jp/rj/podcast/index.html
Randall's ESL Cyber Listening Lab　http://www.esl-lab.com/index.htm

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語総合講義（単位回復）（Z1）

11848

担当者名 / Instructor　東 自由里

単位数 / Credit　2

授業の概要 / Course Outline

必修英語で2単位以上の未修得が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつうじて、英語という言語、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

到達目標 / Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。
英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	前半：授業の概要と導入／後半：SRA Starting Level Guide	
第2回目	前半：第1章　英語の学習／後半：SRA Power Builder Starter	
第3回目	前半：第2章　英語の音声／後半：SRAリーディング実習	
第4回目	前半：第2章　英語の音声（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第5回目	前半：第3章　リーディング／後半：SRAリーディング実習	
第6回目	前半：第3章　リーディング（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第7回目	前半：第3章　リーディング（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第8回目	前半：質疑応答（15分）と中間まとめテスト（30分） 後半：SRAリーディング実習（45分）	
第9回目	前半：第4章　ライティング／後半：SRAリーディング実習	
第10回目	前半：第4章　ライティング（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第11回目	前半：第4章　ライティング（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第12回目	前半：第4章　ライティング（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第13回目	前半：第5章　発展　後半：SRAリーディング実習	
第14回目	前半：第5章　発展（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第15回目	前半：質疑応答（15分）と期末まとめテスト（30分） 後半：SRAリーディング実習（到達度確認）（45分）	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

教科書（指定された箇所）は各自で予習をすることを基本とし、授業では補足説明を行います。授業で取り上げなかった項目も含めて、まとめテストの出題範囲とします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	中間まとめテスト（第8回目）25% 期末まとめテスト（第15回目）25% SRA（学習記録とテスト（第15回目）50%

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

第1回授業で実施する測定にもとづいて学習を進めますので、必ず出席して下さい。QRコードシールを毎回忘れないように。この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎	九州大学大学院言語文化研究院英語Ⅰ共通教科書編集委員会編／九州大学出版

的英語学習情報　　会／978-4-87378-939-2／全員が購入し、第2回以降の授業に毎回持参して下さい。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

「A PASSAGE TO ENGLISH　大学生のための基礎的英語学習情報」資料
http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~passage/passage.html

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

第1回授業で指示します。

その他 / Others

中間まとめテスト（第8回）、期末まとめテスト（第15回）には学生証を持参して下さい。

英語総合講義（単位回復）（Z2）

12893

担当者名 / Instructor　吉岡 公美子

単位数 / Credit　2

授業の概要 / Course Outline

必修英語で2単位以上の未修得が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつうじて、英語という言語、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

到達目標 / Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。
英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	前半：授業の概要と導入／後半：SRA Starting Level Guide	
第2回目	前半：第1章　英語の学習／後半：SRA Power Builder Starter	
第3回目	前半：第2章　英語の音声／後半：SRAリーディング実習	
第4回目	前半：第2章　英語の音声（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第5回目	前半：第3章　リーディング／後半：SRAリーディング実習	
第6回目	前半：第3章　リーディング（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第7回目	前半：第3章　リーディング（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第8回目	前半：質疑応答（15分）と中間まとめテスト（30分） 後半：SRAリーディング実習（45分）	
第9回目	前半：第4章　ライティング／後半：SRAリーディング実習	
第10回目	前半：第4章　ライティング（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第11回目	前半：第4章　ライティング（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第12回目	前半：第4章　ライティング（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第13回目	前半：第5章　発展　後半：SRAリーディング実習	
第14回目	前半：第5章　発展（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第15回目	前半：質疑応答（15分）と期末まとめテスト（30分） 後半：SRAリーディング実習（到達度確認）（45分）	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

教科書（指定された箇所）は各自で予習をすることを基本とし、授業では補足説明を行います。授業で取り上げなかった項目も含めて、まとめテストの出題範囲とします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	中間まとめテスト（第8回目）25% 期末まとめテスト（第15回目）25% SRA（学習記録とテスト（第15回目）50%

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

第1回授業で実施する測定にもとづいて学習を進めますので、必ず出席して下さい。QRコードシールを毎回忘れないように。この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎	九州大学大学院言語文化研究院英語Ⅰ共通教科書編集委員会編／九州大学出版

的英語学習情報　　会／978-4-87378-939-2／全員が購入し、第2回以降の授業に毎回持参して下さい。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

「A PASSAGE TO ENGLISH　大学生のための基礎的英語学習情報」資料
http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~passage/passage.html

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

第1回授業で指示します。

その他 / Others

中間まとめテスト（第8回）、期末まとめテスト（第15回）には学生証を持参して下さい。

英語総合講義（単位回復）（Z3）

11879

担当者名 / Instructor　池内 靖子

単位数 / Credit　2

授業の概要 / Course Outline

必修英語で2単位以上の未修得が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつうじて、英語という言語、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

到達目標 / Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。
英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	前半：授業の概要と導入／後半：SRA Starting Level Guide	
第2回目	前半：第1章　英語の学習／後半：SRA Power Builder Starter	
第3回目	前半：第2章　英語の音声／後半：SRAリーディング実習	
第4回目	前半：第2章　英語の音声（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第5回目	前半：第3章　リーディング／後半：SRAリーディング実習	
第6回目	前半：第3章　リーディング（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第7回目	前半：第3章　リーディング（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第8回目	前半：質疑応答（15分）と中間まとめテスト（30分） 後半：SRAリーディング実習（45分）	
第9回目	前半：第4章　ライティング／後半：SRAリーディング実習	
第10回目	前半：第4章　ライティング（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第11回目	前半：第4章　ライティング（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第12回目	前半：第4章　ライティング（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第13回目	前半：第5章　発展　後半：SRAリーディング実習	
第14回目	前半：第5章　発展（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第15回目	前半：質疑応答（15分）と期末まとめテスト（30分） 後半：SRAリーディング実習（到達度確認）（45分）	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

教科書（指定された箇所）は各自で予習をすることを基本とし、授業では補足説明を行います。授業で取り上げなかった項目も含めて、まとめテストの出題範囲とします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	中間まとめテスト（第8回目）25% 期末まとめテスト（第15回目）25% SRA（学習記録とテスト（第15回目）50%

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

第1回授業で実施する測定にもとづいて学習を進めますので、必ず出席して下さい。QRコードシールを毎回忘れないように。この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎	九州大学大学院言語文化研究院英語Ⅰ共通教科書編集委員会編／九州大学出版

的英語学習情報　　会／978-4-87378-939-2／全員が購入し、第2回以降の授業に毎回持参して下さい。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

「A PASSAGE TO ENGLISH　大学生のための基礎的英語学習情報」資料
http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~passage/passage.html

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

第1回授業で指示します。

その他 / Others

中間まとめテスト（第8回）、期末まとめテスト（第15回）には学生証を持参して下さい。

英語総合講義（単位回復）（Z4）

12925

担当者名 / Instructor　ランザ 一美

単位数 / Credit　2

授業の概要 / Course Outline

必修英語で2単位以上の未修得が発生した際にまず受講する、週1回の授業です。講義と実習をつうじて、英語という言語、また英語圏文化についての理解を深め、英語学習上の弱点を克服することに資する科目です。

到達目標 / Attainment Objectives

大学生として必要な最低限度の英語運用能力をつける。
英語学習のコツをつかみ、自立した英語学習者となる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	前半：授業の概要と導入／後半：SRA Starting Level Guide	
第2回目	前半：第1章　英語の学習／後半：SRA Power Builder Starter	
第3回目	前半：第2章　英語の音声／後半：SRAリーディング実習	
第4回目	前半：第2章　英語の音声（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第5回目	前半：第3章　リーディング／後半：SRAリーディング実習	
第6回目	前半：第3章　リーディング（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第7回目	前半：第3章　リーディング（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第8回目	前半：質疑応答（15分）と中間まとめテスト（30分） 後半：SRAリーディング実習（45分）	
第9回目	前半：第4章　ライティング／後半：SRAリーディング実習	
第10回目	前半：第4章　ライティング（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第11回目	前半：第4章　ライティング（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第12回目	前半：第4章　ライティング（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第13回目	前半：第5章　発展　後半：SRAリーディング実習	
第14回目	前半：第5章　発展（続き）／後半：SRAリーディング実習	
第15回目	前半：質疑応答（15分）と期末まとめテスト（30分） 後半：SRAリーディング実習（到達度確認）（45分）	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

教科書（指定された箇所）は各自で予習をすることを基本とし、授業では補足説明を行います。授業で取り上げなかった項目も含めて、まとめテストの出題範囲とします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	中間まとめテスト（第8回目）25% 期末まとめテスト（第15回目）25% SRA（学習記録とテスト（第15回目）50%

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

第1回授業で実施する測定にもとづいて学習を進めますので、必ず出席して下さい。QRコードシールを毎回忘れないように。この科目の履修をつうじて英語学習の楽しさを知り、必修科目の学習にも自信を持って取り組めるよう、ともに頑張りましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
A PASSAGE to ENGLISH 大学生のための基礎	九州大学大学院言語文化研究院英語Ⅰ共通教科書編集委員会編／九州大学出版

的英語学習情報　　会／978-4-87378-939-2／全員が購入し、第2回以降の授業に毎回持参して下さい。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

「A PASSAGE TO ENGLISH　大学生のための基礎的英語学習情報」資料
http://www.flc.kyushu-u.ac.jp/~passage/passage.html

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

第1回授業で指示します。

その他 / Others

中間まとめテスト（第8回）、期末まとめテスト（第15回）には学生証を持参して下さい。

英語特別講義(単位回復)(Z1)

10601

担当者名 / Instructor 入江 伸光

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

音楽を使ってディクテーションをします。歌詞から良くつかわれる表現、文法を学びます。曲の説明とバックグラウンドを読み、リーディング力を養います。最後に歌うことで発音の練習をします。

到達目標 / Attainment Objectives

日常よく使う英語の表現を音楽から学び、リスニング力、リーディング力をつける。グループワークをしながら、お互いに学びあう。音楽を通して楽しく英語を学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Class Guidancee	
2	Unit 1: I Need To Be In Love	
3	Unit 2: We've Only Just Begun	
4	Unit 3: Superstar	
5	Quiz 1, More Listening Activity	
6	Unit 4: Rainy Days and Mondays	
7	Unit 5: Top Of The World	
8	Unit 7: Only Yesterday	
9	Quiz 2, More Listening Activity	
10	Unit 15: Please Mr. Postman	
11	Unit 21: (They Long To Be) Close To You	
12	Unit 22: Yesterday Once More	
13	Quiz 3, More Listening Activity	
14	Preparation for the Singing Test	
15	Singing Test	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト(Singing Testを含む)50% 出席(Review Listening)30% 授業参加とグループリーダーレポート 20%

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

1回目の授業に欠席しないようにして下さい。グループのメンバーとよくコミュニケーションを取って、楽しく授業に参加して下さい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
カーペンターズで学ぶ英語	James House／成美堂／4-7919-4548-4／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

英語特別講義(単位回復)(Z2)

11918

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

We will study English by reading and listening, and then review basic English grammar with some charming materials on the following topics shown in the course Schedule.

到達目標 / Attainment Objectives

To get used to reading and listening.
To review some important English grammar.
To get some useful information on reading skills.
To get richer vocabulary.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Orientation	How to Study
2	Houses Made of Straw	relatives
3	Making Paper by Hand	passive voice
4	The Battle of the Brains	infinitives
5	Got Milk? How to Make Yogurt	sentence patterns
6	Bringing Light to Homes in Poor Countries	less
7	A New Treatment for Those Who Have Lost an Arm	could, would, might
8	Teens, Televisoin, and Depression	numbers
9	Where Did 'OK' Come from?	where & when
10	You Can See This Art for Free on Streets around the World	how & why
11	Moving beyound 'It's This or It's This' in Discussing Controversial Topics	what & the way that
12	Write or Worng: The Death of Handwriting?	present perfect, present progress
13	A Cool Way to Keep Food from Spoiling	sentence patterns
14	Review (30 minutes) Final Test (60 minutes)	Vocabulary
15	Need an Answer? Just Ask the Box	compound conjunctions

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	60%: Attendance, Hard working to fill in the Class File, including "Short Writing on the Topic" in class, Contribution to class activities. 40%: Paper Test during the 14th (the second last) lecture.

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Bring your English-English / English-Japanese dictionary with you to study English hard every class.

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Steady Steps with VOA!	宮原一成／開文社／978-4-87571-152-0／

参考書 / Reference Books

Available good web-sites for studying English are shown in class.

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

TBA : Available good web-sites for studying English are shown in class.

後で授業中に紹介します。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

コミュニケーションペーパー／Communication Paper

学生との直接対話／Talk with Students

その他 ／ Other

mail to: nst03700@pl.ritsumei.ac.jp

その他 / Others

英語特別講義は、例えばZ2&Z4のように、複数履修が可能である。

英語特別講義(単位回復)(Z3)

10623

担当者名 / Instructor 上田 由利子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

読みやすい英文の読み物を取り上げます。毎時間、小テストをします。不足していた、英語力を補うようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

リーディングに力点を置きつつ、4技能の伸長を図ります。大学卒業までに最低限身に受けておきたい英語運用能力を総合的に補強します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1回目	クラス・ガイダンス	
2回目	2回目と3回目は、テキストの物語の全体像を把握することに努めます。	2回目に理解したことを、要約して提出です。これで、出席のチェックをかねます。
3回目	2回目の続き。	3回目に理解したことを要約して提出。 これで、出席のチェックをかねます。
4回目以降	ch1～ 以降を毎時、1チャプターづつの予定で進みます。30分後に小テストを行います。範囲は、前回の授業内容に関してです・	
8回目	中間テスト	
9～13回目	ch5以降を読みます。進み方は、前半と同じです。	
14回目	テストのための準備勉強	
15回目	試験と解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

予習を必ずすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	100%といっても、このクラスは最高点が69点で評価はCです。 出席:10点(1回の欠席で2点の減点です) 授業中の提出物は、遅刻や欠席の判断にも使 います。 提出物:19点(欠席すると、結果的に点数がとれ ませんので要注意) 試験:30点 遅刻や授業の取り組みを評価に加味します。

1回目の授業は必ず出席すること。単位習得に関する説明をします。

QRコードは、毎回必ず持参すること。このクラスでは、QRコードのない提出物は、未提出扱いとなります。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

単位回復のチャンスを無駄にしないように。上記に記述していますが、出席、遅刻、途中退室、欠席については厳しくチェックします。公欠は2親等内の忌引き、学校の認めた行事参加のみです。クラブ(試合、遠征も含めて)公欠にはなりません。また、出席日数が足りていても、提出物や成績が合格点に満たない時は、単位の習得はできません。就職活動での欠席も公欠扱いではありませんので、気をつけてください。
基本的に、英語の力不足を補うクラスですので、それぞれのレヴェルに応じて、その目的が達成されるために、1年時に上級クラス(A～J)wを履修していた人には、レベルに合わせて、追加の課題を課す予定です。です。それを理解、納得したうえで、受講してください。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Rain Man	Leonore Fleischer／Longman／9781405876773／Penguin Readers

後期科目ですので、テキストの変更の可能性がありますが、その時は掲示などによりお知らせいたします

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

コミュニケーションペーパー／Communication Paper

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

英語特別講義(単位回復)(Z4)

11927

担当者名 / Instructor 芝原 直美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

We will study some English grammar, reading strategies, and some useful information about health and environment.

到達目標 / Attainment Objectives

To get used to reading and listening to some easy American English passages from Voice of America Special English
In addtion, to review some English grammar and vocabulary

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Salt	How to study
2	Development	How to Listen
3	Sleep	English Paragraph
4	Saving the River	5 Sentence Patterns
5	Healthiest Countries	Main Idea
6	To Reduce Agricultural Emissions	Listening a lot
7	Loneliness and Social Networks	Transitions
8	Crop Insurance	Content Words
9	Understanding Language and the Brain	Supporting Information
10	Not enough Water	Functional Words
11	Live Healthier	Summary
12	Pirates	Shadowing
13	Gelotophobia	How to Write
14	Review (30 minutes) The Final Test (60 minutes)	Genetic Engineering
15	Against Pneumonia	Review

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	40% Paper Test in the 14th(second last) lecture. 60% Attendance, Hard working, Contribution to class activities, Short Writing on the topic in class.

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Bring your English-English / English-Japanese dictionary with you to study hard every class.

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Global Health & Environment: VOA Topics from Around the World	安浪誠祐, Richard S. Lavin／松柏社／978-4-88198-641-7／CD付き

参考書 / Reference Books

Available good sites are shown in class.

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

TBA: Available good sites are shown in class.

後で授業中に紹介します。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

コミュニケーションペーパー／Communication Paper

学生との直接対話／Talk with Students

その他 ／ Other

mail to: nst03700@pl.ritsumei.ac.jp

その他 / Others

英語読解演習1（単位回復）(Z1)

10602

担当者名 / Instructor　ランザ 一美

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成
この講座は、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介在することなく直接読み進めていく能力の養成を図るものである。

到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
7	前半総合演習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
14	後半総合演習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、ソフトを使用した読解の総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

英語読解能力を高めるには、常日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていくことが必要です。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表等なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Japantimes http://www.japantimes.co.jp/
Asahi http://www.asahi.com/
Daily Yomiuri http://www. yomiuri.co.jp/dy/
Mainich Daily News http://mdn.mainichi.jp/
CNN http://www.cnn.com/
USA Today http://www.usatoday.com/
VOA http://www.voanews.com/

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語読解演習1（単位回復）（Z2）

11849

担当者名 / Instructor　清水 利宏

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成
この講座は、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介在することなく直接読み進めていく能力の養成を身につける。

到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力の確立。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
7	前半総合演習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
14	後半総合演習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、ソフトを使用した読解の総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

英語読解能力を高めるには、常日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていくことが必要です。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表等なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Japantimes http://www.japantimes.co.jp/
Asahi http://www.asahi.com/
Daily Yomiuri http://www. yomiuri.co.jp/dy/
Mainich Daily News http://mdn.mainichi.jp/
CNN http://www.cnn.com/
USA Today http://www.usatoday.com/
VOA http://www.voanews.com/

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語読解演習1（単位回復）（Z3）

12894

担当者名 / Instructor　佐藤 渉

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成
この講座は、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介在することなく直接読み進めていく能力の養成を身に付ける。

到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力の確立。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
7	前半総合演習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
14	後半総合演習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、ソフトを使用した読解の総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

英語読解能力を高めるには、常日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていくことが必要です。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表等なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Japantimes http://www.japantimes.co.jp/
Asahi http://www.asahi.com/
Daily Yomiuri http://www. yomiuri.co.jp/dy/
Mainich Daily News http://mdn.mainichi.jp/
CNN http://www.cnn.com/
USA Today http://www.usatoday.com/
VOA http://www.voanews.com/

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語読解演習2（単位回復）（Z1）

10624

担当者名 / Instructor　入江 伸光

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成
この講座は、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介在することなく直接読み進めていく能力の養成を身に付ける。

到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力の確立。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
7	前半総合演習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
14	後半総合演習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、ソフトを使用した読解の総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

英語読解能力を高めるには、常日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていくことが必要です。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表等なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Japantimes http://www.japantimes.co.jp/
Asahi http://www.asahi.com/
Daily Yomiuri http://www. yomiuri.co.jp/dy/
Mainich Daily News http://mdn.mainichi.jp/
CNN http://www.cnn.com/
USA Today http://www.usatoday.com/
VOA http://www.voanews.com/

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語読解演習2（単位回復）（Z2）

11880

担当者名 / Instructor　尾鍋 智子

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成
この講座は、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介在することなく直接読み進めていく能力の養成を身に付ける。

到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力の確立。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
7	前半総合演習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
14	後半総合演習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、ソフトを使用した読解の総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

英語読解能力を高めるには、常日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていくことが必要です。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表等なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Japantimes http://www.japantimes.co.jp/
Asahi http://www.asahi.com/
Daily Yomiuri http://www. yomiuri.co.jp/dy/
Mainich Daily News http://mdn.mainichi.jp/
CNN http://www.cnn.com/
USA Today http://www.usatoday.com/
VOA http://www.voanews.com/

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

英語読解演習2（単位回復）（Z3）

12924

担当者名 / Instructor　石原 浩澄

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

実務レベルの基本的読解能力の養成
この講座は、本学で独自に開発した読解演習用ソフトウェアとウェブページで英語学習者向けに公開されている記事を読み進めることによって、情報ソースとしての英文を日本語を介在することなく直接読み進めていく能力の養成を身に付ける。

到達目標 / Attainment Objectives

情報ソースとしての英文を、迅速にかつ正確に処理していくための基本的読解能力の確立。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

各学部で履修が指定されている英語の科目を出来るだけ多く単位取得しておくこと。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
2	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
3	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
4	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
5	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
6	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
7	前半総合演習+検証テスト1	英文読解
8	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
9	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
10	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
11	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
12	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
13	ソフトによる学習+当日インターネット上で公開されている記事	英文読解
14	後半総合演習+検証テスト2	英文読解
15	総合演習	英文読解、ソフトを使用した読解の総合演習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

英語読解能力を高めるには、常日頃からインターネット等で公開されている英語のニュース等の記事を読むよう心がけていくことが必要です。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	クラス内での通常の学習態度に加え、小テスト、中間テスト、期末テスト、レポート、発表等なども評価に加えられる。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

ソフトとウェブを利用した授業を行う。ソフト等の機材は大学側で用意する。

参考書 / Reference Books

授業中に指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

Japantimes http://www.japantimes.co.jp/
Asahi http://www.asahi.com/
Daily Yomiuri http://www. yomiuri.co.jp/dy/
Mainich Daily News http://mdn.mainichi.jp/
CNN http://www.cnn.com/
USA Today http://www.usatoday.com/
VOA http://www.voanews.com/

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ソフトウェアは大学の財産です。絶対に持ち帰らないようにしてください。

スペイン語・応用I (2A)

11220

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Conversacion en el espanol de la vida diaria
A partir de actividades sobre la vida cotidiana de la cultura hispanica, aprenderemos y consolidaremos vocabulario y practicaremos conversacion.

到達目標 / Attainment Objectives

1年次生時で修得した基本的な会話能力をさらに深め、スペイン語圏の人々と共に生活し、豊富な語彙力と表現力をもって、自由に意見交換できる会話力をつけたい。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

"Animo" Lluis Vallsのスペイン語の基本的な文法と表現

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Presentacion. Unidad 1. Hola, Que tal?	
2	Unidad 2. De dónde eres?	
3	Unidad 2 (II). Profesiones y personajes históricos	
4	Unidad 3. Es alto y simpatico	
5	Unidad 3 (II). Familia y gestos	
6	Unidad 4. Conoce tu universidad	
7	Unidad 4. Conoce tu universidad	
8	Resolucion de dudas. Prueba escrita.	
9	Unidad 5. Qué haces normalmente?	
10	Unidad 5 (II). Horarios y Don Quijote de la Mancha	
11	Unidad 6. Tienes algún plan?	
12	Unidad 6 (II). Horas y Museos	
13	Crear un dialogo. Resolucion de dudas y preparacion para el examen oral	
14	Examen oral. Video	
15	Pelicula y debate	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	Evaluación continua en clase: 20% - Prueba escrita: 40% - Examen oral en parejas (practica de conversacion): 40%

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ENTRE AMIGOS	Equipo para la elaboracion de manuales de espanol／Asahi／978-4-255-55032-9 ／2.400 円

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

http://cvc.cervantes.es/aula/pasatiempos/pasatiempos1/
http://www.high-edu.tohoku.ac.jp/~mshigaki/menu.html
http://www.danielarrieta.com/paises.html
http://www.rtve.es/mediateca/videos/
http://www.elpais.com/global/

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

スペイン語・応用I (2B)

11343

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Conversacion en el espanol de la vida diaria
A partir de actividades sobre la vida cotidiana de la cultura hispanica, aprenderemos y consolidaremos vocabulario y practicaremos conversacion.

到達目標 / Attainment Objectives

1年次生時で修得した基本的な会話能力をさらに深め、スペイン語圏の人々と共に生活し、豊富な語彙力と表現力をもって、自由に意見交換できる会話力をつけたい。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

"Animo" Lluis Vallsのスペイン語の基本的な文法と表現

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Presentacion. Unidad 1. Hola, Que tal?	
2	Unidad 2. De dónde eres?	
3	Unidad 2 (II). Profesiones y personajes históricos	
4	Unidad 3. Es alto y simpatico	
5	Unidad 3 (II). Familia y gestos	
6	Unidad 4. Conoce tu universidad	
7	Unidad 4. Conoce tu universidad	
8	Resolucion de dudas. Prueba escrita.	
9	Unidad 5. Qué haces normalmente?	
10	Unidad 5 (II). Horarios y Don Quijote de la Mancha	
11	Unidad 6. Tienes algún plan?	
12	Unidad 6 (II). Horas y Museos	
13	Crear un dialogo. Resolucion de dudas y preparacion para el examen oral	
14	Examen oral. Video	
15	Pelicula y debate	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	Evaluación continua en clase: 20% - Prueba escrita: 40% - Examen oral en parejas (practica de conversacion): 40%

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ENTRE AMIGOS	Equipo para la elaboracion de manuales de espanol／Asahi／978-4-255-55032-9 ／2.400 円

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

http://cvc.cervantes.es/aula/pasatiempos/pasatiempos1/
http://www.high-edu.tohoku.ac.jp/~mshigaki/menu.html
http://www.danielarrieta.com/paises.html
http://www.rtve.es/mediateca/videos/
http://www.elpais.com/global/

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

スペイン語・応用II (2A)

11274

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Conversacion en el espanol de la vida diaria.
A partir de actividades sobre la vida cotidiana de la cultura hispanica, aprenderemos y consolidaremos vocabulario, y practicaremos conversacion.

到達目標 / Attainment Objectives

1年次生時で修得した基本的な会話能力をさらに深め、スペイン語圏の人々と共に生活し、豊富な語彙力と表現力をもって、自由に意見交換できる会話力をつけたい。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

Animo˝ Lluis Vallsのスペイン語の基本的な文法と表現

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Unidad 7. Un dia normal	
2	Unidad 7 (II). La casa, habitos y costumbres	
3	Unidad 8. Lo conoces?	
4	Unidad 8 (II). Tortilla espanola	
5	Unidad 9. Vamos de compras?	
6	Unidad 9 (II). Tiendas y Navidad	
7	Resolucion de dudas. Prueba escrita	
8	Unidad 10. El tiempo libre	
9	Unidad 10 (II). Deporte y Fiestas populares	
10	Unidad 11. Que cansada estoy	
11	Unidad 11 (II). En el medico	
12	Unidad 12. Mis ultimas vacaciones	
13	Crear un dialogo. Resolucion de dudas y preparacion para el examen oral	
14	EXAMEN ORAL. Video	
15	Bailes latinos. Merengue, bachata y salsa. Las comparaciones	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	Evaluación continua en clase: 20% - Prueba escrita:40% - Examen oral en parejas (practica de conversacion):40%

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ENTRE AMIGOS	Equipo para la elaboracion de manuales de espanol／Asahi／978-4-255-55032-9 ／2.400 円

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

http://cvc.cervantes.es/aula/pasatiempos/pasatiempos1/
http://www.high-edu.tohoku.ac.jp/~mshigaki/menu.html
http://www.danielarrieta.com/paises.html
http://www.rtve.es/mediateca/videos/

http://www.elpais.com/global/

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

スペイン語・応用II (2B)

11427

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Conversacion en el espanol de la vida diaria.
A partir de actividades sobre la vida cotidiana de la cultura hispanica, aprenderemos y consolidaremos vocabulario, y practicaremos conversacion.

到達目標 / Attainment Objectives

1年次生時で修得した基本的な会話能力をさらに深め、スペイン語圏の人々と共に生活し、豊富な語彙力と表現力をもって、自由に意見交換できる会話力をつけたい。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

Animo˝ Lluis Vallsのスペイン語の基本的な文法と表現

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Unidad 7. Un dia normal	
2	Unidad 7 (II). La casa, habitos y costumbres	
3	Unidad 8. Lo conoces?	
4	Unidad 8 (II). Tortilla espanola	
5	Unidad 9. Vamos de compras?	
6	Unidad 9 (II). Tiendas y Navidad	
7	Resolucion de dudas. Prueba escrita	
8	Unidad 10. El tiempo libre	
9	Unidad 10 (II). Deporte y Fiestas populares	
10	Unidad 11. Que cansada estoy	
11	Unidad 11 (II). En el medico	
12	Unidad 12. Mis ultimas vacaciones	
13	Crear un dialogo. Resolucion de dudas y preparacion para el examen oral	
14	EXAMEN ORAL. Video	
15	Bailes latinos. Merengue, bachata y salsa. Las comparaciones	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	Evaluación continua en clase: 20% - Prueba escrita:40% - Examen oral en parejas (practica de conversacion):40%

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ENTRE AMIGOS	Equipo para la elaboracion de manuales de espanol／Asahi／978-4-255-55032-9 ／2.400 円

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

http://cvc.cervantes.es/aula/pasatiempos/pasatiempos1/
http://www.high-edu.tohoku.ac.jp/~mshigaki/menu.html
http://www.danielarrieta.com/paises.html
http://www.rtve.es/mediateca/videos/

http://www.elpais.com/global/

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

スペイン語・基礎 (2A)

10863

担当者名 / Instructor　仲井 邦佳

単位数 / Credit　2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また，発音，アクセント，つづり，基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法（ほぼ現在形まで）の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	アルファベット，発音，アクセント	
2	名詞の性・数，冠詞，hay	
3	主格人称代名詞，ser，estar，疑問文と否定文	
4	所有形容詞，直説法現在規則活用	
5	形容詞，irとvenir，ir a + 不定詞	
6	saberとconocer，hacer型動詞，指示形容詞・代名詞	
7	tener型動詞，tener que + 不定詞，前置詞格人称代名詞	
8	dar型動詞，目的格人称代名詞，時刻の表現	
9	語幹母音変化動詞，gustar，不定語と否定語	
10	過去分詞，現在完了，月名	
11	再帰動詞，se受身，非人称表現，estar受身	
	注意：上記のように教科書に沿って進める（授業は30回。それぞれの課を平均3回の授業で進めることになる）。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加，等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
さあ，始めよう！　スペイン語	西川喬／同学社／4-8102-0365-4／

後期の「スペイン語展開」でもこの教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典　第2版	高垣敏博，他／小学館／4-09-515502-9／
クラウン西和辞典	原誠，他／三省堂／4-385-12201-6／
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／

上記の辞書（A）か（B）のどちらかを購入するのが望ましい。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定：http://www.casa-esp.com/link-examen.html

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・基礎 (2B)

10181

担当者名 / Instructor　坂巻 素子、仲井 邦佳

単位数 / Credit　2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また，発音，アクセント，つづり，基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法（ほぼ現在形まで）の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	アルファベット，発音，アクセント	
2	名詞の性・数，冠詞，hay	
3	主格人称代名詞，ser，estar，疑問文と否定文	
4	所有形容詞，直説法現在規則活用	
5	形容詞，irとvenir，ir a + 不定詞	
6	saberとconocer，hacer型動詞，指示形容詞・代名詞	
7	tener型動詞，tener que + 不定詞，前置詞格人称代名詞	
8	dar型動詞，目的格人称代名詞，時刻の表現	
9	語幹母音変化動詞，gustar，不定語と否定語	
10	過去分詞，現在完了，月名	
11	過去分詞，現在完了，月名	
	上記のように教科書に沿って進める（授業は30回。それぞれの課を平均3回の授業で進めることになる）。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加，等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
さあ，始めよう！　スペイン語	西川喬／同学社／4-8102-0365-4／

後期の「スペイン語展開」でもこの教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典　第2版	高垣敏博，他／小学館／4-09-515502-9／辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠，他／三省堂／4-385-12201-6／辞書(B) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／

上記の辞書（A）か（B）のどちらかを購入するのが望ましい。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定：http://www.casa-esp.com/link-examen.html

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・総合I（3A）

10004

担当者名 / Instructor　豊原 ひとみ

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また，発音，アクセント，つづり，基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法（基本的な現在形まで）の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	名詞の性・数，冠詞，hay	
2	主格人称代名詞，ser，国籍名詞，疑問文と否定文	
3	estar，所有形容詞，直説法現在規則活用	
4	形容詞，irとvenir，ir a + 不定詞	
5	saberとconocer，感嘆文，hacer型動詞，指示形容詞・代名詞	
	上記のように教科書に沿って進める（授業は15回。それぞれの課を平均3回程度の授業で進めることになる）。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加，等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語パスポート	西川喬／弘学社／978-4-902964-58-5／

後期の「スペイン語総合Ⅱ」でもこの教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典　第2版	高垣敏博，他／小学館／4-09-515502-9／辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠，他／三省堂／4-385-12201-6／辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直、他／小学館／4-09-515522-1／辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／

上記の辞書（A）か（B）のどちらかを購入するのが望ましい。（C）でも可。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定：http://www.casa-esp.com/link-examen.html

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・総合I（3B）

10014

担当者名 / Instructor　山崎 信三

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また，発音，アクセント，つづり，基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法（基本的な現在形まで）の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	名詞の性・数，冠詞，hay	
2	主格人称代名詞，ser，国籍名詞，疑問文と否定文	
3	estar，所有形容詞，直説法現在規則活用	
4	形容詞，irとvenir，ir a + 不定詞	
5	saberとconocer，感嘆文，hacer型動詞，指示形容詞・代名詞	
	上記のように教科書に沿って進める（授業は15回。それぞれの課を平均3回程度の授業で進めることになる）。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加，等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語パスポート	西川喬／弘学社／978-4-902964-58-5／

後期の「スペイン語総合Ⅱ」でもこの教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典　第2版	高垣敏博，他／小学館／4-09-515502-9／辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠，他／三省堂／4-385-12201-6／辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直、他／小学館／4-09-515522-1／辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／

上記の辞書（A）か（B）のどちらかを購入するのが望ましい。（C）でも可。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定：http://www.casa-esp.com/link-examen.html

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・総合I（3C）

11969

担当者名 / Instructor　山崎 信三

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また，発音，アクセント，つづり，基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法（基本的な現在形まで）の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	名詞の性・数，冠詞，hay	
2	主格人称代名詞，ser，国籍名詞，疑問文と否定文	
3	estar，所有形容詞，直説法現在規則活用	
4	形容詞，irとvenir，ir a + 不定詞	
5	saberとconocer，感嘆文，hacer型動詞，指示形容詞・代名詞	
	上記のように教科書に沿って進める（授業は15回。それぞれの課を平均3回程度の授業で進めることになる）。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加，等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語パスポート	西川喬／弘学社／978-4-902964-58-5／

後期の「スペイン語総合Ⅱ」でもこの教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典　第2版	高垣敏博，他／小学館／4-09-515502-9／辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠，他／三省堂／4-385-12201-6／辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直、他／小学館／4-09-515522-1／辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／

上記の辞書（A）か（B）のどちらかを購入するのが望ましい。（C）でも可。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定：http://www.casa-esp.com/link-examen.html

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・総合I (3D)

11962

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また，発音，アクセント，つづり，基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法（基本的な現在形まで）の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	名詞の性・数，冠詞，hay	
2	主格人称代名詞，ser，国籍名詞，疑問文と否定文	
3	estar，所有形容詞，直説法現在規則活用	
4	形容詞，irとvenir，ir a + 不定詞	
5	saberとconocer，感嘆文，hacer型動詞，指示形容詞・代名詞	
	上記のように教科書に沿って進める（授業は15回。それぞれの課を平均3回程度の授業で進めることになる）。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加，等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語パスポート	西川喬／弘学社／978-4-902964-58-5／

後期の「スペイン語総合Ⅱ」でもこの教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典 第2版	高垣敏博，他／小学館／4-09-515502-9／辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠，他／三省堂／4-385-12201-6／辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直、他／小学館／4-09-515522-1／辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／

上記の辞書（A）か（B）のどちらかを購入するのが望ましい。（C）でも可。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定：http://www.casa-esp.com/link-examen.html

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・総合II (3A)

10085

担当者名 / Instructor　豊原 ひとみ

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また，発音，アクセント，つづり，基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法（ほぼ現在形まで）の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
6	tener型動詞，tener que + 不定詞，前置詞格人称代名詞，中性指示代名詞	
7	dar型動詞，目的格人称代名詞，gustar，不定語と否定語（algoとnada）	
8	語幹母音変化動詞，時刻の表現，従属節	
9	過去分詞，現在完了，曜日と日付	
10	再帰動詞，se受身，非人称表現，estar受身	
	上記のように教科書に沿って進める（授業は15回。それぞれの課を平均3回の授業で進めることになる）。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加，等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語パスポート	西川喬／弘学社／978-4-902964-58-5／

前期の「スペイン語総合Ｉ」の教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典　第2版	高垣敏博，他／小学館／4-09-515502-9／辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠，他／三省堂／4-385-12201-6／辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直、他／小学館／4-09-515522-1／辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他 ／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／

上記の辞書（A）か（B）のどちらかを購入するのが望ましい。（C）でも可。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定：http://www.casa-esp.com/link-examen.html

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・総合II (3B)

10086

担当者名 / Instructor 山崎 信三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また，発音，アクセント，つづり，基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法（ほぼ現在形まで）の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
6	tener型動詞，tener que + 不定詞，前置詞格人称代名詞，中性指示代名詞	
7	dar型動詞，目的格人称代名詞，gustar，不定語と否定語（algoとnada）	
8	語幹母音変化動詞，時刻の表現，従属節	
9	過去分詞，現在完了，曜日と日付	
10	再帰動詞，se受身，非人称表現，estar受身	
	上記のように教科書に沿って進める（授業は15回。それぞれの課を平均3回の授業で進めることになる）。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加，等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語パスポート	西川喬／弘学社／978-4-902964-58-5／

前期の「スペイン語総合Ｉ」の教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典　第2版	高垣敏博，他／小学館／4-09-515502-9／辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠，他／三省堂／4-385-12201-6／辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直、他／小学館／4-09-515522-1／辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他 ／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／

上記の辞書（A）か（B）のどちらかを購入するのが望ましい。（C）でも可。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定：http://www.casa-esp.com/link-examen.html

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・総合II (3C)

12037

担当者名 / Instructor 山崎 信三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また，発音，アクセント，つづり，基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法（ほぼ現在形まで）の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
6	tener型動詞，tener que + 不定詞，前置詞格人称代名詞，中性指示代名詞	
7	dar型動詞，目的格人称代名詞，gustar，不定語と否定語（algoとnada）	
8	語幹母音変化動詞，時刻の表現，従属節	
9	過去分詞，現在完了，曜日と日付	
10	再帰動詞，se受身，非人称表現，estar受身	
	上記のように教科書に沿って進める（授業は15回。それぞれの課を平均3回の授業で進めることになる）。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加，等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語パスポート	西川喬／弘学社／978-4-902964-58-5／

前期の「スペイン語総合Ｉ」の教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典　第2版	高垣敏博，他／小学館／4-09-515502-9／辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠，他／三省堂／4-385-12201-6／辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直、他／小学館／4-09-515522-1／辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他 ／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／

上記の辞書（A）か（B）のどちらかを購入するのが望ましい。（C）でも可。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定：http://www.casa-esp.com/link-examen.html

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・総合II (3D)

12029

担当者名 / Instructor 仲井 邦佳

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また，発音，アクセント，つづり，基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法（ほぼ現在形まで）の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
6	tener型動詞，tener que + 不定詞，前置詞格人称代名詞，中性指示代名詞	
7	dar型動詞，目的格人称代名詞，gustar，不定語と否定語（algoとnada）	
8	語幹母音変化動詞，時刻の表現，従属節	
9	過去分詞，現在完了，曜日と日付	
10	再帰動詞，se受身，非人称表現，estar受身	
	上記のように教科書に沿って進める（授業は15回。それぞれの課を平均3回の授業で進めることになる）。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加，等

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
スペイン語パスポート	西川喬／弘学社／978-4-902964-58-5／

前期の「スペイン語総合Ｉ」の教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典　第2版	高垣敏博，他／小学館／4-09-515502-9／辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠，他／三省堂／4-385-12201-6／辞書(B) 備考欄を参照。
プログレッシブスペイン語辞典	鼓直、他／小学館／4-09-515522-1／辞書(C) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他 ／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／

上記の辞書（A）か（B）のどちらかを購入するのが望ましい。（C）でも可。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定：http://www.casa-esp.com/link-examen.html

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・展開 (2A)

10988

担当者名 / Instructor　仲井 邦佳

単位数 / Credit　2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また，発音，アクセント，つづり，基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法（ほぼ過去形から）の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
12	点過去（規則活用），不定詞・現在分詞 + 弱い代名詞	
13	点過去（不規則活用），知覚動詞，序数	
14	線過去，比較級，不規則な比較級	
15	過去完了，最上級，天候の表現	
16	未来，縮小辞，関係代名詞que	
17	接続法現在，用法（命令），関係代名詞（前置詞＋que）	
18	直説法現在（語根母音変化動詞），用法（名詞節）	
19	接続法現在（不規則動詞），用法（形容詞節，副詞節）	
20	命令法，命令形，関係代名詞（lo que），関係副詞 文法補足	
	上記のように教科書に沿って進める（授業は30回。それぞれの課を平均3回の授業で進めることになる）。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加，等 （まとめのテストは，都合によって「定期試験期間中」に行うこともある。）

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
さあ，始めよう！　スペイン語	西川喬／同学社／4-8102-0365-4／

前期の「スペイン語基礎」の教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典　第2版	高垣敏博，他／小学館／4-09-515502-9 ／辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠，他／三省堂／4-385-12201-6／辞書(B) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／

上記の辞書（A）か（B）のどちらかを購入するのが望ましい。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定：http://www.casa-esp.com/link-examen.html

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・展開 (2B)

10268

担当者名 / Instructor　坂巻 素子、仲井 邦佳

単位数 / Credit　2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基本的な文法を習得することを目標とする。また，発音，アクセント，つづり，基本的な語彙と簡単な表現を覚える。

到達目標 / Attainment Objectives

スペイン語基礎文法（ほぼ過去形から）の習得

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
12	点過去（規則活用），不定詞・現在分詞 + 弱い代名詞	
13	点過去（不規則活用），知覚動詞，序数	
14	線過去，比較級，不規則な比較級	
15	過去完了，最上級，天候の表現	
16	未来，縮小辞，関係代名詞que	
17	接続法現在，用法（命令），関係代名詞（前置詞＋que）	
18	直説法現在（語根母音変化動詞），用法（名詞節）	
19	接続法現在（不規則動詞），用法（形容詞節，副詞節）	
20	命令法，命令形，関係代名詞（lo que），関係副詞 文法補足	
	上記のように教科書に沿って進める（授業は30回。それぞれの課を平均3回の授業で進めることになる）。受講生の理解度等に応じて進度は調整する。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

予習、復習を確実に行うこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト まとめのテスト 授業への積極的参加，等 （まとめのテストは，都合によって「定期試験期間中」に行うこともある。）

詳しくは担当者から説明する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

初めて習う外国語ですから、基本的な単語や表現、文法事項を確実に習得していく必要があります。できるだけ欠席しないこと。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
さあ，始めよう！　スペイン語	西川喬／同学社／4-8102-0365-4／

前期の「スペイン語基礎」の教科書を継続使用する。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
西和中辞典　第2版	高垣敏博，他／小学館／4-09-515502-9 ／辞書(A) 備考欄を参照。
クラウン西和辞典	原誠，他／三省堂／4-385-12201-6／辞書(B) 備考欄を参照。
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／4-560-00677-6／
スペイン語技能検定4・5・6級対策問題集	立岩礼子、他／南雲堂フェニックス／4-88896-251-0／

上記の辞書（A）か（B）のどちらかを購入するのが望ましい。授業においても補足説明をする。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定：http://www.casa-esp.com/link-examen.html

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・表現I（2A）

10016

担当者名 / Instructor　VALLS LLUIS

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar espanol en situaciones de comunicacion realistas.

到達目標 / Attainment Objectives

この講義が終了した時点で，受講生は自分自身について，周りの状況などについて（自己紹介，家族や出身地について説明するなど）スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en espanol operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introduccion a la clase y a la comunicacion en espanol.	
2	アルファベットと発音 El alfabeto.	
3	自己紹介 Presentaciones.	
4	職業について Ocupaciones.	
5	家族について La familia.	
6	自分自身について ?Como eres?	
7	調子はどうですか？ ?Como estas?	
8	レストランで En un restaurante.	
9	いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
10	住居について La casa.	
11	住所の説明 Dar direcciones.	
12	時刻等の言い方 El tiempo cronologico	
13	まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
14	まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
15	まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト，まとめのテスト，授業への積極的参加，インタヴュー，等（詳しくは担当者から直接説明する）

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
!Animo!	Lluis Valls,／Kogakusha／4-902964-03-1／C1086

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・表現I（2B）

11952

担当者名 / Instructor　VALLS LLUIS

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar espanol en situaciones de comunicacion realistas.

到達目標 / Attainment Objectives

この講義が終了した時点で，受講生は自分自身について，周りの状況などについて（自己紹介，家族や出身地について説明するなど）スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en espanol operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introduccion a la clase y a la comunicacion en espanol.	
2	アルファベットと発音 El alfabeto.	
3	自己紹介 Presentaciones.	
4	職業について Ocupaciones.	
5	家族について La familia.	
6	自分自身について ?Como eres?	
7	調子はどうですか？ ?Como estas?	
8	レストランで En un restaurante.	
9	いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
10	住居について La casa.	
11	住所の説明 Dar direcciones.	
12	時刻等の言い方 El tiempo cronologico	
13	まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
14	まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
15	まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト，まとめのテスト，授業への積極的参加，インタヴュー，等（詳しくは担当者から直接説明する）

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
!Animo!	Lluis Valls,／Kogakusha／4-902964-03-1／C1086

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・表現I (3A)

12101

担当者名 / Instructor ALVAREZ ABEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar espanol en situaciones de comunicacion realistas.

到達目標 / Attainment Objectives

この講義が終了した時点で，受講生は自分自身について，周りの状況などについて（自己紹介，家族や出身地について説明するなど）スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en espanol operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introduccion a la clase y a la comunicacion en espanol.	
2	アルファベットと発音 El alfabeto.	
3	自己紹介 Presentaciones.	
4	職業について Ocupaciones.	
5	家族について La familia.	
6	自分自身について ?Como eres?	
7	調子はどうですか？ ?Como estas?	
8	レストランで En un restaurante.	
9	いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
10	住居について La casa.	
11	住所の説明 Dar direcciones.	
12	時刻等の言い方 El tiempo cronologico	
13	まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
14	まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
15	まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト，まとめのテスト，授業への積極的参加，インタヴュー，等（詳しくは担当者から直接説明する）

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
!Animo!	Lluis Valls,／Kogakusha／4-902964-03-1／C1086

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・表現I（3B）

12105

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar espanol en situaciones de comunicacion realistas.

到達目標 / Attainment Objectives

この講義が終了した時点で，受講生は自分自身について，周りの状況などについて（自己紹介，家族や出身地について説明するなど）スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en espanol operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introduccion a la clase y a la comunicacion en espanol.	
2	アルファベットと発音 El alfabeto.	
3	自己紹介 Presentaciones.	
4	職業について Ocupaciones.	
5	家族について La familia.	
6	自分自身について ?Como eres?	
7	調子はどうですか？ ?Como estas?	
8	レストランで En un restaurante.	
9	いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
10	住居について La casa.	
11	住所の説明 Dar direcciones.	
12	時刻等の言い方 El tiempo cronologico	
13	まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
14	まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
15	まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト，まとめのテスト，授業への積極的参加，インタヴュー，等（詳しくは担当者から直接説明する）

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
!Animo!	Lluis Valls,／Kogakusha／4-902964-03-1／C1086

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・表現I（3C）

10137

担当者名 / Instructor ALVAREZ ABEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar espanol en situaciones de comunicacion realistas.

到達目標 / Attainment Objectives

この講義が終了した時点で，受講生は自分自身について，周りの状況などについて（自己紹介，家族や出身地について説明するなど）スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en espanol operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introduccion a la clase y a la comunicacion en espanol.	
2	アルファベットと発音 El alfabeto.	
3	自己紹介 Presentaciones.	
4	職業について Ocupaciones.	
5	家族について La familia.	
6	自分自身について ?Como eres?	
7	調子はどうですか？ ?Como estas?	
8	レストランで En un restaurante.	
9	いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
10	住居について La casa.	
11	住所の説明 Dar direcciones.	
12	時刻等の言い方 El tiempo cronologico	
13	まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
14	まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
15	まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト，まとめのテスト，授業への積極的参加，インタヴュー，等（詳しくは担当者から直接説明する）

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
!Animo!	Lluis Valls,／Kogakusha／4-902964-03-1／C1086

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・表現I (3D)

10131

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

現実のコミュニケーションの場面で初歩的なスペイン語を使う能力を養うこと。

En este curso se ofrecen al estudiante las oportunidades para practicar espanol en situaciones de comunicacion realistas.

到達目標 / Attainment Objectives

この講義が終了した時点で，受講生は自分自身について，周りの状況などについて（自己紹介，家族や出身地について説明するなど）スペイン語で表現することができる。

Se espera que, al terminar el curso, el estudiante sea capaz de realizar en espanol operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real, como presentarse o hablar de su familia, su ciudad...

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業とスペイン語でのコミュニケーションについての導入 Introduccion a la clase y a la comunicacion en espanol.	
2	アルファベットと発音 El alfabeto.	
3	自己紹介 Presentaciones.	
4	職業について Ocupaciones.	
5	家族について La familia.	
6	自分自身について ?Como eres?	
7	調子はどうですか？ ?Como estas?	
8	レストランで En un restaurante.	
9	いろんな物とその所在 Las cosas y el espacio.	
10	住居について La casa.	
11	住所の説明 Dar direcciones.	
12	時刻等の言い方 El tiempo cronologico	
13	まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
14	まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
15	まとめとその他のテーマ3と検証試験 Repaso 3 y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

後で復習ができるよう授業中にしっかりとノートをとること。Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト，まとめのテスト，授業への積極的参加，インタヴュー，等（詳しくは担当者から直接説明する）

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
!Animo!	Lluis Valls,／Kogakusha／4-902964-03-1／C1086

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・表現II (2A)

10082

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ，受講生にコミュニケーションの現場で仕えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar espanol en situaciones de comunicacion realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で，受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ，買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el espanol necesario para operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior 1.	
2	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習2 Repaso del curso anterior 2.	
3	人の好みと趣味について Preferencias.	
4	スペイン語で買い物1 De compras en espanol 1.	
5	最近の出来事について話す Hablar de acciones recientes.	
6	過去の出来事について話す Hablar de acciones pasadas.	
7	提案を行う Proponer actividades comunes.	
8	未来について話す Hablar del futuro.	
9	過去について話す Hablar del pasado.	
10	進行中の行為について話す Acciones en curso.	
11	スペイン語で買い物 De compras en espanol 2	
12	まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
13	まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
14	まとめとその他のテーマ3 Preparacion para el examen	
15	まとめとその他のテーマ4と検証試験 Repaso y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト，まとめのテスト，授業への積極的参加，インタヴュー，等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
!Animo!	Lluis Valls,／Kogakusha／4-902964-03-1／C1086

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・表現II (2B)

12031

担当者名 / Instructor VALLS LLUIS

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ，受講生にコミュニケーションの現場で仕えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar espanol en situaciones de comunicacion realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で，受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ，買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el espanol necesario para operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior 1.	
2	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習2 Repaso del curso anterior 2.	
3	人の好みと趣味について Preferencias.	
4	スペイン語で買い物1 De compras en espanol 1.	
5	最近の出来事について話す Hablar de acciones recientes.	
6	過去の出来事について話す Hablar de acciones pasadas.	
7	提案を行う Proponer actividades comunes.	
8	未来について話す Hablar del futuro.	
9	過去について話す Hablar del pasado.	
10	進行中の行為について話す Acciones en curso.	
11	スペイン語で買い物 De compras en espanol 2	
12	まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
13	まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
14	まとめとその他のテーマ3 Preparacion para el examen	
15	まとめとその他のテーマ4と検証試験 Repaso y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト，まとめのテスト，授業への積極的参加，インタヴュー，等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
!Animo!	Lluis Valls,／Kogakusha／4-902964-03-1／C1086

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・表現II (3A)

12175

担当者名 / Instructor ALVAREZ ABEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ，受講生にコミュニケーションの現場で仕えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar espanol en situaciones de comunicacion realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で，受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ，買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el espanol necesario para operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior 1.	
2	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習2 Repaso del curso anterior 2.	
3	人の好みと趣味について Preferencias.	
4	スペイン語で買い物1 De compras en espanol 1.	
5	最近の出来事について話す Hablar de acciones recientes.	
6	過去の出来事について話す Hablar de acciones pasadas.	
7	提案を行う Proponer actividades comunes.	
8	未来について話す Hablar del futuro.	
9	過去について話す Hablar del pasado.	
10	進行中の行為について話す Acciones en curso.	
11	スペイン語で買い物 De compras en espanol 2	
12	まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
13	まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
14	まとめとその他のテーマ3 Preparacion para el examen	
15	まとめとその他のテーマ4と検証試験 Repaso y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト，まとめのテスト，授業への積極的参加，インタヴュー，等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
!Animo!	Lluis Valls,／Kogakusha／4-902964-03-1／C1086

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・表現II (3B)

12174

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ，受講生にコミュニケーションの現場で仕えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar espanol en situaciones de comunicacion realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で，受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ，買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el espanol necesario para operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior 1.	
2	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習2 Repaso del curso anterior 2.	
3	人の好みと趣味について Preferencias.	
4	スペイン語で買い物1 De compras en espanol 1.	
5	最近の出来事について話す Hablar de acciones recientes.	
6	過去の出来事について話す Hablar de acciones pasadas.	
7	提案を行う Proponer actividades comunes.	
8	未来について話す Hablar del futuro.	
9	過去について話す Hablar del pasado.	
10	進行中の行為について話す Acciones en curso.	
11	スペイン語で買い物 De compras en espanol 2	
12	まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
13	まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
14	まとめとその他のテーマ3 Preparacion para el examen	
15	まとめとその他のテーマ4と検証試験 Repaso y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト，まとめのテスト，授業への積極的参加，インタヴュー，等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
!Animo!	Lluis Valls,／Kogakusha／4-902964-03-1／C1086

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・表現II (3C)

10217

担当者名 / Instructor ALVAREZ ABEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ，受講生にコミュニケーションの現場で仕えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar espanol en situaciones de comunicacion realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で，受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ，買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el espanol necesario para operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior 1.	
2	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習2 Repaso del curso anterior 2.	
3	人の好みと趣味について Preferencias.	
4	スペイン語で買い物1 De compras en espanol 1.	
5	最近の出来事について話す Hablar de acciones recientes.	
6	過去の出来事について話す Hablar de acciones pasadas.	
7	提案を行う Proponer actividades comunes.	
8	未来について話す Hablar del futuro.	
9	過去について話す Hablar del pasado.	
10	進行中の行為について話す Acciones en curso.	
11	スペイン語で買い物 De compras en espanol 2	
12	まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
13	まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
14	まとめとその他のテーマ3 Preparacion para el examen	
15	まとめとその他のテーマ4と検証試験 Repaso y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト，まとめのテスト，授業への積極的参加，インタヴュー，等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
!Animo!	Lluis Valls,／Kogakusha／4-902964-03-1／C1086

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

スペイン語・表現II (3D)

10210

担当者名 / Instructor ARRIETA DANIEL

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「スペイン語表現I」で学習した内容を更に発展させ，受講生にコミュニケーションの現場で仕えるスペイン語を習得させるようにする。En este curso se ofrecen al estudiante nuevas oportunidades para practicar espanol en situaciones de comunicacion realistas y se repasan las situaciones presentadas en el curso anterior.

到達目標 / Attainment Objectives

この講座を終了して時点で，受講生は自分自身や身の回りのことについて必要はコミュニケーション能力を身につけ，買い物に行くとか道を尋ねるといった日常的なコミュニケーションができるようになる。Aprender el espanol necesario para operaciones comunicativas basicas relacionadas con si mismo y su entorno real y pueda realizar acciones cotidianas como ir de compras o pedir direcciones en la calle.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習1 Repaso del curso anterior 1.	
2	「スペイン語表現I」で学んだ内容を復習2 Repaso del curso anterior 2.	
3	人の好みと趣味について Preferencias.	
4	スペイン語で買い物1 De compras en espanol 1.	
5	最近の出来事について話す Hablar de acciones recientes.	
6	過去の出来事について話す Hablar de acciones pasadas.	
7	提案を行う Proponer actividades comunes.	
8	未来について話す Hablar del futuro.	
9	過去について話す Hablar del pasado.	
10	進行中の行為について話す Acciones en curso.	
11	スペイン語で買い物 De compras en espanol 2	
12	まとめとその他のテーマ1 Repaso 1	
13	まとめとその他のテーマ2 Repaso 2	
14	まとめとその他のテーマ3 Preparacion para el examen	
15	まとめとその他のテーマ4と検証試験 Repaso y examen	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

後に復習できるよう授業中にしっかりノートをとること Se recomienda tomar notas en cada clase para poder repasarlas luego.

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト，まとめのテスト，授業への積極的参加，インタヴュー，等(詳しくは担当者から直接説明する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
!Animo!	Lluis Valls,／Kogakusha／4-902964-03-1／C1086

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・応用I (2A)

11205

担当者名 / Instructor　鷲尾 祐子

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・表現」などで学んできた中国語の知識を生かしながら、センテンスの構造や構文への一層の理解や実践を行い、中国語の理解力・表現力を総合的に伸ばしていくことを目標とします。目で読んで理解できるだけでなく、音でも理解できるように展開していきたいです。

到達目標 / Attainment Objectives

◎センテンスの構造や構文への一層の理解が獲得できる。
◎中国語の文章を読む力をアップできる。
◎中国語を聞く力、話す力を向上させる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	一回生時に学んできた知識を復習・確認しながら、授業の計画や内容を紹介します。	
2	第1課述語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
3	第1課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
4	第2課主語・目的語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
5	第2課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
6	第3課連体修飾語(定語)の第1部の例文の学習と理解を行います。	
7	第3課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
8	第4課を学習します。述語、主語、目的語、連体修飾語の復習と実力テストを行います。	
9	第5課連用体修飾語(状語)一の第1部の例文の学習と理解を行います。	
10	第5課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
11	第6課連用体修飾語(状語)二の第1部の例文の学習と理解を行います。	
12	第6課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
13	第7課「得」補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
14	第7課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
15	第8課を学習します。前期の復習と確認テストを行います。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
センテンスの理解と実践	文楚雄・陳敏著／晃洋書房 ／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・応用I (2B)

11206

担当者名 / Instructor 岩崎 菜子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・表現」などで学んできた中国語の知識を生かしながら、センテンスの構造や構文への一層の理解や実践を行い、中国語の理解力・表現力を総合的に伸ばしていくことを目標とします。目で読んで理解できるだけでなく、音でも理解できるように展開していきたいです。

到達目標 / Attainment Objectives

◎センテンスの構造や構文への一層の理解が獲得できる。
◎中国語の文章を読む力をアップできる。
◎中国語を聞く力、話す力を向上させる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	一回生時に学んできた知識を復習・確認しながら、授業の計画や内容を紹介します。	
2	第1課述語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
3	第1課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
4	第2課主語・目的語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
5	第2課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
6	第3課連体修飾語(定語)の第1部の例文の学習と理解を行います。	
7	第3課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
8	第4課を学習します。述語、主語、目的語、連体修飾語の復習と実力テストを行います。	
9	第5課連用体修飾語(状語)一の第1部の例文の学習と理解を行います。	
10	第5課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
11	第6課連用体修飾語(状語)二の第1部の例文の学習と理解を行います。	
12	第6課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
13	第7課「得」補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
14	第7課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
15	第8課を学習します。前期の復習と確認テストを行います。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
センテンスの理解と実践	文楚雄・陳敏著／晃洋書房 ／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・応用I (2C)

11347

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・表現」などで学んできた中国語の知識を生かしながら、センテンスの構造や構文への一層の理解や実践を行い、中国語の理解力・表現力を総合的に伸ばしていくことを目標とします。目で読んで理解できるだけでなく、音でも理解できるように展開していきたいです。

到達目標 / Attainment Objectives

◎センテンスの構造や構文への一層の理解が獲得できる。
◎中国語の文章を読む力をアップできる。
◎中国語を聞く力、話す力を向上させる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	一回生時に学んできた知識を復習・確認しながら、授業の計画や内容を紹介します。	
2	第1課述語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
3	第1課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
4	第2課主語・目的語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
5	第2課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
6	第3課連体修飾語(定語)の第1部の例文の学習と理解を行います。	
7	第3課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
8	第4課を学習します。述語、主語、目的語、連体修飾語の復習と実力テストを行います。	
9	第5課連用体修飾語(状語)一の第1部の例文の学習と理解を行います。	
10	第5課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
11	第6課連用体修飾語(状語)二の第1部の例文の学習と理解を行います。	
12	第6課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
13	第7課「得」補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
14	第7課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
15	第8課を学習します。前期の復習と確認テストを行います。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
センテンスの理解と実践	文楚雄・陳敏著／晃洋書房 ／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・応用II (2A)

11270

担当者名 / Instructor　鷲尾 祐子

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・表現」などで学んできた中国語の知識を生かしながら、センテンスの構造や構文への一層の理解や実践を行い、中国語の理解力・表現力を総合的に伸ばしていくことを目標とします。目で読んで理解できるだけでなく、音でも理解できるように展開していきたいです。

到達目標 / Attainment Objectives

◎センテンスの構造や構文への一層の理解が獲得できる。
◎中国語の文章を読む力をアップできる。
◎中国語を聞く力、話す力を向上させる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期で学んできた知識を復習・確認しながら、授業の計画や内容を紹介します。	
2	第9課結果補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
3	第9課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
4	第10課数量補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
5	第10課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
6	第11課方向補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
7	第11課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
8	第12課を学習します。結果補語、数量補語、方向補語の復習と実力テストを行います。	
9	第13課可能補語(一)の第1部の例文の学習と理解を行います。	
10	第13課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
11	第14可能補語(二)の第1部の例文の学習と理解を行います。	
12	第14課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
13	センテンスの構文の総合理解と実践を行います。	
14	センテンスの構文の総合理解と実践を行います。	
15	第15課を学習します。後期の復習と確認テストを行います。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
センテンスの理解と実践	文楚雄・陳敏著　／晃洋書房／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・応用II (2B)

11271

担当者名 / Instructor 岩崎 菜子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・表現」などで学んできた中国語の知識を生かしながら、センテンスの構造や構文への一層の理解や実践を行い、中国語の理解力・表現力を総合的に伸ばしていくことを目標とします。目で読んで理解できるだけでなく、音でも理解できるように展開していきたいです。

到達目標 / Attainment Objectives

◎センテンスの構造や構文への一層の理解が獲得できる。
◎中国語の文章を読む力をアップできる。
◎中国語を聞く力、話す力を向上させる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期で学んできた知識を復習・確認しながら、授業の計画や内容を紹介します。	
2	第9課結果補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
3	第9課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
4	第10課数量補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
5	第10課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
6	第11課方向補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
7	第11課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
8	第12課を学習します。結果補語、数量補語、方向補語の復習と実力テストを行います。	
9	第13課可能補語(一)の第1部の例文の学習と理解を行います。	
10	第13課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
11	第14可能補語(二)の第1部の例文の学習と理解を行います。	
12	第14課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
13	センテンスの構文の総合理解と実践を行います。	
14	センテンスの構文の総合理解と実践を行います。	
15	第15課を学習します。後期の復習と確認テストを行います。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
センテンスの理解と実践	文楚雄・陳敏著 ／晃洋書房／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・応用II (2C)

11429

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでの「基礎・展開・表現」などで学んできた中国語の知識を生かしながら、センテンスの構造や構文への一層の理解や実践を行い、中国語の理解力・表現力を総合的に伸ばしていくことを目標とします。目で読んで理解できるだけでなく、音でも理解できるように展開していきたいです。

到達目標 / Attainment Objectives

◎センテンスの構造や構文への一層の理解が獲得できる。
◎中国語の文章を読む力をアップできる。
◎中国語を聞く力、話す力を向上させる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期で学んできた知識を復習・確認しながら、授業の計画や内容を紹介します。	
2	第9課結果補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
3	第9課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
4	第10課数量補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
5	第10課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
6	第11課方向補語の第1部の例文の学習と理解を行います。	
7	第11課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
8	第12課を学習します。結果補語、数量補語、方向補語の復習と実力テストを行います。	
9	第13課可能補語(一)の第1部の例文の学習と理解を行います。	
10	第13課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
11	第14可能補語(二)の第1部の例文の学習と理解を行います。	
12	第14課の第1部の例文を読みながら、音で理解できるように練習していきます。	
13	センテンスの構文の総合理解と実践を行います。	
14	センテンスの構文の総合理解と実践を行います。	
15	第15課を学習します。後期の復習と確認テストを行います。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
センテンスの理解と実践	文楚雄・陳敏著 ／晃洋書房／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・基礎 (2A)

10699

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの学生を対象とし、週2回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文、補語文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第2課を学習する。	
6	テキストの第3課を学習する。	
7	テキストの第4課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第5課を学習する。	
10	テキストの第6課を学習する。	
11	テキストの第7課を学習する。	
12	テキストの第8課を学習する。	
13	テキストの第9課を学習する。	
14	テキストの第10課を学習する。	
15	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社 ／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・基礎 (2B)

10864

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの学生を対象とし、週2回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文、補語文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第2課を学習する。	
6	テキストの第3課を学習する。	
7	テキストの第4課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第5課を学習する。	
10	テキストの第6課を学習する。	
11	テキストの第7課を学習する。	
12	テキストの第8課を学習する。	
13	テキストの第9課を学習する。	
14	テキストの第10課を学習する。	
15	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社 ／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・基礎 (2C)

10865

担当者名 / Instructor 今井 俊彦

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの学生を対象とし、週2回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文、助動詞文、補語文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第2課を学習する。	
6	テキストの第3課を学習する。	
7	テキストの第4課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第5課を学習する。	
10	テキストの第6課を学習する。	
11	テキストの第7課を学習する。	
12	テキストの第8課を学習する。	
13	テキストの第9課を学習する。	
14	テキストの第10課を学習する。	
15	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社 ／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・総合I (3A)

10009

担当者名 / Instructor 鳥谷 まゆみ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課の文法を学習する。	
5	テキストの第1課の本文を学習する。	
6	テキストの第2課の文法を学習する。	
7	テキストの第2課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課の文法を学習する。	
10	テキストの第3課の本文を学習する。	
11	テキストの第4課の文法を学習する。	
12	テキストの第4課の本文を学習する。	
13	テキストの第5課の文法を学習する。	
14	テキストの第5課の本文を学習する。	
15	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社 ／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・総合I (3B)

10010

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課の文法を学習する。	
5	テキストの第1課の本文を学習する。	
6	テキストの第2課の文法を学習する。	
7	テキストの第2課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課の文法を学習する。	
10	テキストの第3課の本文を学習する。	
11	テキストの第4課の文法を学習する。	
12	テキストの第4課の本文を学習する。	
13	テキストの第5課の文法を学習する。	
14	テキストの第5課の本文を学習する。	
15	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社 ／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・総合I (3C)

10011

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課の文法を学習する。	
5	テキストの第1課の本文を学習する。	
6	テキストの第2課の文法を学習する。	
7	テキストの第2課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課の文法を学習する。	
10	テキストの第3課の本文を学習する。	
11	テキストの第4課の文法を学習する。	
12	テキストの第4課の本文を学習する。	
13	テキストの第5課の文法を学習する。	
14	テキストの第5課の本文を学習する。	
15	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社 ／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・総合I (3D)

10017

担当者名 / Instructor 山崎 俊鋭

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課の文法を学習する。	
5	テキストの第1課の本文を学習する。	
6	テキストの第2課の文法を学習する。	
7	テキストの第2課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課の文法を学習する。	
10	テキストの第3課の本文を学習する。	
11	テキストの第4課の文法を学習する。	
12	テキストの第4課の本文を学習する。	
13	テキストの第5課の文法を学習する。	
14	テキストの第5課の本文を学習する。	
15	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社 ／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・総合I (3E)

10018

担当者名 / Instructor 緒方 賢一

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課の文法を学習する。	
5	テキストの第1課の本文を学習する。	
6	テキストの第2課の文法を学習する。	
7	テキストの第2課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課の文法を学習する。	
10	テキストの第3課の本文を学習する。	
11	テキストの第4課の文法を学習する。	
12	テキストの第4課の本文を学習する。	
13	テキストの第5課の文法を学習する。	
14	テキストの第5課の本文を学習する。	
15	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社 ／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・総合I (3F)

10135

担当者名 / Instructor　石黒 やすえ

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課の文法を学習する。	
5	テキストの第1課の本文を学習する。	
6	テキストの第2課の文法を学習する。	
7	テキストの第2課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課の文法を学習する。	
10	テキストの第3課の本文を学習する。	
11	テキストの第4課の文法を学習する。	
12	テキストの第4課の本文を学習する。	
13	テキストの第5課の文法を学習する。	
14	テキストの第5課の本文を学習する。	
15	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社 ／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・総合I (3G)

10136

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課の文法を学習する。	
5	テキストの第1課の本文を学習する。	
6	テキストの第2課の文法を学習する。	
7	テキストの第2課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課の文法を学習する。	
10	テキストの第3課の本文を学習する。	
11	テキストの第4課の文法を学習する。	
12	テキストの第4課の本文を学習する。	
13	テキストの第5課の文法を学習する。	
14	テキストの第5課の本文を学習する。	
15	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社 ／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・総合I (3H)

10143

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課の文法を学習する。	
5	テキストの第1課の本文を学習する。	
6	テキストの第2課の文法を学習する。	
7	テキストの第2課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課の文法を学習する。	
10	テキストの第3課の本文を学習する。	
11	テキストの第4課の文法を学習する。	
12	テキストの第4課の本文を学習する。	
13	テキストの第5課の文法を学習する。	
14	テキストの第5課の本文を学習する。	
15	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社 ／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・総合I (3I)

10145

担当者名 / Instructor 山崎 俊鋭

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。コミュニケーションの手段としての中国語の基礎を、発音、語彙、文法、表現の面から学習する。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語では日常的に使われている漢字はほぼ日本語の常用漢字と一致し、書き方もたいした違いがないことは学習者にとっては入門しやすい点と言える。しかし、発音や文法などは日本語と全く違う体系となっているので、漢字の落とし穴に落ちないように、最初から発音の記号ピンイン(中国式のローマ字)を丁寧に練習して身に付ける必要がある。
正しい中国語の発音(ピンイン)や声調を身に付ける。基本語彙、基本文型、基礎文法などを習得する。判断文、動詞文、形容詞文、存現文などを学習する。あいさつ、自己紹介、数字、曜日月日の表現などを学ぶ。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課の文法を学習する。	
5	テキストの第1課の本文を学習する。	
6	テキストの第2課の文法を学習する。	
7	テキストの第2課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課の文法を学習する。	
10	テキストの第3課の本文を学習する。	
11	テキストの第4課の文法を学習する。	
12	テキストの第4課の本文を学習する。	
13	テキストの第5課の文法を学習する。	
14	テキストの第5課の本文を学習する。	
15	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社 ／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・総合II (3A)

10078

担当者名 / Instructor 鳥谷 まゆみ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひととおり習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課の文法を学習する。	
3	テキストの第6課の本文を学習する。	
4	テキストの第7課の文法を学習する。	
5	テキストの第7課の本文を学習する。	
6	テキストの第8課の文法を学習する	
7	テキストの第8課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課の文法を学習する。	
10	テキストの第9課の本文を学習する。	
11	テキストの第10課の文法を学習する。	
12	テキストの第10課の本文を学習する。	
13	受身文の文法や本文を学習する。	
14	使役文の文法や本文を学習する。	
15	全体のまとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・総合II (3B)

10079

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひととおり習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課の文法を学習する。	
3	テキストの第6課の本文を学習する。	
4	テキストの第7課の文法を学習する。	
5	テキストの第7課の本文を学習する。	
6	テキストの第8課の文法を学習する	
7	テキストの第8課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課の文法を学習する。	
10	テキストの第9課の本文を学習する。	
11	テキストの第10課の文法を学習する。	
12	テキストの第10課の本文を学習する。	
13	受身文の文法や本文を学習する。	
14	使役文の文法や本文を学習する。	
15	全体のまとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・総合II (3C)

10080

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひととおり習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課の文法を学習する。	
3	テキストの第6課の本文を学習する。	
4	テキストの第7課の文法を学習する。	
5	テキストの第7課の本文を学習する。	
6	テキストの第8課の文法を学習する	
7	テキストの第8課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課の文法を学習する。	
10	テキストの第9課の本文を学習する。	
11	テキストの第10課の文法を学習する。	
12	テキストの第10課の本文を学習する。	
13	受身文の文法や本文を学習する。	
14	使役文の文法や本文を学習する。	
15	全体のまとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・総合II (3D)

10087

担当者名 / Instructor 山崎 俊鋭

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひととおり習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課の文法を学習する。	
3	テキストの第6課の本文を学習する。	
4	テキストの第7課の文法を学習する。	
5	テキストの第7課の本文を学習する。	
6	テキストの第8課の文法を学習する	
7	テキストの第8課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課の文法を学習する。	
10	テキストの第9課の本文を学習する。	
11	テキストの第10課の文法を学習する。	
12	テキストの第10課の本文を学習する。	
13	受身文の文法や本文を学習する。	
14	使役文の文法や本文を学習する。	
15	全体のまとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・総合II (3E)

10088

担当者名 / Instructor 緒方 賢一

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひととおり習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課の文法を学習する。	
3	テキストの第6課の本文を学習する。	
4	テキストの第7課の文法を学習する。	
5	テキストの第7課の本文を学習する。	
6	テキストの第8課の文法を学習する	
7	テキストの第8課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課の文法を学習する。	
10	テキストの第9課の本文を学習する。	
11	テキストの第10課の文法を学習する。	
12	テキストの第10課の本文を学習する。	
13	受身文の文法や本文を学習する。	
14	使役文の文法や本文を学習する。	
15	全体のまとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・総合II (3F)

10215

担当者名 / Instructor 石黒 やすえ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひととおり習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課の文法を学習する。	
3	テキストの第6課の本文を学習する。	
4	テキストの第7課の文法を学習する。	
5	テキストの第7課の本文を学習する。	
6	テキストの第8課の文法を学習する	
7	テキストの第8課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課の文法を学習する。	
10	テキストの第9課の本文を学習する。	
11	テキストの第10課の文法を学習する。	
12	テキストの第10課の本文を学習する。	
13	受身文の文法や本文を学習する。	
14	使役文の文法や本文を学習する。	
15	全体のまとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・総合II (3G)

10216

担当者名 / Instructor 塚田 亮太

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひととおり習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課の文法を学習する。	
3	テキストの第6課の本文を学習する。	
4	テキストの第7課の文法を学習する。	
5	テキストの第7課の本文を学習する。	
6	テキストの第8課の文法を学習する	
7	テキストの第8課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課の文法を学習する。	
10	テキストの第9課の本文を学習する。	
11	テキストの第10課の文法を学習する。	
12	テキストの第10課の本文を学習する。	
13	受身文の文法や本文を学習する。	
14	使役文の文法や本文を学習する。	
15	全体のまとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・総合Ⅱ (3H)

10221

担当者名 / Instructor 松尾 洋二

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひととおり習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課の文法を学習する。	
3	テキストの第6課の本文を学習する。	
4	テキストの第7課の文法を学習する。	
5	テキストの第7課の本文を学習する。	
6	テキストの第8課の文法を学習する	
7	テキストの第8課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課の文法を学習する。	
10	テキストの第9課の本文を学習する。	
11	テキストの第10課の文法を学習する。	
12	テキストの第10課の本文を学習する。	
13	受身文の文法や本文を学習する。	
14	使役文の文法や本文を学習する。	
15	全体のまとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・総合II (3I)

10224

担当者名 / Instructor 山崎 俊鋭

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合Ⅰ」の授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙、文法事項、文型などを増やしていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な基本的な語彙や文型を習得し、基本的な文法体系をひととおり習得する。あいさつや簡単な自己紹介が口頭で表現でき、辞書を使いながら簡単な文章が読め、簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課の文法を学習する。	
3	テキストの第6課の本文を学習する。	
4	テキストの第7課の文法を学習する。	
5	テキストの第7課の本文を学習する。	
6	テキストの第8課の文法を学習する	
7	テキストの第8課の本文を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課の文法を学習する。	
10	テキストの第9課の本文を学習する。	
11	テキストの第10課の文法を学習する。	
12	テキストの第10課の本文を学習する。	
13	受身文の文法や本文を学習する。	
14	使役文の文法や本文を学習する。	
15	全体のまとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・展開 (2A)

10787

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コースの「中国語・基礎」を終了した学生を対象とし、週2回行う。「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な語彙や文型を増やし、基本文法体系をひととおり学習し、中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。辞書を使いながら簡単な文章が読めるようになる。辞書を使って簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第1課を学習する。	
3	テキストの第2を学習する。	
4	テキストの第3課を学習する。	
5	テキストの第4課を学習する。	
6	テキストの第5課を学習する。	
7	テキストの第6課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第7課を学習する。	
10	テキストの第8課を学習する。	
11	テキストの第9課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	テキストの第11課を学習する。	
14	テキストの第12課を学習する。	
15	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベルⅡ	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・展開 (2B)

10987

担当者名 / Instructor 今場 正美

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コースの「中国語・基礎」を終了した学生を対象とし、週2回行う。「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な語彙や文型を増やし、基本文法体系をひととおり学習し、中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。辞書を使いながら簡単な文章が読めるようになる。辞書を使って簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第1課を学習する。	
3	テキストの第2を学習する。	
4	テキストの第3課を学習する。	
5	テキストの第4課を学習する。	
6	テキストの第5課を学習する。	
7	テキストの第6課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第7課を学習する。	
10	テキストの第8課を学習する。	
11	テキストの第9課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	テキストの第11課を学習する。	
14	テキストの第12課を学習する。	
15	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベルⅡ	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・展開 (2C)

10989

担当者名 / Instructor 今井 俊彦

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業は、初修重視コースの「中国語・基礎」を終了した学生を対象とし、週2回行う。「中国語・基礎」などの授業で習得した知識を生かしながら、発音や声調を更に上達させ、語彙を増やし、文法事項や文型などの学習を深めていく。コミュニケーションにとって不可欠な中国語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにしていく。基本的に日本人教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話やコミュニケーションに必要な語彙や文型を増やし、基本文法体系をひととおり学習し、中国語検定試験で言えば、4級程度のレベルを目指すことを目標とする。辞書を使いながら簡単な文章が読めるようになる。辞書を使って簡単な作文が書けるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・基礎」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第1課を学習する。	
3	テキストの第2を学習する。	
4	テキストの第3課を学習する。	
5	テキストの第4課を学習する。	
6	テキストの第5課を学習する。	
7	テキストの第6課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第7課を学習する。	
10	テキストの第8課を学習する。	
11	テキストの第9課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	テキストの第11課を学習する。	
14	テキストの第12課を学習する。	
15	全体まとめ及び確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベルⅡ	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・表現I (2A)

10007

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基礎会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第2を学習する。	
6	テキストの第3課を学習する。	
7	テキストの第4課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第5課を学習する。	
10	テキストの第6課を学習する。	
11	テキストの第7課を学習する。	
12	テキストの第8課を学習する。	
13	テキストの第9課を学習する。	
14	テキストの第10課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編 ／郁文堂出版社 ／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・表現I (2B)

10130

担当者名 / Instructor 郭 富光

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基礎会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第2を学習する。	
6	テキストの第3課を学習する。	
7	テキストの第4課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第5課を学習する。	
10	テキストの第6課を学習する。	
11	テキストの第7課を学習する。	
12	テキストの第8課を学習する。	
13	テキストの第9課を学習する。	
14	テキストの第10課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編 ／郁文堂出版社 ／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・表現I (2C)

10132

担当者名 / Instructor 張 黎

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース(8単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・基礎」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基礎会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。日常生活や海外旅行での簡単な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第2を学習する。	
6	テキストの第3課を学習する。	
7	テキストの第4課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第5課を学習する。	
10	テキストの第6課を学習する。	
11	テキストの第7課を学習する。	
12	テキストの第8課を学習する。	
13	テキストの第9課を学習する。	
14	テキストの第10課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編 ／郁文堂出版社 ／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

中国語・表現I (3A)

11956

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第1課を学習する。	
6	テキストの第2課を学習する。	
7	テキストの第2課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課を学習する。	
10	テキストの第3課を学習する。	
11	テキストの第4課を学習する。	
12	テキストの第4課を学習する。	
13	テキストの第5課を学習する。	
14	テキストの第5課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・表現I (3B)

11957

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第1課を学習する。	
6	テキストの第2課を学習する。	
7	テキストの第2課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課を学習する。	
10	テキストの第3課を学習する。	
11	テキストの第4課を学習する。	
12	テキストの第4課を学習する。	
13	テキストの第5課を学習する。	
14	テキストの第5課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・表現I (3C)

11958

担当者名 / Instructor 郭 茵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第1課を学習する。	
6	テキストの第2課を学習する。	
7	テキストの第2課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課を学習する。	
10	テキストの第3課を学習する。	
11	テキストの第4課を学習する。	
12	テキストの第4課を学習する。	
13	テキストの第5課を学習する。	
14	テキストの第5課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・表現I (3D)

11959

担当者名 / Instructor 張 黎

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第1課を学習する。	
6	テキストの第2課を学習する。	
7	テキストの第2課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課を学習する。	
10	テキストの第3課を学習する。	
11	テキストの第4課を学習する。	
12	テキストの第4課を学習する。	
13	テキストの第5課を学習する。	
14	テキストの第5課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・表現I (3E)

11970

担当者名 / Instructor 陳 敏

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第1課を学習する。	
6	テキストの第2課を学習する。	
7	テキストの第2課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課を学習する。	
10	テキストの第3課を学習する。	
11	テキストの第4課を学習する。	
12	テキストの第4課を学習する。	
13	テキストの第5課を学習する。	
14	テキストの第5課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・表現I (3F)

12106

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第1課を学習する。	
6	テキストの第2課を学習する。	
7	テキストの第2課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課を学習する。	
10	テキストの第3課を学習する。	
11	テキストの第4課を学習する。	
12	テキストの第4課を学習する。	
13	テキストの第5課を学習する。	
14	テキストの第5課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・表現I (3G)

12104

担当者名 / Instructor 章 天明

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第1課を学習する。	
6	テキストの第2課を学習する。	
7	テキストの第2課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課を学習する。	
10	テキストの第3課を学習する。	
11	テキストの第4課を学習する。	
12	テキストの第4課を学習する。	
13	テキストの第5課を学習する。	
14	テキストの第5課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・表現I (3H)

12112

担当者名 / Instructor　甘 琳樺

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第1課を学習する。	
6	テキストの第2課を学習する。	
7	テキストの第2課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課を学習する。	
10	テキストの第3課を学習する。	
11	テキストの第4課を学習する。	
12	テキストの第4課を学習する。	
13	テキストの第5課を学習する。	
14	テキストの第5課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・表現I (3I)

12125

担当者名 / Instructor 陳 敏

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、正確な発音、基礎会話力・基礎リスニング力を養成することを目標とする。週1回行う。「中国語・総合」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かして、正確な発音を身に付けながら、日常生活やコミュニケーションにもっとも基礎的な会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。簡単な挨拶や簡単な自己紹介ができるようになる。簡単な質問や最も基礎的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語発音(ピンイン)の基礎母音、声調を学習する。	
2	中国語発音の子音、二重母音、三重母音を学習する。	
3	中国語発音の鼻音を学習する。発音小テスト。	
4	テキストの第1課を学習する。	
5	テキストの第1課を学習する。	
6	テキストの第2課を学習する。	
7	テキストの第2課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第3課を学習する。	
10	テキストの第3課を学習する。	
11	テキストの第4課を学習する。	
12	テキストの第4課を学習する。	
13	テキストの第5課を学習する。	
14	テキストの第5課を学習する。	
15	全体まとめ及び基礎リスニング力・基礎表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・表現II (2A)

10077

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース（8単位コース）クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第1課を学習する。	
3	テキストの第2を学習する。	
4	テキストの第3課を学習する。	
5	テキストの第4課を学習する。	
6	テキストの第5課を学習する	
7	テキストの第6課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第7課を学習する。	
10	テキストの第8課を学習する。	
11	テキストの第9課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	テキストの第11課を学習する。	
14	テキストの第12課を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベルII	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool （ Blackboard system ）

その他 / Others

中国語・表現II (2B)

10209

担当者名 / Instructor 郭 富光

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース（8単位コース）クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第1課を学習する。	
3	テキストの第2を学習する。	
4	テキストの第3課を学習する。	
5	テキストの第4課を学習する。	
6	テキストの第5課を学習する	
7	テキストの第6課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第7課を学習する。	
10	テキストの第8課を学習する。	
11	テキストの第9課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	テキストの第11課を学習する。	
14	テキストの第12課を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベルII	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool （ Blackboard system ）

その他 / Others

中国語・表現II (2C)

10214

担当者名 / Instructor 張 黎

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の初修重視コース（8単位コース）クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・基礎」及び「中国語・表現1」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・基礎・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第1課を学習する。	
3	テキストの第2を学習する。	
4	テキストの第3課を学習する。	
5	テキストの第4課を学習する。	
6	テキストの第5課を学習する	
7	テキストの第6課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第7課を学習する。	
10	テキストの第8課を学習する。	
11	テキストの第9課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	テキストの第11課を学習する。	
14	テキストの第12課を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベルII	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool （ Blackboard system ）

その他 / Others

中国語・表現II (3A)

12025

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース（4単位コース）クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課を学習する。	
3	テキストの第6課を学習する。	
4	テキストの第7課を学習する。	
5	テキストの第7課を学習する。	
6	テキストの第8課を学習する	
7	テキストの第8課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課を学習する。	
10	テキストの第9課を学習する。	
11	テキストの第10課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	受身文の会話を学習する。	
14	使役文の会話を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・表現II (3B)

12026

担当者名 / Instructor ZHAO NI NA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課を学習する。	
3	テキストの第6課を学習する。	
4	テキストの第7課を学習する。	
5	テキストの第7課を学習する。	
6	テキストの第8課を学習する	
7	テキストの第8課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課を学習する。	
10	テキストの第9課を学習する。	
11	テキストの第10課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	受身文の会話を学習する。	
14	使役文の会話を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・表現II (3C)

12027

担当者名 / Instructor 郭 茵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課を学習する。	
3	テキストの第6課を学習する。	
4	テキストの第7課を学習する。	
5	テキストの第7課を学習する。	
6	テキストの第8課を学習する	
7	テキストの第8課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課を学習する。	
10	テキストの第9課を学習する。	
11	テキストの第10課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	受身文の会話を学習する。	
14	使役文の会話を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・表現II (3D)

12028

担当者名 / Instructor 張 黎

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース（4単位コース）クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課を学習する。	
3	テキストの第6課を学習する。	
4	テキストの第7課を学習する。	
5	テキストの第7課を学習する。	
6	テキストの第8課を学習する	
7	テキストの第8課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課を学習する。	
10	テキストの第9課を学習する。	
11	テキストの第10課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	受身文の会話を学習する。	
14	使役文の会話を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・表現II (3E)

12038

担当者名 / Instructor 陳 敏

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課を学習する。	
3	テキストの第6課を学習する。	
4	テキストの第7課を学習する。	
5	テキストの第7課を学習する。	
6	テキストの第8課を学習する	
7	テキストの第8課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課を学習する。	
10	テキストの第9課を学習する。	
11	テキストの第10課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	受身文の会話を学習する。	
14	使役文の会話を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・表現II (3F)

12181

担当者名 / Instructor 文 楚雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課を学習する。	
3	テキストの第6課を学習する。	
4	テキストの第7課を学習する。	
5	テキストの第7課を学習する。	
6	テキストの第8課を学習する	
7	テキストの第8課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課を学習する。	
10	テキストの第9課を学習する。	
11	テキストの第10課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	受身文の会話を学習する。	
14	使役文の会話を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・表現II (3G)

12182

担当者名 / Instructor 章 天明

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース（4単位コース）クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課を学習する。	
3	テキストの第6課を学習する。	
4	テキストの第7課を学習する。	
5	テキストの第7課を学習する。	
6	テキストの第8課を学習する	
7	テキストの第8課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課を学習する。	
10	テキストの第9課を学習する。	
11	テキストの第10課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	受身文の会話を学習する。	
14	使役文の会話を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・表現II (3H)

12186

担当者名 / Instructor 甘 琳樺

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース(4単位コース)クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課を学習する。	
3	テキストの第6課を学習する。	
4	テキストの第7課を学習する。	
5	テキストの第7課を学習する。	
6	テキストの第8課を学習する	
7	テキストの第8課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課を学習する。	
10	テキストの第9課を学習する。	
11	テキストの第10課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	受身文の会話を学習する。	
14	使役文の会話を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語・表現II (3I)

12197

担当者名 / Instructor 陳 敏

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、1回生の英語重視コース（4単位コース）クラスの連携授業で、「中国語・表現1」を履修した学生を対象とし、週1回行う。「中国語・総合・表現」の授業で学習した語彙・文型・文法などの知識を生かし、発音をさらに上達させながら、日常生活やコミュニケーションに最も必要な基本会話を学習していく。中国語を母語とする教員が担当する。

到達目標 / Attainment Objectives

正確な中国語の発音を身につける。基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする。日常生活や海外旅行での最も基本的な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の「中国語・総合・表現」などで習った内容を復習する。	
2	テキストの第6課を学習する。	
3	テキストの第6課を学習する。	
4	テキストの第7課を学習する。	
5	テキストの第7課を学習する。	
6	テキストの第8課を学習する	
7	テキストの第8課を学習する。	
8	中間まとめ、中間小テスト。	
9	テキストの第9課を学習する。	
10	テキストの第9課を学習する。	
11	テキストの第10課を学習する。	
12	テキストの第10課を学習する。	
13	受身文の会話を学習する。	
14	使役文の会話を学習する。	
15	全体まとめ及び基本リスニング力・基本表現力の確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

副専攻中国語コミュニケーションコース、中国語検定試験・HSK検定試験など各種の中国語検定試験、海外スタディープログラム、長期・短期海外留学などを視野に入れて学習してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカテイブ中国語 レベル I	立命館大学中国語部会編／郁文堂出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

朝鮮語・応用I (2A)

11342

担当者名 / Instructor 金 友子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、朝鮮語の文字と発音から学びます。文字と発音が終わるまで、二人の担当者が連携して授業を行います。文字と発音が終わったら、文法パート(総合)と会話パート(応用)に分かれます。応用1では、学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように対話の練習を行います。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単な挨拶と自己紹介ができるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	文字と発音Ⅰ	
2	文字と発音Ⅱ	
3	文字と発音Ⅲ	
4	発音の変化	
5	小テスト、文字と発音のおさらい	
6	指定詞、指示詞	
7	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
8	総合復習	
9	丁寧形(ヘヨ体)	
10	丁寧形(ヘヨ体)	
11	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
12	用言の変則活用〈1〉	
13	用言の変則活用〈1〉	
14	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
15	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

朝鮮語・応用II (2A)

11426

担当者名 / Instructor 金 友子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

応用Ⅱでは、学んだ文法知識を基に日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学びます。実際の会話ができるように繰り返し対話の練習を行います。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	基礎の復習	
2	基礎の復習	
3	過去形	
4	過去形	
5	接続語尾＜1＞	
6	接続語尾＜1＞、疑問詞	
7	漢数詞	
8	漢数詞を使った表現	
9	固有数詞	
10	固有数詞を使った表現	
11	否定形	
12	不可能の表現	
13	好みの表現	
14	願望の表現	
15	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

朝鮮語・基礎 (2A)

10862

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

この授業では、朝鮮語の文字と発音から始め、朝鮮語を理解するために必要な基礎的な文法事項を、教科書に沿って体系的に学びます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	文字と発音Ⅰ	
2	文字と発音Ⅱ	
3	文字と発音Ⅲ	
4	発音の変化	
5	指定詞、指示詞	
6	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、 存在詞	
7	丁寧形(ヘヨ体)	
8	丁寧形(ヘヨ体)、用言の変則活用〈1〉	
9	過去形	
10	接続語尾〈1〉、疑問詞	
11	漢数詞、漢数詞を使った表現	
12	固有数詞、時刻の表現	
13	否定形、不可能の表現	
14	好みの表現、願望の表現	
15	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

朝鮮語・総合I (3A)

10008

担当者名 / Instructor 林 茂澤

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、朝鮮語の文字と発音から学びます。文字と発音が終わるまで、二人の担当者が連携して授業を行います。文字と発音が終わったら、文法パート(総合)と会話パート(表現)に分かれます。総合では、基礎的な文法事項を教科書に沿って体系的に学びます。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単な挨拶と自己紹介ができるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	文字と発音Ⅰ	
2	文字と発音Ⅱ	
3	文字と発音Ⅲ	
4	発音の変化	
5	小テスト、文字と発音のおさらい	
6	指定詞、指示詞	
7	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
8	総合復習	
9	丁寧形(ヘヨ体)	
10	丁寧形(ヘヨ体)	
11	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
12	用言の変則活用〈1〉	
13	用言の変則活用〈1〉	
14	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
15	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

朝鮮語・総合I (3B)

10138

担当者名 / Instructor 林 茂澤

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、朝鮮語の文字と発音から学びます。文字と発音が終わるまで、二人の担当者が連携して授業を行います。文字と発音が終わったら、文法パート(総合)と会話パート(表現)に分かれます。総合では、基礎的な文法事項を教科書に沿って体系的に学びます。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単な挨拶と自己紹介ができるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	文字と発音Ⅰ	
2	文字と発音Ⅱ	
3	文字と発音Ⅲ	
4	発音の変化	
5	小テスト、文字と発音のおさらい	
6	指定詞、指示詞	
7	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
8	総合復習	
9	丁寧形(ヘヨ体)	
10	丁寧形(ヘヨ体)	
11	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
12	用言の変則活用〈1〉	
13	用言の変則活用〈1〉	
14	小テスト、ヘヨ体のおさらい	
15	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

朝鮮語・総合II (3A)

10081

担当者名 / Instructor 林 茂澤

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

総合Ⅰに引き続き、朝鮮語を理解するために必要な基礎的な文法事項を、教科書に沿って体系的に学びます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	総合Ⅰ文法事項の復習	
2	総合Ⅰ文法事項の復習	
3	過去形	
4	過去形	
5	接続語尾〈1〉	
6	接続語尾〈1〉、疑問詞	
7	漢数詞	
8	漢数詞を使った表現	
9	固有数詞	
10	固有数詞を使った表現	
11	否定形	
12	不可能の表現	
13	好みの表現	
14	願望の表現	
15	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

朝鮮語・総合II (3B)

10211

担当者名 / Instructor 林 茂澤

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

総合Ⅰに引き続き、朝鮮語を理解するために必要な基礎的な文法事項を、教科書に沿って体系的に学びます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

朝鮮語で書かれた短い文章が読める、簡単な日記が書けるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	総合Ⅰ文法事項の復習	
2	総合Ⅰ文法事項の復習	
3	過去形	
4	過去形	
5	接続語尾〈1〉	
6	接続語尾〈1〉、疑問詞	
7	漢数詞	
8	漢数詞を使った表現	
9	固有数詞	
10	固有数詞を使った表現	
11	否定形	
12	不可能の表現	
13	好みの表現	
14	願望の表現	
15	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

朝鮮語・展開 (2A)

10986

担当者名 / Instructor　宋 基燦、南 裕恵

単位数 / Credit　2

授業の概要 / Course Outline

基礎で学んだ文法知識をよりいっそう確実なものにするとともに、朝鮮語の会話の基本として重要な尊敬形や連体形など、新しい文法事項を教科書に沿って体系的に学びます。ハングル能力検定試験の4級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

学習した文法知識を用いてある程度まとまった文章を書き、朝鮮語で書かれた簡単な文章が読めるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	基礎の復習	
2	基礎の復習	
3	尊敬形	
4	尊敬の否定形	
5	現在連体形	
6	未来連体形	
7	未来連体形	
8	連体形のおさらい	
9	連体形のおさらい	
10	意志・未来時制	
11	下称体	
12	引用文	
13	パンマル	
14	状態変化と受身の表現	
15	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

朝鮮語・表現I (2A)

10006

担当者名 / Instructor 宋 基燦

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、前半は「基礎」の授業と連携して文字と発音から学びます。後半は「基礎」で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には基礎と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

慣用的な言い回しを用いた挨拶や簡単な自己紹介、状況や場面に応じて適切な表現が駆使できるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	文字と発音 I	
2	文字と発音 II	
3	文字と発音III	
4	発音の変化	
5	指定詞、指示詞	
6	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
7	丁寧形(ヘヨ体)	
8	丁寧形(ヘヨ体)、用言の変則活用〈1〉	
9	過去形	
10	接続語尾〈1〉、疑問詞	
11	漢数詞、漢数詞を使った表現	
12	固有数詞、時刻の表現	
13	否定形、不可能の表現	
14	好みの表現、願望の表現	
15	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

朝鮮語・表現I (3A)

11963

担当者名 / Instructor 金 惠玉

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、前半は「基礎」の授業と連携して文字と発音から学びます。後半は「基礎」で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には基礎と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

慣用的な言い回しを用いた挨拶や簡単な自己紹介、状況や場面に応じて適切な表現が駆使できるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	文字と発音 I	
2	文字と発音 II	
3	文字と発音III	
4	発音の変化	
5	指定詞、指示詞	
6	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
7	丁寧形(ヘヨ体)	
8	丁寧形(ヘヨ体)、用言の変則活用〈1〉	
9	過去形	
10	接続語尾〈1〉、疑問詞	
11	漢数詞、漢数詞を使った表現	
12	固有数詞、時刻の表現	
13	否定形、不可能の表現	
14	好みの表現、願望の表現	
15	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

朝鮮語・表現I (3B)

12100

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、前半は「基礎」の授業と連携して文字と発音から学びます。後半は「基礎」で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には基礎と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の5級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

慣用的な言い回しを用いた挨拶や簡単な自己紹介、状況や場面に応じて適切な表現が駆使できるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	文字と発音 I	
2	文字と発音 II	
3	文字と発音III	
4	発音の変化	
5	指定詞、指示詞	
6	丁寧形(ハムニダ体)、疑問詞、存在詞	
7	丁寧形(ヘヨ体)	
8	丁寧形(ヘヨ体)、用言の変則活用〈1〉	
9	過去形	
10	接続語尾〈1〉、疑問詞	
11	漢数詞、漢数詞を使った表現	
12	固有数詞、時刻の表現	
13	否定形、不可能の表現	
14	好みの表現、願望の表現	
15	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

朝鮮語・表現II (2A)

10083

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、展開で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には、展開と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の4級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

様々な状況や場面に応じて適切な表現が駆使できる、簡単な自己表現・主張ができるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	基礎の復習	
2	基礎の復習	
3	尊敬形	
4	尊敬の否定形	
5	現在連体形	
6	未来連体形	
7	未来連体形	
8	過去連体形	
9	連体形のおさらい	
10	意志・未来時制	
11	下称体	
12	引用文	
13	パンマル	
14	状態変化と受身の表現	
15	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

朝鮮語・表現II (3A)

12030

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、展開で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には、展開と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の4級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

様々な状況や場面に応じて適切な表現が駆使できる、簡単な自己表現・主張ができるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	基礎の復習	
2	基礎の復習	
3	尊敬形	
4	尊敬の否定形	
5	現在連体形	
6	未来連体形	
7	未来連体形	
8	過去連体形	
9	連体形のおさらい	
10	意志・未来時制	
11	下称体	
12	引用文	
13	パンマル	
14	状態変化と受身の表現	
15	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

朝鮮語・表現II (3B)

12177

担当者名 / Instructor 金 仁姫

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、展開で学んだ文法知識を基に、日常の身近なテーマを取り上げて、すぐに使える表現を学び、実際の会話ができるように、対話の練習や聞き取りの練習を行います。基本的には、展開と同様、教科書に沿って進めます。ハングル能力検定試験の4級に対応できる語学力が身につくはずです。

到達目標 / Attainment Objectives

様々な状況や場面に応じて適切な表現が駆使できる、簡単な自己表現・主張ができるようになることを目標とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	基礎の復習	
2	基礎の復習	
3	尊敬形	
4	尊敬の否定形	
5	現在連体形	
6	未来連体形	
7	未来連体形	
8	過去連体形	
9	連体形のおさらい	
10	意志・未来時制	
11	下称体	
12	引用文	
13	パンマル	
14	状態変化と受身の表現	
15	総合復習	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	到達度検証試験 出席、小テスト、授業態度などで総合的に判断する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

教員作成テキスト・生協で販売

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

ドイツ語・応用I (2A)

11214

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生の「基礎」「展開」で学習したドイツ語の基本を発展させる授業です。
はじめの数回は、Prinzen というポップスグループの最も易しい歌詞を使って、文法の復習をします。慣れれば、
1、ドイツ語検定(独検)の過去問題集の中から、4級と3級の問題を順に読んでみましょう。
2、ZDF(ドイツ公共放送)のニュース(ドイツ語版)を毎回少しずつ聞いて、耳の訓練もしましょう。
3、休憩時間を作り、ロマンチック街道などのドイツ観光ビデオや、ZDFのニュース(日本語版)も、少しずつ見てゆきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ文法が大まかに理解できるようになる。
簡単なテキストなら、辞書を使って読めるようになる。
簡単なテレビのニュースなら、耳で聞いて分かるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

1回生の教科書を復習しておいて下さい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	文法の復習、その1	Prinzenの歌詞カードとその翻訳を、お渡します。 1、まず文法の説明を聞いて、ドイツ語の歌詞を理解し、 2、メロディーに乗ったドイツ語を聞いて、ドイツ語のリズムに慣れて下さい。
2	文法の復習、その2	基礎固め
3	文法の復習、その3	基礎固め。 文法の復習がどれほど必要なのかは、皆さんの様子を見て決めたいと思います。 「これでいい」と僕が判断すれば、ドイツ語検定と、ZDFニュースの教材をお渡しします。 ドイツ語検定の問題は、長文問題を選び、毎回一問ずつ読んでゆきます。まず4級の問題を読み、皆さんが慣れてくれば3級の問題へとレベルを上げてゆきましょう。 ZDFニュースの教材は、一話を4回くらいの授業で終われれば、理想的です。
4	ドイツ語検定4級の問題(その1) ZDFニュース第一話(その1)	
5	ドイツ語検定4級の問題(その2) ZDFニュース第一話(その2)	
6	ドイツ語検定4級の問題(その3) ZDFニュース第一話(その3)	
7	ドイツ語検定4級の問題(その4) ZDFニュース第一話(その4)	このあたりで、ZDFニュースの第一話を終わり、次週から第二話に入れればと思います。(あくまでも予定ですが・・・)
8	ドイツ語検定4級の問題(その5) ZDFニュース第二話(その1)	このあたりで、ドイツ語検定4級の問題を終わり、次週から3級の問題に入れればと思います。(これもあくまでも予定です。皆さんの進歩の具合を見て、臨機応変に決めてゆこうと思います。)
9	ドイツ語検定3級の問題(その1) ZDFニュース第二話(その2)	
10	ドイツ語検定3級の問題(その2) ZDFニュース第二話(その3)	
11	ドイツ語検定3級の問題(その3) ZDFニュース第二話(その4)	このあたりでZDFニュース第二話が終わり、次週から第三話に入れればと思います。(予定です)
12	ドイツ語検定3級の問題(その4) ZDFニュース第三話(その1)	
13	ドイツ語検定3級の問題(その5) ZDFニュース第三話(その2)	
14	ドイツ語検定3級の問題(その6) ZDFニュース第三話(その3)	
15	学習事項のチェックとまとめ、到達度検証テスト。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、中間試験などによって判断します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配ります。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

コミュニケーションペーパー／Communication Paper

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

ドイツ語・応用II (2A)

11272

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期の「応用Ⅰ」に続いてこの「応用Ⅱ」で、ドイツ語のスキルをさらに発展させましょう。
1、独検の過去問題集を、3～2級あたりのレベルへ進んでみる。
2、ZDFも、聞き続ける。
3、ドイツ観光案内と、ZDFニュース(日本語版)も、引き続き見てゆく。
語学は「習うより慣れろ」です。地道な積み重ねが、必ず大きな花を咲かせます。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単なテキストなら、辞書を引いて自分で理解できるようになる。
簡単なテレビのニュースなら、聞いて分かるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツ語検定3級の問題(その1) ZDFニュース第一話(その1)	後期は、ドイツ語検定3級の問題をいくつかやった後で、2級の問題に挑戦してみましょう。 ドイツ語に慣れるために聞くポップスは、後期は Nicole という女性歌手のものにしてみます。 Prinzen は美しいハーモニーで歌うグループですが、歌詞はお子様ランチです。Nicole の大人っぽい歌詞を味わってみて下さい。
2	ドイツ語検定3級の問題(その2) ZDFニュース第一話(その2)	
3	ドイツ語検定3級の問題(その3) ZDFニュース第一話(その3)	
4	ドイツ語検定3級の問題(その4) ZDFニュース第一話(その4)	ZDFニュース第一話は今週で終わり、次週からは第二話に。
5	ドイツ語検定3級の問題(その5) ZDFニュース第二話(その1)	
6	ドイツ語検定3級の問題(その6) ZDFニュース第二話(その2)	ドイツ語検定3級の問題は今週で終り、次週からは2級の問題に移れればとと思います。
7	ドイツ語検定2級の問題(その1) ZDFニュース第二話(その3)	
8	ドイツ語検定2級の問題(その2) ZDFニュース第二話(その4)	ZDFニュース第二話は今週で終わり、次週からは第三話に。
9	ドイツ語検定2級の問題(その3) ZDFニュース第三話(その1)	
10	ドイツ語検定2級の問題(その4) ZDFニュース第三話(その2)	
11	ドイツ語検定2級の問題(その5) ZDFニュース第三話(その3)	
12	ドイツ語検定2級の問題(その6) ZDFニュース第三話(その4)	ZDFニュース第三話は今週で終わり、次週からは第四話に。
13	ドイツ語検定2級の問題(その7) ZDFニュース第四話(その1)	
14	ドイツ語検定2級の問題(その8) ZDFニュース第四話(その2)	
15	学習事項のチェックとまとめ、到達度検証テスト。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、中間試験などによって判断します。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリントを配ります。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る　→ドイツ文化センター（Goethe-Institut）
ドイツ留学、奨学金　→ドイツ学術交流会（DAAD）
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報　→Deutsche Welle

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

コミュニケーションペーパー／Communication Paper

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

ドイツ語・基礎 (2A)

10180

担当者名 / Instructor 鈴木 智

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。週2回の授業を同一の教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につけることが必要です。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化、人称代名詞、疑問詞、前置詞、助動詞、分離動詞を、語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、数詞(時刻、値段など)、家族名称、曜日・月・季節などを学びます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている地域、ドイツ語の音声とアルファベット、簡単な挨拶
2-3	Lek.1A Wie heißt du?	平叙文と疑問文、人称代名詞、規則変化動詞、数詞(1～19)
4-7	Lek.1B Hast du morgen Abend Zeit?	sein・haben、定動詞の位置、挨拶と自己紹介、専攻の名称
8-10	Lek.2A Dann nehme ich den Käsekuchen.	名詞と冠詞の格と性(1格と4格)、数詞(～100)、値段の表現
11-14	Lek.2B Das ist meine Familie.	名詞の複数、所有冠詞・否定冠詞、家族の紹介、職業と趣味の語彙
15-16	Lek.3A Midori fährt nach Kassel.	不規則動詞の現在人称変化、命令と依頼の表現、時刻の表現
17-19	Lek.3B "Rotkäppchen" gefällt mir besonders gut.	疑問詞、3格・2格、定冠詞類、人称代名詞
20-24	Lek.4A Dresden liegt an der Elbe.	前置詞の格支配、曜日・月・季節の名称
25-28	Lek.4B Ich rufe dich an.	話法の助動詞、分離動詞
29-30	前期の学習事項のチェックと弱点の補強、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
シュトラーセ・ノイ	立教大学ドイツ語教室／朝日出版社／978-4-255-25297-1 C1084／

このテキストは次年度、2回生の「応用」でも引き続き使用する予定です。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

ドイツ語・総合I（3A）

12102

担当者名 / Instructor　江城 忠雄

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につけることが必要です。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化を確実に身につけ、加えて人称代名詞、疑問詞、前置詞を理解します。語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、身の回りの物、数詞、曜日と月の名前などを学びます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている国と地域、ドイツ語の音声とつづり、アルファベット、簡単な挨拶
2-3	動詞の現在人称変化	挨拶と自己紹介、平叙文と疑問文
4-5	重要な動詞	seinとhaben、定動詞の位置、主語と述語、疑問詞
6-7	名詞の性と格変化	男性名詞・女性名詞・中性名詞、定冠詞と不定冠詞、1格と4格
8-10	不規則動詞の現在人称変化、間接目的語と直接目的語	名詞の3格、名詞の複数形、数詞
11-12	前置詞	前置詞の格支配、予定を告げる表現、曜日と月
13-14	格変化のまとめ、所有を表す表現	人称代名詞の3格と4格、名詞の2格、時刻
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テスト（随時実施）、到達度検証テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

担当者作成のテキスト（簡易製本で安価）を最初の授業で頒布

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る　→ドイツ文化センター（Goethe-Institut）
ドイツ留学、奨学金　→ドイツ学術交流会（DAAD）
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報　→Deutsche Welle

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

ドイツ語・総合I (3B)

10013

担当者名 / Instructor 鈴木 智

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につけることが必要です。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化を確実に身につけ、加えて人称代名詞、疑問詞、前置詞を理解します。語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、身の回りの物、数詞、曜日と月の名前などを学びます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている国と地域、ドイツ語の音声とつづり、アルファベット、簡単な挨拶
2-3	動詞の現在人称変化	挨拶と自己紹介、平叙文と疑問文
4-5	重要な動詞	seinとhaben、定動詞の位置、主語と述語、疑問詞
6-7	名詞の性と格変化	男性名詞・女性名詞・中性名詞、定冠詞と不定冠詞、1格と4格
8-10	不規則動詞の現在人称変化、間接目的語と直接目的語	名詞の3格、名詞の複数形、数詞
11-12	前置詞	前置詞の格支配、予定を告げる表現、曜日と月
13-14	格変化のまとめ、所有を表す表現	人称代名詞の3格と4格、名詞の2格、時刻
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

担当者作成のテキスト(簡易製本で安価)を最初の授業で頒布

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

ドイツ語・総合I（3C）

11960

担当者名 / Instructor　江城 忠雄

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につけることが必要です。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化を確実に身につけ、加えて人称代名詞、疑問詞、前置詞を理解します。語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、身の回りの物、数詞、曜日と月の名前などを学びます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている国と地域、ドイツ語の音声とつづり、アルファベット、簡単な挨拶
2-3	動詞の現在人称変化	挨拶と自己紹介、平叙文と疑問文
4-5	重要な動詞	seinとhaben、定動詞の位置、主語と述語、疑問詞
6-7	名詞の性と格変化	男性名詞・女性名詞・中性名詞、定冠詞と不定冠詞、1格と4格
8-10	不規則動詞の現在人称変化、間接目的語と直接目的語	名詞の3格、名詞の複数形、数詞
11-12	前置詞	前置詞の格支配、予定を告げる表現、曜日と月
13-14	格変化のまとめ、所有を表す表現	人称代名詞の3格と4格、名詞の2格、時刻
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テスト（随時実施）、到達度検証テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

担当者作成のテキスト（簡易製本で安価）を最初の授業で頒布

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る　→ドイツ文化センター（Goethe-Institut）
ドイツ留学、奨学金　→ドイツ学術交流会（DAAD）
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報　→Deutsche Welle

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

ドイツ語・総合I（3D）

10139

担当者名 / Instructor　高木 敏美

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

コミュニケーションの手段としてのドイツ語の基礎を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語は英語などに比べると、基礎段階においては発音が簡単で文法が複雑という特徴をもっています。しかし簡単とはいえドイツ語独自の音であることに違いはないので、まずドイツ語の音声を身につけることが必要です。文法では、動詞の現在人称変化、名詞・冠詞の格変化を確実に身につけ、加えて人称代名詞、疑問詞、前置詞を理解します。語彙・表現では、あいさつ・自己紹介、身の回りの物、数詞、曜日と月の名前などを学びます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ドイツ語とはどんな言語か	ドイツ語の使われている国と地域、ドイツ語の音声とつづり、アルファベット、簡単な挨拶
2-3	動詞の現在人称変化	挨拶と自己紹介、平叙文と疑問文
4-5	重要な動詞	seinとhaben、定動詞の位置、主語と述語、疑問詞
6-7	名詞の性と格変化	男性名詞・女性名詞・中性名詞、定冠詞と不定冠詞、1格と4格
8-10	不規則動詞の現在人称変化、間接目的語と直接目的語	名詞の3格、名詞の複数形、数詞
11-12	前置詞	前置詞の格支配、予定を告げる表現、曜日と月
13-14	格変化のまとめ、所有を表す表現	人称代名詞の3格と4格、名詞の2格、時刻
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テスト（随時実施）、到達度検証テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

担当者作成のテキスト（簡易製本で安価）を最初の授業で頒布

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る　→ドイツ文化センター（Goethe-Institut）
ドイツ留学、奨学金　→ドイツ学術交流会（DAAD）
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報　→Deutsche Welle

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

ドイツ語・総合II (3A)

12178

担当者名 / Instructor 江城 忠雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「総合Ⅰ」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

基本的な語彙を習得し、あいさつや自己紹介が口頭ででき、簡単な文章が読んで理解できるようになることを目指します。また、基礎的な文法事項(冠詞類、動詞の3基本形、再帰代名詞・再帰動詞、過去の表現、形容詞の格変化と比較表現、主文と副文、関係代名詞など)をひととおり学習することによって今後の関心に応じたドイツ語学習に対応できる素地を養います。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「総合Ⅰ」で学習した事項の確認	
2-3	冠詞類	所有冠詞、指示代名詞、家族の紹介
4	分離動詞	
5	再帰表現	再帰代名詞、再帰動詞
6	話法の助動詞	希望や義務の表現、枠構造
7-9	過去形・現在完了形	動詞の3基本形、過去人称変化、経験の伝達、過去の事柄の表現
10	形容詞の格変化、比較級と最上級	好みの表現
11	zu不定詞	
12-13	主文と副文	接続詞
14	関係代名詞	
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

「総合Ⅰ」に引き続き担当者編集テキストを使用

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

ドイツ語・総合II (3B)

10074

担当者名 / Instructor 鈴木 智

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「総合Ⅰ」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

基本的な語彙を習得し、あいさつや自己紹介が口頭ででき、簡単な文章が読んで理解できるようになることを目指します。また、基礎的な文法事項(冠詞類、動詞の3基本形、再帰代名詞・再帰動詞、過去の表現、形容詞の格変化と比較表現、主文と副文、関係代名詞など)をひととおり学習することによって今後の関心に応じたドイツ語学習に対応できる素地を養います。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「総合Ⅰ」で学習した事項の確認	
2-3	冠詞類	所有冠詞、指示代名詞、家族の紹介
4	分離動詞	
5	再帰表現	再帰代名詞、再帰動詞
6	話法の助動詞	希望や義務の表現、枠構造
7-9	過去形・現在完了形	動詞の3基本形、過去人称変化、経験の伝達、過去の事柄の表現
10	形容詞の格変化、比較級と最上級	好みの表現
11	zu不定詞	
12-13	主文と副文	接続詞
14	関係代名詞	
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

「総合Ⅰ」に引き続き担当者編集テキストを使用

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

ドイツ語・総合II (3C)

12023

担当者名 / Instructor 江城 忠雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「総合Ⅰ」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

基本的な語彙を習得し、あいさつや自己紹介が口頭ででき、簡単な文章が読んで理解できるようになることを目指します。また、基礎的な文法事項(冠詞類、動詞の3基本形、再帰代名詞・再帰動詞、過去の表現、形容詞の格変化と比較表現、主文と副文、関係代名詞など)をひととおり学習することによって今後の関心に応じたドイツ語学習に対応できる素地を養います。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「総合Ⅰ」で学習した事項の確認	
2-3	冠詞類	所有冠詞、指示代名詞、家族の紹介
4	分離動詞	
5	再帰表現	再帰代名詞、再帰動詞
6	話法の助動詞	希望や義務の表現、枠構造
7-9	過去形・現在完了形	動詞の3基本形、過去人称変化、経験の伝達、過去の事柄の表現
10	形容詞の格変化、比較級と最上級	好みの表現
11	zu不定詞	
12-13	主文と副文	接続詞
14	関係代名詞	
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

「総合Ⅰ」に引き続き担当者編集テキストを使用

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

ドイツ語・総合II (3D)

10218

担当者名 / Instructor 高木 敏美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

「総合Ⅰ」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

基本的な語彙を習得し、あいさつや自己紹介が口頭ででき、簡単な文章が読んで理解できるようになることを目指します。また、基礎的な文法事項(冠詞類、動詞の3基本形、再帰代名詞・再帰動詞、過去の表現、形容詞の格変化と比較表現、主文と副文、関係代名詞など)をひととおり学習することによって今後の関心に応じたドイツ語学習に対応できる素地を養います。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「総合Ⅰ」で学習した事項の確認	
2-3	冠詞類	所有冠詞、指示代名詞、家族の紹介
4	分離動詞	
5	再帰表現	再帰代名詞、再帰動詞
6	話法の助動詞	希望や義務の表現、枠構造
7-9	過去形・現在完了形	動詞の3基本形、過去人称変化、経験の伝達、過去の事柄の表現
10	形容詞の格変化、比較級と最上級	好みの表現
11	zu不定詞	
12-13	主文と副文	接続詞
14	関係代名詞	
15	これまでの学習事項のチェック、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

「総合Ⅰ」に引き続き担当者編集テキストを使用

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

ドイツ語・展開 (2A)

10269

担当者名 / Instructor 鈴木 智

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

「基礎」に引き続き、コミュニケーションの手段としてのドイツ語を、発音、文法、語彙・表現の面から学習します。コミュニケーションにとって不可欠なドイツ語圏の生活や文化に関する知識も少しずつ身につけるようにします。週2回の授業を同一の教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

基礎的な文法事項をひととおり学習し、独和辞典を引きながら関係代名詞や接続詞を含む少し長い文章を読めるレベルに到達することを目標とします。また、基本的な語彙を使った短い文章を発話でき、書けるようになることを目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期「基礎」で学習した事項の確認	
2-4	Lek.5A Was hast du in den Sommerferien gemacht?	動詞の3基本形、現在完了
5-7	Lek.5B Wann warst du in Köln?	過去人称変化、接続詞と副文、副詞句
8-11	Lek.6A Am 23. Oktober wird die Hochzeit gefeiert.	受動文、序数・日付
12-14	Lek.6B Bei uns ist es kalt.	非人称表現、zu不定詞
15-17	Lek.7A Der blaue Rock hier ist ganz toll.	形容詞の格変化、形容詞の比較級・最上級
18-20	Lek.7B Ich habe mich erkältet.	再帰代名詞・再帰動詞
21-24	Lek.8A Advent, Advent.	関係代名詞・関係副詞
25-28	Lek.8B Auf dem Weihnachtsmarkt.	非現実話法
29-30	学習した事項のチェックと弱点の補強、到達度検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、小テスト(随時実施)、到達度検証テストによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
シュトラーセ・ノイ	立教大学ドイツ語教室／朝日出版社／978-4-255-25297-1 C1084／

このテキストは次年度、2回生の「応用」でも引き続き使用する予定です。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

ドイツ語・表現I（2A）

11961

担当者名 / Instructor　KOPP STEPHANIE ANNA

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

・挨拶と自己紹介ができるようになる
・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
・数字に習熟する
・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-4	Kennenlernen（人と知り合う）	あいさつ、自分と他者を紹介する（名前・出身・住まい・言語・専攻）、一人称と二人称、疑問詞、小テスト
5-8	Freizeit（自由時間）	自由時間の過ごし方、100までの数、年齢・住所・電話番号・職業を伝える、人称代名詞、動詞の現在人称変化、小テスト
9-12	Tagesablauf（一日の行動）	時間表現を使う、日常の行動、一週間の予定、約束のとりつけ、分離動詞、語順、話法の助動詞、小テスト
13-15	Essen und Trinken（食事）	食習慣、レストランで注文する・支払う、名詞の性と格、定・不定・否定冠詞、主格と目的格、復習、到達度検証テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、宿題、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Start frei! （『CD付き　スタート！』コミュニケーション活動で学ぶドイツ語）	藤原三枝子　他／三修社／978-4-384-12262-6 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る　→ドイツ文化センター（Goethe-Institut）
ドイツ留学、奨学金　→ドイツ学術交流会（DAAD）
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報　→Deutsche Welle
ドイツの若者について　www.young-germany.jp
ドイツについて（日独交流150周年）　www.dj150.jp

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

ドイツ語・表現I (3A)

10005

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

・挨拶と自己紹介ができるようになる
・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
・数字に習熟する
・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-4	Kennenlernen(人と知り合う)	あいさつ、自分と他者を紹介する(名前・出身・住まい・言語・専攻)、一人称と二人称、疑問詞、小テスト
5-8	Freizeit(自由時間)	自由時間の過ごし方、100までの数、年齢・住所・電話番号・職業を伝える、人称代名詞、動詞の現在人称変化、小テスト
9-12	Tagesablauf(一日の行動)	時間表現を使う、日常の行動、一週間の予定、約束のとりつけ、分離動詞、語順、話法の助動詞、小テスト
13-15	Essen und Trinken(食事)	食習慣、レストランで注文する・支払う、名詞の性と格、定・不定・否定冠詞、主格と目的格、復習、到達度検証テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、宿題、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Start frei! (『CD付き スタート！』コミュニケーション活動で学ぶドイツ語)	藤原三枝子 他／三修社／978-4-384-12262-6 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle
ドイツの若者について www.young-germany.jp
ドイツについて(日独交流150周年) www.dj150.jp

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

ドイツ語・表現I (3B)

12107

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

・挨拶と自己紹介ができるようになる
・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
・数字に習熟する
・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-4	Kennenlernen(人と知り合う)	あいさつ、自分と他者を紹介する(名前・出身・住まい・言語・専攻)、一人称と二人称、疑問詞、小テスト
5-8	Freizeit(自由時間)	自由時間の過ごし方、100までの数、年齢・住所・電話番号・職業を伝える、人称代名詞、動詞の現在人称変化、小テスト
9-12	Tagesablauf(一日の行動)	時間表現を使う、日常の行動、一週間の予定、約束のとりつけ、分離動詞、語順、話法の助動詞、小テスト
13-15	Essen und Trinken(食事)	食習慣、レストランで注文する・支払う、名詞の性と格、定・不定・否定冠詞、主格と目的格、復習、到達度検証テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、宿題、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Start frei! (『CD付き スタート！』コミュニケーション活動で学ぶドイツ語)	藤原三枝子 他／三修社／978-4-384-12262-6 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle
ドイツの若者について www.young-germany.jp
ドイツについて(日独交流150周年) www.dj150.jp

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

ドイツ語・表現I (3C)

10133

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

・挨拶と自己紹介ができるようになる
・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
・数字に習熟する
・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-4	Kennenlernen(人と知り合う)	あいさつ、自分と他者を紹介する(名前・出身・住まい・言語・専攻)、一人称と二人称、疑問詞、小テスト
5-8	Freizeit(自由時間)	自由時間の過ごし方、100までの数、年齢・住所・電話番号・職業を伝える、人称代名詞、動詞の現在人称変化、小テスト
9-12	Tagesablauf(一日の行動)	時間表現を使う、日常の行動、一週間の予定、約束のとりつけ、分離動詞、語順、話法の助動詞、小テスト
13-15	Essen und Trinken(食事)	食習慣、レストランで注文する・支払う、名詞の性と格、定・不定・否定冠詞、主格と目的格、復習、到達度検証テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、宿題、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Start frei! (『CD付き スタート！』コミュニケーション活動で学ぶドイツ語)	藤原三枝子 他／三修社／978-4-384-12262-6 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle
ドイツの若者について www.young-germany.jp
ドイツについて(日独交流150周年) www.dj150.jp

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

ドイツ語・表現I (3D)

11953

担当者名 / Instructor　WAYCHERT CARSTEN S.

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

・挨拶と自己紹介ができるようになる
・身近な物の名前、国名と言語名を覚える
・数字に習熟する
・質問と答え方のパターンを理解し、簡単なやり取りができるようになる

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-4	Kennenlernen(人と知り合う)	あいさつ、自分と他者を紹介する(名前・出身・住まい・言語・専攻)、一人称と二人称、疑問詞、小テスト
5-8	Freizeit(自由時間)	自由時間の過ごし方、100までの数、年齢・住所・電話番号・職業を伝える、人称代名詞、動詞の現在人称変化、小テスト
9-12	Tagesablauf(一日の行動)	時間表現を使う、日常の行動、一週間の予定、約束のとりつけ、分離動詞、語順、話法の助動詞、小テスト
13-15	Essen und Trinken(食事)	食習慣、レストランで注文する・支払う、名詞の性と格、定・不定・否定冠詞、主格と目的格、復習、到達度検証テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、宿題、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Start frei! (『CD付き スタート！』コミュニケーション活動で学ぶドイツ語)	藤原三枝子 他／三修社／978-4-384-12262-6 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る　→ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金　→ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報　→Deutsche Welle
ドイツの若者について　www.young-germany.jp
ドイツについて(日独交流150周年)　www.dj150.jp

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

ドイツ語・表現II (2A)

12024

担当者名 / Instructor KOPP STEPHANIE ANNA

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-4	Wohnen(住まい)	「表現1」の復習、家・部屋・台所、家について意見を述べる、どこに何があるか・どこへ何を置くかを表現する、名詞の複数形、場所を表す前置詞+与格・目的格、所有冠詞(1)
5-8	Einkaufen(買い物)	どこで何を買うかを話す、商品、広告の理解、営業時間、序数、「この~」を表す冠詞、指示代名詞、命令形、人称代名詞の目的格
9-12	Familie(家族)	家族を紹介する、誕生日、プレゼント、パーティーへの招待、所有冠詞(2)、人称代名詞(与格)、動詞と格の関係
13-15	Reisen(旅行)	休暇の計画、ホテルの予約、観光局への問い合わせ、場所を表す前置詞、復習、到達度検証テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、宿題、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Start frei! (『CD付き スタート!』コミュニケーション活動で学ぶドイツ語)	藤原三枝子 他/三修社/978-4-384-12262-6 C1084/

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle
ドイツの若者について www.young-germany.jp
ドイツについて(日独交流150周年) www.dj150.jp

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

ドイツ語・表現II (3A)

10075

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-4	Wohnen(住まい)	「表現1」の復習、家・部屋・台所、家について意見を述べる、どこに何があるか・どこへ何を置くかを表現する、名詞の複数形、場所を表す前置詞＋与格・目的格、所有冠詞(1)
5-8	Einkaufen(買い物)	どこで何を買うかを話す、商品、広告の理解、営業時間、序数、「この～」を表す冠詞、指示代名詞、命令形、人称代名詞の目的格
9-12	Familie(家族)	家族を紹介する、誕生日、プレゼント、パーティーへの招待、所有冠詞(2)、人称代名詞(与格)、動詞と格の関係
13-15	Reisen(旅行)	休暇の計画、ホテルの予約、観光局への問い合わせ、場所を表す前置詞、復習、到達度検証テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、宿題、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Start frei! (『CD付き スタート！』コミュニケーション活動で学ぶドイツ語)	藤原三枝子 他／三修社／978-4-384-12262-6 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle
ドイツの若者について www.young-germany.jp
ドイツについて(日独交流150周年) www.dj150.jp

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

ドイツ語・表現II (3B)

12179

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-4	Wohnen(住まい)	「表現1」の復習、家・部屋・台所、家について意見を述べる、どこに何があるか・どこへ何を置くかを表現する、名詞の複数形、場所を表す前置詞＋与格・目的格、所有冠詞(1)
5-8	Einkaufen(買い物)	どこで何を買うかを話す、商品、広告の理解、営業時間、序数、「この～」を表す冠詞、指示代名詞、命令形、人称代名詞の目的格
9-12	Familie(家族)	家族を紹介する、誕生日、プレゼント、パーティーへの招待、所有冠詞(2)、人称代名詞(与格)、動詞と格の関係
13-15	Reisen(旅行)	休暇の計画、ホテルの予約、観光局への問い合わせ、場所を表す前置詞、復習、到達度検証テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、宿題、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Start frei! (『CD付き スタート！』コミュニケーション活動で学ぶドイツ語)	藤原三枝子 他／三修社／978-4-384-12262-6 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle
ドイツの若者について www.young-germany.jp
ドイツについて(日独交流150周年) www.dj150.jp

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

ドイツ語・表現II (3C)

10212

担当者名 / Instructor KOEHN DETLEF

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-4	Wohnen(住まい)	「表現1」の復習、家・部屋・台所、家について意見を述べる、どこに何があるか・どこへ何を置くかを表現する、名詞の複数形、場所を表す前置詞＋与格・目的格、所有冠詞(1)
5-8	Einkaufen(買い物)	どこで何を買うかを話す、商品、広告の理解、営業時間、序数、「この～」を表す冠詞、指示代名詞、命令形、人称代名詞の目的格
9-12	Familie(家族)	家族を紹介する、誕生日、プレゼント、パーティーへの招待、所有冠詞(2)、人称代名詞(与格)、動詞と格の関係
13-15	Reisen(旅行)	休暇の計画、ホテルの予約、観光局への問い合わせ、場所を表す前置詞、復習、到達度検証テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、宿題、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Start frei! (『CD付き スタート！』コミュニケーション活動で学ぶドイツ語)	藤原三枝子 他／三修社／978-4-384-12262-6 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る →ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金 →ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報 →Deutsche Welle
ドイツの若者について www.young-germany.jp
ドイツについて(日独交流150周年) www.dj150.jp

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

ドイツ語・表現II (3D)

12020

担当者名 / Instructor　WAYCHERT CARSTEN S.

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

ドイツ語による基本的なコミュニケーションの力を養成することを目標とします。そのために必要な語彙・言い回しを、主として耳で聴き、口に出してみるという練習を通じて獲得します。ドイツ語を母語とする教員が担当します。

到達目標 / Attainment Objectives

・日常生活でよく使う言い回しに習熟する
・基本的な語彙・言い回しは文字に頼らず音声だけで理解できるようにする
・意図や能力、過去の出来事・経験を述べる言い方を理解する

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1-4	Wohnen(住まい)	「表現1」の復習、家・部屋・台所、家について意見を述べる、どこに何があるか・どこへ何を置くかを表現する、名詞の複数形、場所を表す前置詞＋与格・目的格、所有冠詞(1)
5-8	Einkaufen(買い物)	どこで何を買うかを話す、商品、広告の理解、営業時間、序数、「この～」を表す冠詞、指示代名詞、命令形、人称代名詞の目的格
9-12	Familie(家族)	家族を紹介する、誕生日、プレゼント、パーティーへの招待、所有冠詞(2)、人称代名詞(与格)、動詞と格の関係
13-15	Reisen(旅行)	休暇の計画、ホテルの予約、観光局への問い合わせ、場所を表す前置詞、復習、到達度検証テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

NHKテレビ、ラジオのドイツ語講座は教室での学習を補強するには最適です。たとえ定期的にではなくとも視聴することを薦めます。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、授業参加、宿題、小テストなどによる

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Start frei! (『CD付き スタート！』コミュニケーション活動で学ぶドイツ語)	藤原三枝子 他／三修社／978-4-384-12262-6 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

ドイツ語を学ぶ、ドイツを知る　→ドイツ文化センター(Goethe-Institut)
ドイツ留学、奨学金　→ドイツ学術交流会(DAAD)
文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報　→Deutsche Welle
ドイツの若者について　www.young-germany.jp
ドイツについて(日独交流150周年)　www.dj150.jp

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

フランス語・応用I (2A)

11340

担当者名 / Instructor　宇野木 めぐみ

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

フランス語の会話練習、および、やさしい文章を書く練習を繰り返します。
フランス語の音に慣れるため、ヒアリング教材を使用します。
初級から中級レヴェルの知識を確かなものにするため、絶えず文法確認を行ないます。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語で大まかなコミュニケーションがとれるようになる
フランス語の言語感覚をやしなう
フランス語で読む、書く、聞く、話すことの悦びを知る
初級～中級レヴェルの理解力をやしなう

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語初級文法

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	発音	挨拶する。自己紹介する。
2	動詞ETRE, ALLER	ある人について尋ねる。つづりを言う。
3	動詞ETRE, FAIRE	人と知り合いになる。名前、職業、住んでいる場所について尋ねる。
4	所有形容詞、動詞VOULOIR	国籍を尋ねる。自分の希望を言う。
5	テスト、動詞CONNAITRE, 形容詞の性数一致	ある人について尋ねる。何かを示しながら話す。
6	動詞AIMER, 定冠詞	自分の好きなものについて話す。好き嫌いの度合いについて話す。
7	ER動詞、動詞の原形	自分は何をするのが好きか言ってみる。自分のやりたいことについて話す。
8	形容詞の男性形と女性形	好みを説明する。人について描写してみる。
9	動詞AVOIR, 疑問形容詞	自分について話す。時間の使い方について話す。
10	テスト、定冠詞の単数形と複数形、否定形	持っているものについて話す。物を借りる。
11	動詞SAVOIR, 命令形	ある場所について説明する。その場所を位置づける。
12	C'EST, CE SONT, IL Y Aを使った表現	観光地について話す。
13	動詞の活用、指示代名詞	何をするか尋ねる。詳しく尋ねる。
14	不規則動詞、否定形	特徴を言う。正確に伝える。
15	まとめ	テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、出席、授業参加

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
EXPRESSION 1	高橋秀雄・Serge GIUNTA／第三書房／978-4-8086-2165-0／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

辞書を持参してください。

フランス語・応用I (2B)

11357

担当者名 / Instructor　橋本 知子

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

フランス語の会話練習、および、やさしい文章を書く練習を繰り返します。
フランス語の音に慣れるため、ヒアリング教材を使用します。
初級から中級レヴェルの知識を確かなものにするため、絶えず文法確認を行ないます。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語で大まかなコミュニケーションがとれるようになる
フランス語の言語感覚をやしなう
フランス語で読む、書く、聞く、話すことの悦びを知る
初級～中級レヴェルの理解力をやしなう

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語初級文法

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	発音	挨拶する。自己紹介する。
2	動詞ETRE, ALLER	ある人について尋ねる。つづりを言う。
3	動詞ETRE, FAIRE	人と知り合いになる。名前、職業、住んでいる場所について尋ねる。
4	所有形容詞、動詞VOULOIR	国籍を尋ねる。自分の希望を言う。
5	テスト、動詞CONNAITRE, 形容詞の性数一致	ある人について尋ねる。何かを示しながら話す。
6	動詞AIMER, 定冠詞	自分の好きなものについて話す。好き嫌いの度合いについて話す。
7	ER動詞、動詞の原形	自分は何をするのが好きか言ってみる。自分のやりたいことについて話す。
8	形容詞の男性形と女性形	好みを説明する。人について描写してみる。
9	動詞AVOIR, 疑問形容詞	自分について話す。時間の使い方について話す。
10	テスト、定冠詞の単数形と複数形、否定形	持っているものについて話す。物を借りる。
11	動詞SAVOIR, 命令形	ある場所について説明する。その場所を位置づける。
12	C'EST, CE SONT, IL Y Aを使った表現	観光地について話す。
13	動詞の活用、指示代名詞	何をするか尋ねる。詳しく尋ねる。
14	不規則動詞、否定形	特徴を言う。正確に伝える。
15	まとめ	テスト

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、出席、授業参加

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
EXPRESSION 1	高橋秀雄・Serge GIUNTA／第三書房／978-4-8086-2165-0／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

辞書を持参してください。

フランス語・応用II (2A)

11422

担当者名 / Instructor　宇野木 めぐみ

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

綴り方(スペリング)の練習を行ない、簡潔かつ正しい文章が書けるようになる練習をします。
自然なフランス語(つまりは早口でまくしたてるフランス語)に慣れるため、ヒアリング教材を多用します。
文法知識の確認、および、語彙をふやす練習をします。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語の言語感覚を更にやしなう
フランス語で読む、書く、聞く、話すことを徹底させる
初級～中級レヴェルの理解力をさらにやしなう

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語初級文法

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	形容詞AUTRE, 代名詞EN	余暇の過ごし方について話す。習慣について話す。
2	複合過去、時間の示す表現	家族について話す。過去について話す。
3	前置詞A, CHEZ, EN, 中性代名詞Y	場所、時刻の表示。公共機関の営業時間について尋ねる。
4	動詞VENIR, POUVOIR,DEVOIR	できないこと、すべきでないことについて話す。電話での対応の仕方。
5	テスト、動詞ALLER、時を示す表現	日付の表現。休暇のすごし方について話す。
6	代名動詞、動詞PRENDRE	毎日の行為について話す。順番を表す表現。
7	動詞PARTIR, ARRIVER, 直接目的補語人称代名詞	交通手段について話す。数字の表現。
8	動詞DESCENDRE,PAYER	移動するときの表現。列車の旅について話す。
9	近接未来形、動詞の名詞化	天候、気温について話す。観光について話す。
10	テスト、動詞VOULOIR, 仮定法	パリの観光について話す。仮定について話す。
11	動詞BOIRE, MANGER, 間接目的補語人称代名詞	食べること、飲むことについて話す。
12	部分冠詞	レストランでの表現
13	色を示す形容詞、複合過去	落し物について説明する。
14	半過去、代名動詞の複合過去形	方向について話す。
15	テスト	まとめ

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、出席、授業参加

フランス語を母語とする外国人の担当する「コミュニケーション」の授業では、フランス語によるコミュニケーション能力の向上に必要な発音・語彙・基本表現を習得するために、とりわけ口頭による練習を行います。平常点を重視するので、授業への積極的な参加を求めます。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
EXPRESSION 2	高橋秀雄・Serge GIUNTA／第三書房／978-4-8086-2166-7／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

辞書を持参してください。

フランス語・応用II (2B)

11435

担当者名 / Instructor 橋本 知子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

綴り方(スペリング)の練習を行ない、簡潔かつ正しい文章が書けるようになる練習をします。
自然なフランス語(つまりは早口でまくしたてるフランス語)に慣れるため、ヒアリング教材を多用します。
文法知識の確認、および、語彙をふやす練習をします。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語の言語感覚を更にやしなう
フランス語で読む、書く、聞く、話すことを徹底させる
初級～中級レヴェルの理解力をさらにやしなう

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語初級文法

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	形容詞AUTRE, 代名詞EN	余暇の過ごし方について話す。習慣について話す。
2	複合過去、時間の示す表現	家族について話す。過去について話す。
3	前置詞A, CHEZ, EN, 中性代名詞Y	場所、時刻の表示。公共機関の営業時間について尋ねる。
4	動詞VENIR, POUVOIR,DEVOIR	できないこと、すべきでないことについて話す。電話での対応の仕方。
5	テスト、動詞ALLER、時を示す表現	日付の表現。休暇のすごし方について話す。
6	代名動詞、動詞PRENDRE	毎日の行為について話す。順番を表す表現。
7	動詞PARTIR, ARRIVER, 直接目的補語人称代名詞	交通手段について話す。数字の表現。
8	動詞DESCENDRE,PAYER	移動するときの表現。列車の旅について話す。
9	近接未来形、動詞の名詞化	天候、気温について話す。観光について話す。
10	テスト、動詞VOULOIR, 仮定法	パリの観光について話す。仮定について話す。
11	動詞BOIRE, MANGER, 間接目的補語人称代名詞	食べること、飲むことについて話す。
12	部分冠詞	レストランでの表現
13	色を示す形容詞、複合過去	落し物について説明する。
14	半過去、代名動詞の複合過去形	方向について話す。
15	テスト	まとめ

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト、出席、授業参加

フランス語を母語とする外国人の担当する「コミュニケーション」の授業では、フランス語によるコミュニケーション能力の向上に必要な発音・語彙・基本表現を習得するために、とりわけ口頭による練習を行います。平常点を重視するので、授業への積極的な参加を求めます。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
EXPRESSION 2	高橋秀雄・Serge GIUNTA／第三書房／978-4-8086-2166-7／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

辞書を持参してください。

フランス語・基礎 (2A)

10179

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

週2回の授業（同一教員が担当）で、フランス語の基礎的な文法事項を学習します。
今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語習得の最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「基礎」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。週2回の授業で、じっくり、ゆっくり学びますので、確実な学習効果があります。
また、教科書付属のCDを用いてヒアリングの訓練も行います。
なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス（週1回）で学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

1）フランス語を正確に発音できる。
2）フランス語文法の基礎が理解できる。
3）フランス語の基礎的な語彙を理解できる。
4）簡単なフランス語を聞いて理解できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴、リエゾン、アンシェーヌマン
2	国籍や職業を表現しよう	主語人称代名詞
3	フランス語の名詞には、男と女がいる？	男性名詞・女性名詞
4	彼女は優しい？それとも意地悪？	形容詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	小休止：フランス語の数字	数詞（1-100）
7	英語のThis is a penを、フランス語で言うと？	指示代名詞
8	フランス語で質問しよう	疑問文
9	これは私の本ですか？それとも君の本？	所有形容詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置と変化
11	これは何ですか？あれは誰ですか？	疑問代名詞、疑問副詞
12	フランス語で未来を語ろう	近接未来
13	フランス語で過去を語ろう	近接過去
14	国名をフランス語で発音しよう	冠詞の縮約
15	フランス語特有の語順（その1）	中性代名詞 y
16	たくさんの水と、ほんの少しのパン	フランス語の数量表現
17	フランス語特有の語順（その2）	中性代名詞 en
18	天候をフランス語で語ろう	非人称構文（その1）、動詞 faire
19	時間をフランス語で表現しよう	非人称表現（その2）、時刻
20	あなたはどんな車が好きですか？	疑問形容詞とその変化
21	人にものを頼むときは	さまざまな命令文
22	ふたつのものを比較しよう	比較級
23	このクラスで一番背が高いのは誰？	最上級
24	「この本」と「あの本」は、どうやって区別するの？	指示代名詞
25	フランス語で過去の経験を語ろう	複合過去（その1）
26	続・フランス語で過去の経験を語ろう	複合過去（その2）
27	誕生日をフランス語で言ってみて！	暦にかんする語彙、1000以上の数
28	簡単なフランス語を読んでみよう！	Documents authentiques、リーディング
29	前期のまとめ（その1）	日常の語彙、動詞の活用
30	前期のまとめ（その2）	基本構文の把握、時制

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。
それではもの足りないという人には、「フランス語講座」（NHKテレビ）の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	(80%) 授業でテストを実施します。 初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。 (20%) 出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。 授業回数の１／３以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ピエールとユゴー	小笠原洋子／白水社／978-4-560-06100-8／

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン仏和辞典	／三省堂／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス（http://www.edufrance-japan.com）
フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

エデュ・フランス（http://www.diplo.jp）
フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

フランス語・総合I (3A)

10012

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)では、フランス語文法の習熟を目指します。
今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語を習得するための最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「総合」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。
なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

1)フランス語の初歩的な文章が理解できる。
2)初歩的なフランス語の文法事項を説明できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴
2	フランス語の名詞には、男性や女性がいる?	男性名詞・女性名詞
3	フランス語のtheとは?	定冠詞
4	自己紹介をやってみよう!	主語人称代名詞・etre動詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	この車は私のもの?彼のもの?	所有形容詞
7	フランス語で質問しよう!	疑問文
8	机の上に一冊の本があります	avoir動詞
9	フランス語動詞の基本はここにある!	er動詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置
11	フランス語で未来を語ろう	aller動詞と近接未来
12	フランス語でI love youはI you love?	補語人称代名詞
13	フランス語は音にこだわる!	冠詞の縮約
14	人にものを頼むときは優しく	命令法
15	前期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。
それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L'Arc-en-ciel	江島泰子/第三書房/9784808620660/

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	/白水社//仏和辞典
プチ・ロワイヤル	/旺文社//仏和辞典
新スタンダード	/大修館//仏和辞典

クラウン　／三省堂／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス（http://www.edufrance-japan.com）
フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク（http://www.diplo.jp）
フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

フランス語・総合I (3B)

11968

担当者名 / Instructor 川本 真也

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)では、フランス語文法の習熟を目指します。
今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語を習得するための最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「総合」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。
なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

1)フランス語の初歩的な文章が理解できる。
2)初歩的なフランス語の文法事項を説明できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴
2	フランス語の名詞には、男性や女性がいる?	男性名詞・女性名詞
3	フランス語のtheとは?	定冠詞
4	自己紹介をやってみよう!	主語人称代名詞・etre動詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	この車は私のもの?彼のもの?	所有形容詞
7	フランス語で質問しよう!	疑問文
8	机の上に一冊の本があります	avoir動詞
9	フランス語動詞の基本はここにある!	er動詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置
11	フランス語で未来を語ろう	aller動詞と近接未来
12	フランス語でI love youはI you love?	補語人称代名詞
13	フランス語は音にこだわる!	冠詞の縮約
14	人にものを頼むときは優しく	命令法
15	前期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。
それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L'Arc-en-ciel	江島泰子/第三書房/9784808620660/

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	/白水社//仏和辞典
プチ・ロワイヤル	/旺文社//仏和辞典
新スタンダード	/大修館//仏和辞典

クラウン　／三省堂／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス（http://www.edufrance-japan.com）
フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク（http://www.diplo.jp）
フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

フランス語・総合I (3C)

10134

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)では、フランス語文法の習熟を目指します。
今日では敬遠されがちな文法学習ですが、基礎的な文法を学ぶことが、異言語を習得するための最短距離であることは、今も昔も変わりません。この「総合」クラスでは文法事項をしっかりと学ぶことで、フランス語運用の基礎を固めます。
なお、実践的なフランス語会話については「表現」クラス(週1回)で学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

1)フランス語の初歩的な文章が理解できる。
2)初歩的なフランス語の文法事項を説明できる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を発音しよう	綴りの特徴
2	フランス語の名詞には、男性や女性がいる?	男性名詞・女性名詞
3	フランス語のtheとは?	定冠詞
4	自己紹介をやってみよう!	主語人称代名詞・etre動詞
5	フランス語で否定文を作ってみよう	否定文
6	この車は私のもの?彼のもの?	所有形容詞
7	フランス語で質問しよう!	疑問文
8	机の上に一冊の本があります	avoir動詞
9	フランス語動詞の基本はここにある!	er動詞
10	フランス語の形容詞は、名詞の後にある	形容詞の位置
11	フランス語で未来を語ろう	aller動詞と近接未来
12	フランス語でI love youはI you love?	補語人称代名詞
13	フランス語は音にこだわる!	冠詞の縮約
14	人にものを頼むときは優しく	命令法
15	前期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。
それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。初歩的な文法事項の修得状況や、初歩的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L'Arc-en-ciel	江島泰子/第三書房/9784808620660/

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	/白水社//仏和辞典
プチ・ロワイヤル	/旺文社//仏和辞典
新スタンダード	/大修館//仏和辞典

クラウン　／三省堂／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス（http://www.edufrance-japan.com）
フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク（http://www.diplo.jp）
フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

フランス語・総合II (3A)

10076

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、1回生前期にひきつづいて「アトリエ・フランセ」を教科書として用いながら、フランス語に関する基礎的な文法事項の習熟を目指します。また教科書に付属しているCDを用いることで、ヒアリング力の向上を目指します。
なお実践的な運用能力については、前期に引き続いて「表現」クラスで学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

1)基本的なフランス語の文章が理解できる。
2)基本的な文法事項を説明できる。
3)簡単なフランス語を聞き取ることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を思い出す	「総合Ⅰ」の復習
2	フランス語のI talk to youはI you talk?	補語人称代名詞(その2)
3	フランス語で過去の経験を語る	複合過去
4	数えられるモノと数えられないモノの区別	部分冠詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味?	代名動詞
6	「私が私を座らせた」って、どういう意味?	代名動詞の過去形
7	主語を強調したいとき	人称代名詞の強勢形
8	「私は彼に叱られる」	受動態
9	「私は彼に叱られた」	受動態の過去形
10	フランス語で未来を語ろう(その2)	単純未来
11	文と文をつなぐために	関係代名詞
12	二つのものを比較してみよう	比較級
13	いちばん真面目な生徒は誰?	最上級
14	たった今おわったことを語るには?	近接過去
15	後期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。
それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L'Arc-en-ciel	/第三書房//前期の教科書を、継続して使用します。

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	/白水社//仏和辞典
プチ・ロワイヤル	/旺文社//仏和辞典

新スタンダード	／大修館／／仏和辞典
クラウン	／三省堂／／仏和辞典

仏和辞典をご購入下さい。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているように思われます。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス（http://www.edufrance-japan.com）
フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク（http://www.diplo.jp）
フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

フランス語・総合II (3B)

12036

担当者名 / Instructor 川本 真也

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、1回生前期にひきつづいて「アトリエ・フランセ」を教科書として用いながら、フランス語に関する基礎的な文法事項の習熟を目指します。また教科書に付属しているCDを用いることで、ヒアリング力の向上を目指します。
なお実践的な運用能力については、前期に引き続いて「表現」クラスで学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

1)基本的なフランス語の文章が理解できる。
2)基本的な文法事項を説明できる。
3)簡単なフランス語を聞き取ることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を思い出す	「総合Ⅰ」の復習
2	フランス語のI talk to youはI you talk?	補語人称代名詞(その2)
3	フランス語で過去の経験を語る	複合過去
4	数えられるモノと数えられないモノの区別	部分冠詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味?	代名動詞
6	「私が私を座らせた」って、どういう意味?	代名動詞の過去形
7	主語を強調したいとき	人称代名詞の強勢形
8	「私は彼に叱られる」	受動態
9	「私は彼に叱られた」	受動態の過去形
10	フランス語で未来を語ろう(その2)	単純未来
11	文と文をつなぐために	関係代名詞
12	二つのものを比較してみよう	比較級
13	いちばん真面目な生徒は誰?	最上級
14	たった今おわったことを語るには?	近接過去
15	後期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。
それではもの足りないという人には、「フランス語講座」(NHKテレビ)の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験(筆記)	80 %	学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1/3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L'Arc-en-ciel	/第三書房//前期の教科書を、継続して使用します。

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	/白水社//仏和辞典
プチ・ロワイヤル	/旺文社//仏和辞典

新スタンダード	／大修館／／仏和辞典
クラウン	／三省堂／／仏和辞典

仏和辞典をご購入下さい。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているように思われます。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス（http://www.edufrance-japan.com）
フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク（http://www.diplo.jp）
フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

フランス語・総合II (3C)

10213

担当者名 / Instructor　永都 軍三

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

この授業では、1回生前期にひきつづいて「アトリエ・フランセ」を教科書として用いながら、フランス語に関する基礎的な文法事項の習熟を目指します。また教科書に付属しているCDを用いることで、ヒアリング力の向上を目指します。
なお実践的な運用能力については、前期に引き続いて「表現」クラスで学習しますので、心配は無用です。

到達目標 / Attainment Objectives

1）基本的なフランス語の文章が理解できる。
2）基本的な文法事項を説明できる。
3）簡単なフランス語を聞き取ることができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語を思い出す	「総合Ⅰ」の復習
2	フランス語のI talk to youはI you talk?	補語人称代名詞（その2）
3	フランス語で過去の経験を語る	複合過去
4	数えられるモノと数えられないモノの区別	部分冠詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味？	代名動詞
6	「私が私を座らせた」って、どういう意味？	代名動詞の過去形
7	主語を強調したいとき	人称代名詞の強勢形
8	「私は彼に叱られる」	受動態
9	「私は彼に叱られた」	受動態の過去形
10	フランス語で未来を語ろう（その2）	単純未来
11	文と文をつなぐために	関係代名詞
12	二つのものを比較してみよう	比較級
13	いちばん真面目な生徒は誰？	最上級
14	たった今おわったことを語るには？	近接過去
15	後期のまとめ	文法・語彙の復習

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。
それではもの足りないという人には、「フランス語講座」（NHKテレビ）の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
定期試験（筆記）	80 %	学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します。
平常点評価	20 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1／3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
L'Arc-en-ciel	／第三書房／／前期の教科書を、継続して使用します。

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	／白水社／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典

新スタンダード	／大修館／／仏和辞典
クラウン	／三省堂／／仏和辞典

仏和辞典をご購入下さい。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているように思われます。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス（http://www.edufrance-japan.com）
フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク（http://www.diplo.jp）
フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

フランス語・展開 (2A)

10267

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

1回生前期に「フランス語・基礎」を履修した皆さんは、後期は「彼女は食いしん坊！2」を教科書として使用しながら、より発展的な文法事項を学んでいきます。前期同様、週2回の授業を同一教員が担当して進めていきます。具体的には、フランス語で過去を話す様々な方法や、フランス語独特の表現などを学んでいきます。
また、フランス人のインタビューが収録されたビデオを用いて、ヒアリング能力の向上を図ります。
フランス語の学習は、ここからが本番です。とは言っても、担当教員が受講生の理解度を見ながら授業を進めていくので心配は無用です。しっかり最後まで頑張って下さい。

到達目標 / Attainment Objectives

1）日常的なフランス語の語彙を理解できる。
2）発展的なフランス語の文法事項を理解できる。
3）基本的なフランス語の文章を理解できる。
4）日常的なフランス語を聞いて理解することができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	「基礎」クラスの復習	
2	フランス語で過去の経験を語る	複合過去の復習
3	過去分詞の変化で、目的語を探る	過去分詞の一致
4	I love you はフランス語で Je t'aime	目的語人称代名詞
5	「私が私を座らせる」って、どういう意味？	代名動詞
6	「私が私を座らせた」？	代名動詞の複合過去
7	謝るときのフランス語	pardonner, excuser
8	フランス語で未来を語ろう	単純未来
9	ふたつの文を、ひとつにする	関係代名詞（qui/que/dont/ou）
10	フランス語らしい文章表現	現在分詞、ジェロンディフ
11	丁寧なフランス語を使う	pouvoir（～出来る）を用いた依頼表現
12	フランス語らしい過去の表現	半過去
13	過去の過去を語るには・・・	大過去
14	「私は彼に叱られる」	受動態
15	「私は彼に叱られた」	受動態の複合過去
16	もう一度、中性代名詞	中性代名詞 en/y
17	もしもの話をするためのフランス語	条件法現在
18	ありえない事態を語るためのフランス語	条件法過去
19	フランス語はラテン語の子孫だ！	接続法
20	ちょっとだけ難しい文章を読もう	直接話法、間接話法
21	強調したいことがあれば・・・	強調構文
22	フランス語の副詞は、簡単に作れる！	副詞
23	フランス語は論理的な言語？	接続詞
24	ふたつの文をひとつにする（2）	関係代名詞（lequel）
25	歴史的な出来事を理解する	単純過去
26	フランス語と時間の表現	時制の一致
27	フランス語の会話を聞き取ろう！	ヒアリング
28	簡単なフランス語を読んでみよう！	リーディング
29	ちょっと本格的なフランス語を読みませんか？	documents authentiques、児童文学、童話、昔話
30	文法事項の総復習	時制体系の理解、複文構造の把握

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、それで充分です。
それではもの足りないという人には、「フランス語講座」（NHKテレビ）の視聴をお薦めします。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席状況、小テスト、受講態度を総合して評価します。授業回数の1／3以上を、正当な理由なく欠席した場合には、単位を認定しません（20%） 学期末に統一試験を実施します。基本的な文法事項の修得状況や、基本的な文章の理解度を評価します（80%）

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回出席して、授業をよく聞いて、復習として宿題をやってください。まずはそれが大切です。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ピエールとユゴー	小笠原洋子／白水社／978-4-560-06100-8／

教科書の練習問題を解きながら、授業を進めていくので、授業にはかならず携行してください。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ル・ディコ	／白水社／／仏和辞典
クラウン仏和辞典	／三省堂／／仏和辞典
プチ・ロワイヤル	／旺文社／／仏和辞典
新スタンダード	／大修館／／仏和辞典

仏和辞典を購入してください。参考までに、代表的なものを上げておきます。実際に手に取ってみて、気に入ったものを購入してください。なお初学者にとっては、電子辞書よりも書籍タイプの辞書の方が適しているようです。参考書は必要ありません。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

エデュ・フランス（http://www.edufrance-japan.com）
フランスへの留学情報を提供するフランス政府の公式機関。フランスが留学生の受入に積極的な国であることがよくわかります。留学を考えている人におすすめです。

ル・モンド・ディプロマティーク（http://www.diplo.jp）
フランスの誇る月刊誌「ル・モンド・ディプロマティーク」が、日本語で読めます。国際情勢をめぐる目から鱗の記事も多く掲載されています。国際問題に興味のある人にお勧めです。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

フランス語・表現I (2A)

10808

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。
まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。
高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケートする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study (大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。
語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケートをはかってください。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
はてな君とフランス語でおしゃべり(Monsieur Pourquoi)	Olivier Lorrillard、小田涼／駿河台出版社／978-4-411-00924-1／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

フランス語・表現I (3A)

11955

担当者名 / Instructor SERVERIN SIMON

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。
まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。
高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケートする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。
語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケートをはかってください。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Spirale	／Hachette Japon／978-48947-1923-1／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

フランス語・表現I (3B)

10015

担当者名 / Instructor SAUZEDDE BERTRAND J.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。
まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。
高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケートする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。
語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケートをはかってください。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Spirale	／Hachette Japon／978-48947-1923-1／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

フランス語・表現I (3C)

12103

担当者名 / Instructor SERVERIN SIMON

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

この授業(週1回)を担当するのは、フランス語を母語とする教員です。受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。
まずは挨拶や自己紹介等からはじめ、相手の質問に的確に答える訓練を経た後、最終的には自分の考えや状況を、フランス語で相手に伝えることができるようになることを目指します。
高等な表現を駆使することを目指すわけではありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケートする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介、簡単な質疑応答ができるレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	基本的には教科書に沿って15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは、受講生と教員との対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、受講生の理解度や満足度を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。
語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケートをはかってください。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Spirale	／Hachette Japon／978-48947-1923-1／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

フランス語・表現II (2A)

10910

担当者名 / Instructor FARON ANTOINE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生前期に引き続いて、週1回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケートする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケートをはかってください。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
はてな君とフランス語でおしゃべり(Monsieur Pourquoi)	Olivier Lorrillard、小田涼／駿河台出版社／978-4-411-00924-1／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

フランス語・表現II (3A)

12022

担当者名 / Instructor SERVERIN SIMON

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生前期に引き続いて、週1回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケートする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケートをはかってください。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Spirale	／Hachette Japon／978-48947-1923-1／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

フランス語・表現II (3B)

10084

担当者名 / Instructor SAUZEDDE BERTRAND J.

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生前期に引き続いて、週1回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケートする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケートをはかってください。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Spirale	／Hachette Japon／978-48947-1923-1／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

フランス語・表現II (3C)

12180

担当者名 / Instructor SERVERIN SIMON

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

1回生前期に引き続いて、週1回の授業を、フランス語を母語とする教員が担当します。これまで同様、受講生には、担当教員との会話を通じて、フランス語での表現力を身に付けていただきます。今まで以上に、多くの会話パターンを修得して下さい。高等な表現を駆使する必要はありません。むしろ、簡単な日常のフランス語をもちいてコミュニケートする能力を、獲得していただきたいと思います。

到達目標 / Attainment Objectives

簡単なフランス語を用いて、明確な意思表示が出来るレベルの会話力を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	教科書を用いて、15回の授業を進めていきますが、「表現」クラスは受講生と教員の対話の上に成立する授業ですので、あらかじめ定められたスケジュールに基づくのではなく、皆さんの理解度や関心の対象を見ながら、担当教員が柔軟に対応していきます。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

宿題を課すことがありますので、必ずやってきて下さい。当面の授業外学習としては、まずそれが大事です。それではもの足りない、という方には、「フランス語講座」(NHK)の視聴をお薦めします(内容的にも十分に楽しめますよ)。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

会話能力の修得を目指す授業である以上、授業への積極的な参加を重視します。会話上達の秘訣は、間違いを恐れないことです。フランス語会話上達のために、恥ずかしがることなく、積極的に発言しましょう。なお、受講生の達成度を図るため、担当教員によっては、小テストや試験などを行うこともあります。

語学の修得に王道はありません。毎回出席して、授業をよく聞いて、積極的に担当の先生とコミュニケートをはかってください。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Spirale	／Hachette Japon／978-48947-1923-1／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語上級コミュニケーションI (K)

11023

担当者名 / Instructor 黄 麗華

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

本授業はこれまで学んだ中国語のさまざまな表現を土台に、コミュニケーションの力をさらにレベルアップすることを目標とします。リスニングおよび会話を中心に、読解力の向上も図ります。就職活動に役立つ実用型の授業を目指します。中国語検定試験の「3級」から「2級」程度の授業です。

到達目標 / Attainment Objectives

◎ 会話力、リスニング力の向上。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	レベルチェック	授業説明、学習要領、注意事項など
第2回	第1課「“80後”と“90”後」 要点、会話文	本文の読解
第3回	本文による実用会話の練習、リスニングなど	第2課「現代の大学生」 要点、会話文
第4回	本文の読解	本文による実用会話の練習、リスニングなど
第5回	第3課「若者と住宅問題」 要点、会話文	本文の読解
第6回	本文による実用会話の練習、リスニングなど	第4課「中国人とお金」 要点、会話文
第7回	本文の読解	本文による実用会話の練習、リスニングなど
第8回	第1課～第4課の復習　小テスト	第5課「金持ちだから豊かとはかぎらない」 要点、会話文
第9回	本文の読解	本文による実用会話の練習、リスニングなど
第10回	第6課「中国人の面子」 要点、会話文	本文の読解
第11回	本文による実用会話の練習、リスニングなど	第7課「あるハーリー族」 要点、会話文
第12回	本文の読解	本文による実用会話の練習、リスニングなど
第13回	第8課「代購」 要点、会話文	本文の読解
第14回	本文による実用会話の練習、リスニングなど	総合練習
第15回	総復習	テスト ※進度は受講者のレベルにより調整する場合がある。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

◎単語の暗記に努力すること。
◎ピンインや声調の「正確さ」に心がけること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みが50%、小テスト、確認テストが50%。

語学学習は地道な努力が必要です。例文や単語の暗記は不可欠です。そのつもりで取り組んでください。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

この授業は隣同士の会話の練習を重視し、明るく和気藹々の授業を目指します。積極的な受講を願っています。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ときめき中国	池上　貞子他著／朝日出版社／／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

人民日報ネット http://www.people.com.cn/
ヤフー中国 http://cn.news.yahoo.com/
新浪 http://www.sina.com.cn/

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

中国語上級表現読解I (K)

11490

担当者名 / Instructor 中川 正之

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

文法事項を的確に踏まえて文章を間違いなく読みこなしたうえで、書く・話すことも視野に入れつつ学習を進める。授業時に電子辞書を引きながら翻訳するようなことは認められない。事前に予習をしてきていることを前提に授業を進める。テキストはプリントを用いる。

到達目標 / Attainment Objectives

「人民日報」などの新聞や現代小説を独力で80%以上理解でき、自分の意見を手短に述べることができるようになること。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

中国語初級・中国語中級

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	文法概説、音節全表を用いての発音総復習	ピンイン・音節・声調
2	テキスト読解とドリル(1)	形容詞
3	テキスト読解とドリル(2)	動詞
4	テキスト読解とドリル(3)	名詞、「是」構文
5	テキスト読解とドリル(4)	二重主語構文
6	テキスト読解とドリル(5)	連動文
7	テキスト読解とドリル(6)	前置詞構文
8	テキスト読解とドリル(7)	「把」構文
9	テキスト読解とドリル(8)	使役・受身表現
10	テキスト読解とドリル(9)	副詞
11	テキスト読解とドリル(10)	文末助詞
12	テキスト読解とドリル(11)	テンスとアスペクト
13	テキスト読解とドリル(12)	応答詞
14	テキスト読解とドリル(13)	否定
15	総復習とテスト	全般

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

外国語は若い時に可能な限り集中して学ぶことが一番の早道である。インターネットなどでも様々なかたちで中国語に触れることができる。あらゆる機会を利用して中国語に触れてみよう。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	・発音の正確さと予習状況 50% ・到達度確認テスト 50% (語彙、文法の学習到達度により評価する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

丹念に辞書を引き、既習の文法事項を意識して正確に読み・書き・話すことが肝要である。成人してからの外国語は感覚のみでは高い水準に達することはできない。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語中級教科書 読物・文法編	中川正之・沈国威／白帝社／4-89174-188-0 c3087／

参考書 / Reference Books

授業時に適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

著作権などとの関係で微妙な問題もあるので授業時に指示する。

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Other

メール：masnakag@fc.ritsumei.ac.jp

その他 / Others

中国語上級表現読解II (K)

12721

担当者名 / Instructor　鷲尾 祐子

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

この授業は、一回生時に身に付けた中国語能力の実情を踏まえながら、主に読解力、聴力などの中国語運用能力を養成することを目標とする。ピンインのついた時事的な中国語の文の朗読・読解からはじめ、ピンインなしの生の中国語の読解や、テレビ番組の視聴を通じて目標の達成をめざす。

到達目標 / Attainment Objectives

◎ 中上級程度の読解力を身に付ける。
◎ 中級程度の表現力、聴力を身に付ける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	導入。授業について相談する。	
第2回	観光立国　中国の観光産業についての文章を読む	
第3回	観光立国　観光と中国についてのネット記事・ブログを読む	
第4回	曹操墓論争　曹操墓についての文章を読む	
第5回	曹操墓論争　中央電視台の番組を見る	
第6回	曹操墓論争　薄葬論についての論文を読む	
第7回	曹操墓論争　薄葬論についての論文を読む	
第8回	農民工　出稼ぎ労働者についての文章を読む	
第9回	農民工　出稼ぎ労働者に関連する映画(長江七号)を見る	
第10回	農民工　出稼ぎ労働者に関連する映画のせりふを読む。	
第11回	長江七号の感想・批評を読む	
第12回	希望工程　農村教育援助プロジェクトについての文章を読む。	
第13回	希望工程　農村教育援助プロジェクトについてのブログ・ネット記事を読む	
第14回	希望工程　農村教育援助プロジェクトについてのブログ・ネット記事を読む	
第15回	確認テスト(50分)、解説、前期のまとめ(40分)。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは50%、小テスト、確認テストは50%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリント教材

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

人民日報ネット　http://www.people.com.cn/
ヤフー中国　http://cn.news.yahoo.com/
新浪　http://www.sina.com.cn/

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

初回授業時に説明する。

その他 / Others

中国語中級コミュニケーションI（KA）

11078

担当者名 / Instructor　田 星

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

今まで習った基礎文法、日常会話を復習しながら、テキストを従って進めていきます。
更に発音、聴力を重視し、初級で学習してきた知識を土台に、コミュニケーション能力の向上を目指します。

到達目標 / Attainment Objectives

会話力の向上を目標とする。
留学など現地生活で遭遇する場面に対応できる会話力を身につけてほしい。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	レベルチェックテスト(50分)講義・解説・講評(40分)	
2	自己紹介と発音チェック	声調、会話練習と発表
3	計画を立てる。（願望助動詞）	声調、会話練習と発表
4	今何してる。（進行形）	声調、会話練習と発表
5	友達と旅行に行った。（“了”の使い方）	声調、会話練習と発表
6	航空券を予約する。（“把”の使い方）	声調、会話練習と発表
7	中国語で返事する。（原因、結果、必須条件の文型）	声調、会話練習と発表
8	手続きをする。（様態、結果、可能補語）	声調、会話練習と発表
9	空港で迎える（使役、受身）	声調、会話練習と発表
10	人々はみんな親切だ。（持続形と形容詞の疑問文）	会話練習と発表
11	お店で眼鏡を修理してもらう。（呼応関係）	声調、会話練習と発表
12	トラブルの一日（副詞の活用）	声調、会話練習と発表
13	バスの乗り換え（手段の疑問文）	声調、会話練習と発表
14	道を尋ねる。（“多”の使い方）	声調、会話練習と発表
15	テストと解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

検定試験などの資格習得を視野に入れてほしい。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは40%、小テスト、確認テストは60% 。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎日30分以上復習、予習すること。
本文と単語を暗記すること。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
体感中国～初級からのステップアップ	奈良行博など／同学社／978-4-8102-0770-5／2500円

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

中国語中級コミュニケーションI (KB)

11080

担当者名 / Instructor 郭 茵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

聞く力と話す力を伸ばすことに重点を置き、中国語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。
リスニングの時間には、中国の映画の台詞を書き取る練習を取り入れ、生の中国語に触れる時間を設けると同時に、ロールプレイなどのタスクワークで、中国語の会話力・表現力を伸ばす授業を展開していく。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語での日常生活に困らない程度の会話力を身につけて、中国語を使って自己表現ができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	レベルチェックテスト(50分)講義・解説・講評(40分)	
2	自己紹介	会話練習と発表
3	第1課 1回目	会話練習と発表
4	第1課 2回目	会話練習と発表
5	第2課 1回目	会話練習と発表
6	第2課 2回目	会話練習と発表
7	第3課 1回目	会話練習と発表
8	第3課 2回目	会話練習と発表
9	第4課 1回目	会話練習と発表
10	第4課 2回目	会話練習と発表
11	第5課 1回目	会話練習と発表
12	第5課 2回目	会話練習と発表
13	第6課 1回目	会話練習と発表
14	第6課 2回目	会話練習と発表
15	確認テスト(60分)解説・講評(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

検定試験などの資格習得を視野に入れてほしい。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題、小テストなどの日常的な取り組みは60%、期末の確認テストは40%

各課ごとに単語などの小テストがあるため、予習、復習が必要。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

実際のコミュニケーション力の伸びと各回の小テストの成績を重視。
三分の二以上の授業および小テスト参加は単位認定の必須条件である。

教科書 / Textbooks

既習者を対象としているため、初回レベルチェックを行う予定。
学習者のレベルに合わせて、毎回資料を配布する。
(既習者中心のクラスのため、全体のレベルによって内容を若干変更することがある。)

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

コミュニケーションペーパー／Communication Paper

インタラクティブシート ／ Interactive Sheet

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

中国語中級コミュニケーションII (KA)

11110

担当者名 / Instructor 田 星

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期に続いて、テキストに従って授業を進めていきます。
初級で学習してきた知識を土台に、コミュニケーション能力の向上を目指します。

到達目標 / Attainment Objectives

会話力の向上を目標とする。
留学などの現地生活で遭遇する場面に対応できる会話力を身につけてほしい。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	中国語何年勉強したか。(よく使う挨拶)	声調、会話練習と発表
2	市場へ散歩に行く。("才""就"の使い方)	声調、会話練習と発表
3	おみやげを買う。(前置詞の色々)	声調、会話練習と発表
4	体調が良くない。	声調、会話練習と発表
5	病気を見てもらう。("都""也"の文型)	声調、会話練習と発表
6	道を案内する。(時間表現+動詞文)	声調、会話練習と発表
7	友達の家を訪問する。(比較表現)	声調、会話練習と発表
8	久しぶりの再会(補語の活用)	声調、会話練習と発表
9	各自の仕事、恋愛を言う。(伝聞、様態表現)	声調、会話練習と発表
10	同僚にプレゼントを贈る。(除了、是‥的などの構文)	声調、会話練習と発表
11	旅行の見聞を述べる。(二重目的語構文)	声調、会話練習と発表
12	日本料理は味が薄い(程度補語)	声調、会話練習と発表
13	中国観光客が温泉を体験する。(感想文)	声調、会話練習と発表
14	総復習	声調、会話練習と発表
15	テスト(60分)解説・講評(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

毎日30分以上に復習、予習すること。
本文、単語を暗記すること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題などの日常的な取り組みは40%、小テスト、確認テストは60%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

中国語検定試験などにぜひ挑戦してほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
体感中国～初級からのステップアップ	奈良行博など／同学社／978-4-8102-0770-5／2500円

資料配布

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

中国語中級コミュニケーションII (KB)

11111

担当者名 / Instructor 郭 茵

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

聞く力と話す力を伸ばすことに重点を置き、中国語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。
リスニングの時間には、中国の映画の台詞を書き取る練習を取り入れ、生の中国語に触れる時間を設けると同時に、ロールプレイなどのタスクワークで、中国語の会話力・表現力を伸ばす授業を展開していく。

到達目標 / Attainment Objectives

中国語での日常生活に困らない程度の会話力を身につけて、中国語を使って自己表現ができる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	第1課 1回目	会話練習と発表
2	第1課 2回目	会話練習と発表
3	第2課 1回目	会話練習と発表
4	第2課 2回目	会話練習と発表
5	第3課 1回目	会話練習と発表
6	第3課 2回目	会話練習と発表
7	第4課 1回目	会話練習と発表
8	第4課 2回目	会話練習と発表
9	第5課 1回目	会話練習と発表
10	第5課 2回目	会話練習と発表
11	第6課 1回目	会話練習と発表
12	第6課 2回目	会話練習と発表
13	第7課 1回目	会話練習と発表
14	第7課 2回目	会話練習と発表
15	確認テスト(60分)解説・講評(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

検定試験などの資格習得を視野に入れてほしい。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席、宿題、小テストなどの日常的な取り組みは60%、期末の確認テストは40%

各課ごとに単語などの小テストがあるため、予習、復習が必要。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

実際のコミュニケーション力の伸びと各回の小テストの成績を重視。
三分の二以上の授業および小テスト参加は単位認定の必須条件である。

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

コミュニケーションペーパー／Communication Paper

インタラクティブシート ／ Interactive Sheet

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

中国語中級表現読解I (KA)

12806

担当者名 / Instructor　嶋田 恭子

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

プリント教材による講読を中心に授業を進める。講読の際、文法の復習、基礎固めをめざし、ていねいに読み進める。授業中各学生の発音をチェックする。自宅学習用として文法書をサブテキストとし、各課ごとに作文5つを宿題として提出。何度か小テストを実施し学習確認をする。
中国語学習を通して中国への理解を深めるとともに豊かな創造力と想像力を身につけてほしい。

到達目標 / Attainment Objectives

発音をマスターし、辞書さえあればある程度の文章が読める力を身につけることを到達目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	導入	授業の概要と導入(授業プリントおよび授業スケジュール配布・授業内容説明等)
第2回	文法確認と中国理解	シナリオ講読
第3回	文法確認と中国理解	シナリオ講読
第4回	文法確認と中国理解、リスニング	シナリオ講読とビデオ鑑賞
第5回	文法確認と中国理解	エッセイを読む
第6回	文法確認と中国理解	エッセイを読む
第7回	文法確認と中国理解	エッセイを読む
第8回	文法確認と中国理解	エッセイを読む
第9回	文法確認と中国理解	シナリオ講読
第10回	文法確認と中国理解	シナリオ講読
第11回	文法確認と中国理解	シナリオ講読
第12回	文法確認と中国理解	シナリオ講読
第13回	中国理解とリスニング	ビデオ鑑賞
第14回	発音チェック	漢詩または歌の暗誦
第15回	到達度確認	到達度確認およびまとめ

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト平均　20点 歌または漢詩暗誦　20点 確認テスト　60点

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

検定試験を受けたい学生は練習問題等を提出すれば添削するので、主体的に学習に取り組んでほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Why?にこたえる初めての中国語文法書	相原茂等／同学社／／サブテキスト(自宅学習用)

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 ／ Other

最初の授業時に学生に知らせる。

その他 / Others

中国語中級表現読解I (KB)

12809

担当者名 / Instructor 鷲尾 祐子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

中国の現状について記述した文章を読む。ピンイン・語彙の解説が付されているが、文語的な表現や成語が用いられており、やや難易度が高い文章を読解し、あわせて文法を復習する。また音読と聞き取りを練習する。以上の学習を通じて、初級から中級への橋渡しを試みる。ピンインが無く分かち書きがされていない生の文章の読解をめざす。

到達目標 / Attainment Objectives

発音をマスターし、辞書さえあればある程度の文章が読める力を身につけることを到達目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	導入	授業の概要と導入(授業プリントおよび授業スケジュール配布・授業内容説明等)
2～3	大陸からの観光客と値段交渉	文章を音読・読解しつつ、文法を確認
4～5	曹操の墓は本物か	文章を音読・読解しつつ、文法を確認。
6～7	中国の端午の節句	文章の音読・読解しつつ、文法を確認。
8～9	新しい世代の農民労働者	文章の音読・読解しつつ、文法を確認。
10～11	辛亥革命百周年	文章の音読・読解しつつ、文法を確認。
12～13	中国サッカー	文章の音読・読解しつつ、文法を確認。
14	中国のブログ	ピンインの無い生の中国語文章の音読・読解しつつ、文法を確認。
15	到達度確認およびまとめ	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト平均 40点 確認テスト 60点

授業に出て、音読や訳などにとりくんでいる者のみを、単位認定の対象とする。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
2011年度版時事中国語の教科書	三浦正道・陳祖蓓／朝日出版社／978-4-255-45201-2／

教科書は、必携です。必ず購入お願いします。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

最初の授業時に学生に知らせる。

その他 / Others

中国語中級表現読解II (K)

12848

担当者名 / Instructor 嶋田 恭子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

プリント教材による講読を中心に授業を進める。講読の際文法の復習、基礎固めを目指していねいに読み進める。授業中、各学生の発音をチェックする。サブテキストの文法書は自宅学習用として、各課で文5つを作文し宿題として提出。授業時に小テストを実施する。
中国語学習を通して中国への理解を深め、豊かな創造力と想像力を身につけてほしい。

到達目標 / Attainment Objectives

発音をマスターし、辞書さえあれば文章が読める力をつけることを到達目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	導入	授業の概要と導入(授業プリント、授業計画配布、授業内容説明等)
第2回	文法確認と中国理解	シナリオ講読
第3回	文法確認と中国理解	シナリオ講読
第4回	中国理解とリスニング	ビデオ鑑賞
第5回	文法確認と中国理解	新聞を読む
第6回	文法確認と中国理解	新聞を読む
第7回	文法確認と中国理解	新聞を読む
第8回	文法確認と中国理解	新聞を読む
第9回	文法確認と中国理解	シナリオ講読
第10回	文法確認と中国理解	シナリオ講読
第11回	文法確認と中国理解	シナリオ講読
第12回	文法確認と中国理解	シナリオ講読
第13回	中国理解とリスニング	ビデオ鑑賞
第14回	発音チェック	漢詩または歌の暗誦
第15回	到達度確認	確認テストおよびまとめ

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	小テスト平均 20点 暗誦テスト 20点 筆記テスト 60点

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

検定試験を受験する学生は練習問題を提出すれば添削するので、各自積極的に勉強に取り組んでほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Why?に答える初めての中国語文法書	相原茂等／同学社／／サブテキスト(自宅学習用)

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 ／ Other

最初の授業時に学生に知らせる。

その他 / Others

中国語中級表現読解III (K)

11765

担当者名 / Instructor 中川 正之

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

発音・語彙・文法全般にわたって習得したものを確認し、自ら読める・話せるレベルに向けドリルを中心に行う。ただしテキストは予習すべき事項が多く、授業時に電子辞書を引きながら対応できるものではない。予習をして疑問点を明確にしておくこと。

到達目標 / Attainment Objectives

中国人が書いたものを基本的には理解できる。使える表現を用いて大胆に話す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

中国語初級・中級Ⅰ、Ⅱ

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	発音の復習とドリル	音節
2	発音と綴り	表記
3	単文	名詞、形容詞、動詞
4	強調表現	否定副詞、程度副詞
5	名詞や動詞を複雑にする	修飾語
6	尋ねる	疑問文
7	複雑な文型(1)	二重主語文、二重目的語文
8	複雑な文型(2)	場所表現
9	複雑な文型(3)	助動詞
10	複雑な文型(4)	結果補語、方向補語
11	複雑な文型(5)	状態補語、可能補語
12	複雑な文型(6)	連動文、重ね型
13	複雑な文型(7)	「把」構文、「被」構文
14	複雑な文型(8)	「是…的」構文、複文
15	まとめとテスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

泳げるようになってからプールに行くことはない。プールに行って泳ぎながら上達する。外国語の学習も同じことである。話しながらよりうまくなる、読みながらより正確に読めるようになる。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	・発音の正確さと予習状況 50% ・到達度確認テスト 50% (分析的に読む力を評価する)

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

疑問点はいつでもどこでも尋ねる態度が肝要である。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『中国語のしくみ』	中川正之／朝日出版社／ISBN4-255-45067-6／

参考書 / Reference Books

参考書・辞書については授業時適宜指示する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Other

Eメール:masnakag@fc.ritsumei.ac.jp

その他 / Others

中国語中級表現読解IV (K)

10600

担当者名 / Instructor 緒方 賢一

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

高校時に学習した中国語を、文法や語彙の面からさらに発展させていく。基本的にはテキストに沿って授業を進めていくが、適宜その他のテキスト(小説・エッセイ・ブログ・漫画)も読む予定。

到達目標 / Attainment Objectives

辞書片手に小説などを読みこなせるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	一年間のスケジュール説明および小テスト	
第2回	第1課「中国に行こう」	
第3回	第1課「中国に行こう」	
第4回	第2課「ウーロン茶を飲もう」	
第5回	第2課「ウーロン茶を飲もう」	
第6回	第3課「友だちをつくろう」	
第7回	第3課「友だちをつくろう」	
第8回	60分間の確認テスト+30分の講義(事後説明・解説)	
第9回	第4課「長城に登ろう」	
第10回	第4課「長城に登ろう」	
第11回	第5課「漢字を覚えよう」	
第12回	第5課「漢字を覚えよう」	
第13回	第6課「街を歩こう」	
第14回	第6課「街を歩こう」	
第15回	60分間の確認テスト+30分の講義(事後説明・解説)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	・出席、予習、宿題、授業中の発言 50% ・到達度確認テスト 50%

辞書が必要です。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語 さらなる一歩	竹島金吾他／白水社／ISBN978-4-560-06910-3／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Other

授業中に指示する。

その他 / Others

中国語中級表現読解V (K)

10622

担当者名 / Instructor 緒方 賢一

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

に学習した中国語を、文法や語彙の面からさらに発展させていく。基本的にはテキストに沿って授業を進めていくが、適宜その他のテキスト(小説・エッセイ・ブログ・漫画)も読む予定。

到達目標 / Attainment Objectives

辞書片手に小説などを読みこなせるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	第7課「中国映画を見よう」	
第2回	第7課「中国映画を見よう」	
第3回	第8課「シルクを買おう」	
第4回	第8課「シルクを買おう」	
第5回	第9課「中華を食べよう」	
第6回	第9課「中華を食べよう」	
第7回	60分間の確認テスト+30分の講義(事後説明・解説)	
第8回	第10課「太極拳を習おう」	
第9回	第10課「太極拳を習おう」	
第10回	第11課「水滸伝を楽しもう」	
第11回	第11課「水滸伝を楽しもう」	
第12回	第12課「春節を過ごそう」	
第13回	第12課「春節を過ごそう」	
第14回	60分間の確認テスト+30分の講義(事後説明・解説)	
第15回	テスト返却及び解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	・出席、予習、宿題、授業中の発言 50% ・到達度確認テスト 50%

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
中国語 さらなる一歩	竹島金吾他／白水社／ISBN978-4-560-06910-3／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Other

授業中に指示する。

その他 / Others

ドイツ語上級コミュニケーションI (K)

11022

担当者名 / Instructor 梅村 マルティナ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Anhand einer Filmserie werden Studenten mit dem alltaeglichen Leben in Deutschland vertraut gemacht. Die vorgefuehrten Dialoge werden geuebt, abgeaendert und frei wiedergegeben.

到達目標 / Attainment Objectives

Die Studenten sollen viel sprechen. Das Lehrmaterial gibt Anleitung fuer Dialoge in Alltagssituationen, die die Studenten ueben und vortragen.
Grundkenntnisse der Grammatik werden vorausgesetzt, aber bei Bedarf wiederholt und vertieft

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Kennenlernen	Begruessung und Ermittlung des Wissensstandes
2	Lehrbuch	Erklaerungen zum Lehrbuch
3	Abschnitt 1	Einfuehrung der Personen
4	Abschnitt 2	Telekommunikation – Handies
5	Abschnitt 3	Hobbies deutscher Jugendlicher
6	Abschnitt 4	Probleme deutscher Jugendlicher
7	Abschnitt 5	Kleidung
8	Abschnitt 6	Essen
9	Abschnitt 7	Einkaufen
10	Abschnitt 8	Geburtstag
11	Abschnitt 9	Arbeit
12	Abschnitt 10	Reisen
13	Abschnitt 11	Berlin
14	Abschnitt 12	Sport
15	Wiederholung	Rueckblick mit Beurteilung

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	– regelmaessige Anwesenheit – aktive Mitarbeit – Hausaufgaben – kleine Tests

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Treffpunkt Berlin 2 Deutsch Aktuell	H. Sturmhoefel ／Shinkotsusho ／0-8219-2601-2-45722／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ドイツ語上級表現読解I (K)

11489

担当者名 / Instructor 高木 敏美

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

このクラスでは日常のドイツ語表現に即した言い回しを学びつつ、特に読み書きに重点を置いて取り組む。

到達目標 / Attainment Objectives

これまでのゼメスターで習ったことを確認しつつ、様々な事態をドイツ語によって分節化し、表現する仕方を習得する。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	概要と導入	ガイダンス
第2回	Lek.1 ～がある／いる	Klopfen-wozu?
第3回	Lek.2 接続法の表現	Deutsche und Geraeusche
第4回	Lek.3 造語法・序数と分数	Sind Deutsche geizig?
第5回	Lek.4 過去分詞の形容詞用法	Deutscher Witz
第6回	Lek.5 比較・従属接続詞	Jeder bezahlt fuer sich
第7回	Lek.6 動詞の不定詞	Essen die Deutschen Sandwiches?
第8回	Lek.7 訳しにくい動詞と名詞	Zeitgefuehl der Deutschen
第9回	Lek.8 文の構造・接続法	Konservativ oder Progressiv
第10回	Lek.9 機能動詞	Wo sitzt der Gast?
第11回	Lek.10 動詞の名詞化・指示代名詞	Wie kommt man zu seinem Platz,wenn man zu spaet kommt?
第12回	Lek.11 定関係代名詞	Leicht benutzbare Ausdrucke und schwer benutzbare Ausdruecke
第13回	Lek.12 過去分詞の副詞用法	Man kann nicht immer arbeiten
第14回	まとめ	
第15回	検証テスト(60分)、解説(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	授業内容の理解度を確認する小テストおよび提出課題によって評価する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
新・ドイツ語読みかた教室 中級表現練習読本	大谷弘道／大谷ウルズラ／三修社／978-4-384-13088-1 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

ドイツ語上級表現読解II (K)

12720

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。独検で過去に出題された問題も授業内で取り上げる。

到達目標 / Attainment Objectives

独検2級合格程度。さらに準1級合格を目指すための基礎学力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業スケジュールの説明、プリントの配布、アンケートなど	
2	読解①、文法の復習①、リスニング①	
3	読解②、文法の復習②、リスニング②	
4	読解③、文法の復習③、リスニング③	
5	読解④、文法の復習④、リスニング④	
6	読解⑤、文法①、リスニング⑤	
7	読解⑥、文法②、リスニング⑥	
8	読解⑦、文法③、リスニング⑦	
9	読解⑧、文法④、リスニング⑧	
10	読解⑨、文法⑤、リスニング⑨	
11	読解⑩、文法実践問題①、リスニング⑩	
12	読解⑪、文法実践問題②、リスニング⑪	
13	読解⑫、文法実践問題③、リスニング⑫	
14	読解⑬、文法実践問題④、リスニング⑬	
15	検証テスト(60分)、統括講義(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	検証テスト(筆記試験)60% 出席、発表など 40%

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表等)から総合的に評価する(検証テスト60%、平常点40%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

要望があれば単語テスト、熟語テストなどの小テストを実施します。また、授業の中でドイツ映画を鑑賞する時間を設ける予定です。

教科書 / Textbooks

テキストとしてプリントを配布しますので、購入の必要はありません。

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ文法大百科	三室次雄／三修社／／自習用。希望者のみ購入してください。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ドイツ語中級コミュニケーションI (K)

11077

担当者名 / Instructor 梅村 マルティナ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Anhand einer Filmserie werden Studenten mit dem alltaeglichen Leben in Deutschland vertraut gemacht. Die vorgefuehrten Dialoge werden geuebt, abgeaendert und frei wiedergegeben.

到達目標 / Attainment Objectives

Die Studenten sollen viel sprechen. Das Lehrmaterial gibt Anleitung fuer Dialoge in Alltagssituationen, die die Studenten ueben und vortragen.
Grundkenntnisse der Grammatik werden vorausgesetzt, aber bei Bedarf wiederholt und vertieft

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Kennenlernen	Begruessung und Ermittlung des Wissensstandes
2	Lehrbuch	Erklaerungen zum Lehrbuch
3	Abschnitt 1	Einfuehrung der Personen
4	Abschnitt 2	Telekommunikation – Handies
5	Abschnitt 3	Hobbies deutscher Jugendlicher
6	Abschnitt 4	Probleme deutscher Jugendlicher
7	Abschnitt 5	Kleidung
8	Abschnitt 6	Essen
9	Abschnitt 7	Einkaufen
10	Abschnitt 8	Geburtstag
11	Abschnitt 9	Arbeit
12	Abschnitt 10	Reisen
13	Abschnitt 11	Berlin
14	Abschnitt 12	Sport
15	Wiederholung	Rueckblick mit Beurteilung

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	– regelmaessige Anwesenheit – aktive Mitarbeit – Hausaufgaben – kleine Tests

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Treffpunkt Berlin 1 Deutsch Aktuell	H. Sturmhoefel ／Shinkotsusho ／0-8219-2553-9 ／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ドイツ語中級コミュニケーションII (K)

11109

担当者名 / Instructor 梅村 マルティナ

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

Anhand einer Filmserie werden Studenten mit dem alltaeglichen Leben in Deutschland vertraut gemacht. Die vorgefuehrten Dialoge werden geuebt, abgeaendert und frei wiedergegeben

到達目標 / Attainment Objectives

Die Studenten sollen viel sprechen. Das Lehrmaterial gibt Anleitung fuer Dialoge in Alltagssituationen, die die Studenten ueben und vortragen.
Grundkenntnisse der Grammatik werden vorausgesetzt, aber bei Bedarf wiederholt unRd vertieft.

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	Kennenlernen	Begruessung und Ermittlung des Wissenstandes
2	Lehrbuch	Erklaerungen zum Lehrbuch
3	Abschnitt 1	Vorstellung der Protagonisten
4	Abschnitt 2	Kontaktaufnahme
5	Abschnitt 3	Freizeit deutscher Jugendlicher
6	Abschnitt 4	Lernprobleme, Geldprobleme...
7	Abschnitt 5	Kleider machen Leute?
8	Abschnitt 6	Essen und Trinken
9	Abschnitt 7	Einkaufen im Kaufhaus
10	Abschnitt 8	Geburtstag und andere Feste
11	Abschnitt 9	Arbeitsmarkt in Deutschland
12	Abschnitt 10	deutsche Staedte
13	Abschnitt 11	deutsche Staedte
14	Abschnitt 12	Fussball
15	Wiederholung	Rueckblick mit Beurteilung

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	- regelmaessige Anwesenheit - aktive Mitarbeit - Hausaufgaben - kleine Tests

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Treffpunkt Berlin 1 Deutsch Aktuell	H. Sturmhoefel ／Shinkotsusho ／0-8219-2553-9 ／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ドイツ語中級表現読解I (K)

12805

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

到達目標 / Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指すための基礎学力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業スケジュールの説明、プリントの配布、アンケートなど	
2	リスニング①、表現①、単語テスト①、読解①、クロスワードパズル①	
3	リスニング②、表現②、単語テスト②、読解②、クロスワードパズル②	
4	リスニング③、表現③、単語テスト③、読解③、クロスワードパズル③	
5	リスニング④、表現④、単語テスト④、読解④、クロスワードパズル④	
6	リスニング⑤、表現⑤、単語テスト⑤、読解⑤、クロスワードパズル⑤	
7	リスニング⑥、表現⑥、単語テスト⑥、読解⑥、クロスワードパズル⑥	
8	リスニング⑦、表現⑦、単語テスト⑦、読解⑦、クロスワードパズル⑦	
9	リスニング⑧、表現⑧、単語テスト⑧、読解⑧、クロスワードパズル⑧	
10	リスニング⑨、表現⑨、単語テスト⑨、読解⑨、クロスワードパズル⑨	
11	リスニング⑩、表現⑩、単語テスト⑩、読解⑩、クロスワードパズル⑩	
12	リスニング⑪、表現⑪、単語テスト⑪、読解⑪、クロスワードパズル⑪	
13	リスニング⑫、表現⑫、単語テスト⑫、読解⑫、クロスワードパズル⑫	
14	リスニング⑬、表現⑬、単語テスト⑬、読解⑬、クロスワードパズル⑬	
15	総括講義(30分)、検証テスト(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	検証テスト(筆記試験)30% 出席、発表、小テストなど 70%

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(検証テスト30%、平常点70%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「ドイツ語中級表現読解Ⅲ」(後期、金曜4限)と継続して受講することが望ましい。
また、月曜5限にも「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、月曜のクラスでは、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要とされるレベルの文法の習得を目指しますので、合わせて受講するのがよいでしょう。
月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)、「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)

を履修してください。
第１回の授業は必ず出席してください。その際、辞書（月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」を履修する人はテキスト「ドイツ文法大百科」）を持参のこと。
ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

教科書 / Textbooks

テキストとしてプリントを配布しますので、テキストを購入する必要はありません。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ドイツ語中級表現読解II (K)

11764

担当者名 / Instructor 鈴木 智

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでに学習したドイツ語運用能力(聞く・話す・読む・書く)を確実なものとし、さらに総合的に伸ばしていきます。
旅行・学校・家族など日常身近なテーマで、コミュニケーションをとる練習をします。
また、様々なテーマや場面に重要な、語彙・表現・文型・文法を学びます。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語運用能力を総合的に伸ばすこと。
道案内や物の比較など、日常身近な場面に必要な語彙・表現を増やすこと。
既知の単語・表現の同義語や言い換え表現を増やすこと。
ドイツ語圏の文化・社会についての知識を増やすこと。
既習テーマについて書かれたテキストの概要を、辞書なしで理解できるようになること。
短い手紙やメールを、辞書なしで書けるようになること。
自分に合った学習方法を見つけること。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業説明、アンケート	ドイツ語による自己・他己紹介
2-4	Ausbildung	教育・職業について話す、日課、短い報告を理解する、形容詞
5-7	Berlin	街の歴史を理解する、過去の出来事について話す、提案をする、過去形、前置詞
8	まとめと復習	小テスト、学習進度の確認
9-11	Zusammen leben	家族について話す、統計を読む、友人・知人を紹介する、比較の表現
12-14	Arbeit und Beruf	仕事について話す、仕事を依頼する・依頼内容を理解する、電話で話す・要点をメモする、職業
15	まとめと復習	小テスト、学習進度の確認

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

外国語の学習は日々の積み重ねが大切です。5分でもいいので、毎日ドイツ語に触れるようにしましょう。
授業後は必ず復習を行って、分からない箇所がないか確認して下さい。
なるべく速く、正しい綴りでドイツ語を書けるようになるために、パソコンに頼らず手書きの練習を心がけて下さい。
自分に興味のある分野で、教材以外のドイツ語に触れる機会を作ってみましょう。
世界およびドイツ語圏のニュースを、定期的にチェックすることも重要です。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席状況、小テスト、積極的な授業参加、宿題・課題に取り組む姿勢などを、総合的に評価します。 出席率が2/3に達していない場合、成績評価の対象外とします。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

授業ではプリント教材を使用します。A4サイズ・二穴対応のファイルを用意しておくこと。
出席や遅刻・早退の状況を、自分で把握しておくこと。
やむを得ず欠席する場合は、他の受講者に授業内容や宿題を尋ねて、授業に遅れないよう努めること。
授業では、間違いを恐れずにどんどんドイツ語を使いましょう。
分からないことがあれば、積極的に質問して下さい。

教科書 / Textbooks

プリント教材を使用します。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

http://www.goethe.de/ins/jp/lp/deindex.htm(ドイツ文化センター/Goethe-Institutのサイト。文化交流、検定試験情報などドイツの全体像を紹介)
http://tokyo.daad.de/(ドイツ学術交流会/DAADのサイト。ドイツ留学や奨学金の情報)
http://www.dw-world.de/(Deutsche Welleのサイト。文字・音声・映像によるドイツの最新ニュースや各種情報)

http://ankisrs.net/（無料の学習ソフトAnkiのサイト。パソコンやiPhoneで学べる単語カードが作れる）
http://www.canoo.net/（ドイツ語の辞書canooのサイト。同義語、例文、変化表などが検索できる）

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool （ Blackboard system ）

その他 / Others

受講者の理解度に応じて、授業の進度や課題の内容を変更・調整する場合があります。

ドイツ語中級表現読解III (K)

12859

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。

到達目標 / Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指すための基礎学力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	リスニング①、表現①、単語テスト①、読解①	
2	リスニング②、表現②、単語テスト②、読解②	
3	リスニング③、表現③、単語テスト③、読解③	
4	リスニング④、表現④、単語テスト④、読解④	
5	リスニング⑤、表現⑤、単語テスト⑤、読解⑤	
6	リスニング⑥、表現⑥、単語テスト⑥、読解⑥	
7	リスニング⑦、表現⑦、単語テスト⑦、読解⑦	
8	リスニング⑧、表現⑧、単語テスト⑧、読解⑧	
9	リスニング⑨、表現⑨、単語テスト⑨、読解⑨	
10	リスニング⑩、表現⑩、単語テスト⑩、読解⑩	
11	リスニング⑪、表現⑪、単語テスト⑪、読解⑪	
12	リスニング⑫、表現⑫、単語テスト⑫、読解⑫	
13	リスニング⑬、表現⑬、単語テスト⑬、読解⑬	
14	リスニング⑭、表現⑭、単語テスト⑭、読解⑭	
15	総括講義(30分)、検証テスト(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	検証テスト 30% 出席、発表、小テスト 70%

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(検証テスト30%、平常点70%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「ドイツ語中級表現読解Ⅰ」(前期、金曜4限)と継続して受講することが望ましい。
また、月曜5限にも「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、月曜のクラスでは、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要とされるレベルの文法の習得を目指しますので、合わせて受講するとよいでしょう。
月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)、「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)を履修してください。
ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

教科書 / Textbooks

テキストとしてプリントを配布しますので、テキストを購入する必要はありません。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ドイツ語中級表現読解IV (K)

10599

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。
リスニング練習、語彙力の強化の他、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要とされるレベルの文法の習得を目指します。

到達目標 / Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指すための基礎学力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業スケジュールの説明、プリントの配布、アンケートなど	
2	文法の復習(動詞の現在1)	
3	文法の復習(疑問文・seinとhaben)	
4	文法の復習(文の形)	
5	文法の復習(名詞と冠詞)	
6	文法の復習(複数形・男性弱変化名詞)	
7	文法の復習(動詞の現在2・命令)	
8	文法の復習(冠詞類)	
9	文法の復習(人称代名詞・werとwas)	
10	文法の復習(man・非人称表現)	
11	文法の復習(前置詞)	
12	文法の復習(形容詞の語尾)	
13	文法の復習(前期の復習)	
14	文法の復習(前期の復習)	
15	総括講義(30分)、検証テスト(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	検証テスト(筆記試験)60点 出席、発表など 40点

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(検証テスト60%、平常点40%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期、月曜5限)と継続して受講することが望ましい。
また、金曜4限にも「ドイツ語中級表現読解Ⅰ」(前期)「ドイツ語中級表現読解Ⅲ」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、金曜のクラスでは、リスニングの練習、読解、語彙力の強化、簡単な作文など独検3級合格に必要とされる総合力の養成を目指して授業を行いますので、合わせて受講するのがよいでしょう。
月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)、「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)を履修してください。
第1回の授業は必ず出席してください。その際、辞書およびテキストを持参のこと。
ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ文法大百科	三室次雄／三修社／978-4-384-05210-7 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

ドイツ語中級表現読解V (K)

10621

担当者名 / Instructor 村本 容子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

視聴覚教材を用いながら、「読む・書く・聞く・話す」というドイツ語の4つの力の習得を目指す。構文把握力および語彙力を養うだけでなく、ドイツ語を聞く力、ドイツ語で表現する力をも養成する。
リスニング練習の他、高校で学んだ文法の復習と独検3級合格に必要とされるレベルの文法の習得を目指します。

到達目標 / Attainment Objectives

独検3級合格程度。さらに2級合格を目指して基礎学力を身につける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

既習者(付属校以外の者で受講希望者は申し出ること)

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	前期の復習	
2	文法の復習(zu不定詞)	
3	文法の復習(話法の助動詞)	
4	文法の復習(分離動詞・未来)	
5	文法の復習(動詞の三基本形・過去)	
6	文法の復習(完了)	
7	文法の復習(再帰代名詞・再帰動詞)	
8	文法の復習(形容詞・副詞の比較変化)	
9	文法の復習(関係代名詞)	
10	文法の復習(指示代名詞・不定代名詞)	
11	文法の復習(受動)	
12	文法(総合問題①)	
13	文法(総合問題②)	
14	文法(総合問題③)	
15	総括講義(30分)、検証テスト(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	検証テスト(筆記試験)60% 出席、発表 40%

検証テスト(筆記試験)の成績および平常点(出席状況、発表、小テストの成績等)から総合的に評価する(検証テスト60%、平常点40%)。授業における練習によってドイツ語を修得することが望ましいので、授業には積極的に参加すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期、月曜5限)と継続して受講することが望ましい。
また、金曜4限にも「ドイツ語中級表現読解Ⅰ」(前期)「ドイツ語中級表現読解Ⅲ」(後期)のクラスを設けています(担当者も同じ)が、金曜のクラスでは、リスニングの練習、読解、語彙力の強化、簡単な作文など独検3級合格に必要とされる総合力の養成を目指して授業を行いますので、合わせて受講するのがよいでしょう。
月曜と金曜のどちらか一方のみの受講の場合は、できるだけ月曜5限の「ドイツ語中級表現読解Ⅳ」(前期)、「ドイツ語中級表現読解Ⅴ」(後期)を履修してください。
ドイツの映画やドイツの文化を紹介するビデオなども見ながら、楽しく学習しましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ドイツ文法大百科	三室次雄／三修社／978-4-384-05210-7 C1084／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

フランス語上級コミュニケーションI (K)

11032

担当者名 / Instructor DEZ BRIGITTE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

これまでに学習したことからさらに視野を広げるために、フランスの社会、文化等について学びます。

到達目標 / Attainment Objectives

コミュニケーション力を高める(フランス語を読む、聞く、話す、書く)。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

仏検3級の取得、あるいは同等の学力を有する学生を対象とする。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1回目	フランスの地方	フランスの国土
2回目	フランスの地方	各地の特色
3回目	一回目、二回目のまとめ 日本の地理、気候について	p.12の資料
4回目	季節の暮らし、気候	四季の暮らし
5回目	季節の暮らし、気候 家の中で感じる季節	日本との比較 日本の暮らしについてフランス語で発表します(テストになります)
6回目	社会における女性と男性	日本とフランスの社会における男女の役割の相違点
7回目	現代フランス社会の家族のイメージ	家族、カップル、そして子供
8回目	日本とフランスの家族のイメージ	p.66の資料
9回目	日本とフランスの家族のイメージ のまとめ	日本とフランスの家族のイメージの比較について、フランス語で発表します(テストになります)
10回目	フランスの食事	普段の食生活
11回目	食生活、ガストロノミー(美食)	食生活の復習 日本の食生活との比較
12回目	p.35のクイズ、p.36の資料	食生活のまとめ
13回目	フランス人の礼儀と会話のマナー	フランス人のマナー
14回目	日本人の礼儀と会話のマナー	フランス人と日本人のマナーのまとめ
15回目	まとめのテスト	リスニング、書き取りのテスト(60分) テスト後の説明・解説(30分)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	授業期間中に学習到達度をテスト(3回)で評価する。出席点も考慮する。

仏和辞典が必要。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
La societe francaise	J-L Azra, O Lorillard, B Vannieuwenhuyse, 三木賀雄, 池澤明子, 市川まり子 ／alma ／978-4-904147-00-9 ／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 ／ Other

授業中に指示する。

その他 / Others

フランス語上級表現読解I (K)

11545

担当者名 / Instructor 川本 真也

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

大学入学時すでにフランス語を学習していた学生を対象に、中級・上級文法を解説しつつ、読解および作文の問題練習を行なう。セメスター終盤には、長文の読解にも取り組む予定である。

到達目標 / Attainment Objectives

・初・中級文法の復習と上級文法の習得。
・読解力、作文力の養成。
・発音規則に基づいた正確な音読。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

一年次、「フランス語中級表現読解」を履修していることが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業説明、初級・中級文法総復習(その1)	複合過去、半過去、大過去など
第2回	初級・中級文法総復習(その2)	補語人称代名詞、中性代名詞、代名動詞など
第3回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	半過去、大過去、中性代名詞(1)
第4回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	半過去、大過去、中性代名詞(2)
第5回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	単純未来、非人称動詞、使役・知覚動詞(1)
第6回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	単純未来、非人称動詞、使役・知覚動詞(2)
第7回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	疑問代名詞、直接・間接疑問、関係代名詞(1)
第8回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	疑問代名詞、直接・間接疑問、関係代名詞(2)
第9回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	単純過去、前過去、現在分詞、ジェロンディフ(1)
第10回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	単純過去、前過去、現在分詞、ジェロンディフ(2)
第11回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	条件法(1)
第12回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	条件法 (2)
第13回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	接続法(1)
第14回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	接続法(2)
第15回	総復習(30分)・検証テスト(60分)	授業総括

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

授業に先立ち、受講者は各自丹念に辞書を引き、十分な予習をしておくこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	日常点（出席状況、普段の発表の内容、宿題の提出、小テストの成績など）を30%、最終日の検証テストの結果を70%として、評価を行なう。なお、成績評価のためには、少なくとも3分の2の出席を必要とする。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

中級・上級フランス語をよりよく習得するために、辞書や文法書をひもとく労を厭わず、課題にじっくり取り組んでいただきたい。また、普段からますますフランス、或いはフランス語圏の文化にいっそう親しんでいっていただきたい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『新初等フランス語教本～文法編』	京都大学フランス語教室 ／白水社／ISBN978－4－560－06091－9 ／

前年度の後期において「中級表現読解」の「V」の授業を履修した学生は、同一の教科書であることに注意すること。同じ教科書の後半部分（第8課から）を利用する。

参考書 / Reference Books

辞書や文法書については、授業で紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 ／ Other

原則的に、授業の前後に教室で連絡を取ること。

その他 / Others

フランス語上級表現読解II (K)

12736

担当者名 / Instructor　角谷 美知

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

フランスの政治・経済・社会・文化に関する時事的なトピックを素材にして、フランス語の「読む、書く、聞く、話す」の総合力を養成するために、文法事項の復習、語句、派生語の学習、作文をも取り入れながら、テキストを正確に理解し、文化、社会への知識を深めていきたい。

到達目標 / Attainment Objectives

テキストの読解と文法問題を解き、専門分野の読解力を身につけてほしい。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語中級表現読解を履修していることが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業の概要と導入	授業の進め方、到達目標、成績評価等
2	第1課 バカロレアを取ってからにしなさい！	読解、解説と文法問題
3	第2課 エコロジックな大使館 第3課 ファーストレディーはシンガーソングライター！(前半)	読解、解説と文法問題
4	第3課 ファーストレディーはシンガーソングライター！(後半) 第4課 日本人パリジェンヌ	読解、解説と文法問題
5	第5課 二頭の馬？ 第6課 顔の無いエレクトロ・グループ(前半)	読解、解説と文法問題
6	第6課 顔の無いエレクトロ・グループ(後半) 第7課 郊外の若者	読解、解説と文法問題
7	第8課 水 第9課 ミレーとラ・アーグそして六ヶ所村(前半)	読解、解説と文法問題
8	第9課 ミレーとラ・アーグそして六ヶ所村(後半) 第10課 フランス語を話すアメリカ人	読解、解説と文法問題
9	第11課 わたしがモード 第12課 ホームレスとの連帯	読解、解説と文法問題
10	第13課 麗しの島 コルシカ 第14課 モナリザ盗まれる	読解、解説と文法問題
11	第15課 イスラムとヨーロッパ 第16課 デザート、すこし、いかが？	読解、解説と文法問題
12	第17課 燃え尽き症候群 第18課 ヴァンパイア・マニア	読解、解説と文法問題
13	第19課 カルトにご注意 第20課 アルジェリア	読解、解説と文法問題
14	総復習と質問	まとめ
15	検証テスト(60分)と解説	理解度確認とまとめ

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

第1～20課のテーマに関する書物、ニュース、記事にも関心を持って、理解を深めてほしい。又、本文だけでなく、文法問題や語句の練習問題も予習して授業に出席してほしい。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回の授業で発表と出席を考慮して20%を配点する。2/3以上の出席を必要とする。 検証テストを行い、80%を配点する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

フランス文化についての読書、新聞、雑誌記事やニュースに関心をを持ってほしい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
時事フランス語 -2011年度版-	ミシェル・サガズ、加藤晴久著／朝日出版社／978-4-255-35216-9 C1085／

参考書 / Reference Books

必要に応じて授業で紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

特になし

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

フランス語中級コミュニケーションII (KA)

11113

担当者名 / Instructor DEZ BRIGITTE

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期からの続きで、基礎的な知識をさらに広げることを目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語のリスニングと会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

前期の授業の復習をしておく。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1回目	夏休みの間、何をしましたか？どこかへ誰かと行きましたか？	12a,b, 13a,bの復習になります。
2回目	これまで学習したことのテスト	リスニング、会話のテスト(60分)テスト後の説明・解説(30分)
3回目	18b 外国に住んでみたいですか？	前未来形
4回目	19a パリは東京よりも大きいですか？	比較級
5回目	19b どこにいくのがおすすめですか？	スペルの読み方
6回目	20a 一か月のいくら使いますか？	70以上の数字
7回目	20b お金持ちだったら何をしますか？	条件法
8回目	21a(14bの復習)日本でいちばん住みやすい都市はどこですか？	最上級
9回目	21b パリの人口はどれくらいですか？	大きな数字
10回目	22a あなたにとって理想の仕事は何ですか？	接続法
11回目	22b どんな友達が」ほしいですか？	関係代名詞
12回目	テスト	リスニング、会話のテスト(60分)テスト後の説明・解説(30分)
13回目	フランスのアニメ映画(キリクと魔女)のシナリオを読み、理解する。1/3の映画をみる。	映画の内容を理解する。
14回目	フランスのアニメ映画(キリクと魔女)のシナリオを読み、理解する。2/3の映画をみる。	映画の内容を理解する。
15回目	フランスのアニメ映画(キリクと魔女)のシナリオを読み、理解する。3/3の映画をみる。映画についてのコメント、討論をする。	映画の内容を理解する。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	授業中に実施するテストで評価する。出席、宿題も考慮する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

仏和辞書が必要。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Conversation et grammaire	M Ohki, J-L Azra, B Vannieuwenhuyse ／ALMA／4-9901072-9-2／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 ／ Other

授業中に指示する。

その他 / Others

フランス語中級コミュニケーションII (KB)

16506

担当者名 / Instructor ESCOUTE JEAN

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期からの続きで、基礎的な知識をさらに広げることを目指す。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語のリスニングと会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

前期の授業の復習をしておく。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1回目	夏休みの間、何をしましたか？どこかへ誰かと行きましたか？	12a,b, 13a,bの復習になります。
2回目	これまで学習したことのテスト	リスニング、会話のテスト(60分)テスト後の説明・解説(30分)
3回目	18b 外国に住んでみたいですか？	前未来形
4回目	19a パリは東京よりも大きいですか？	比較級
5回目	19b どこにいくのがおすすめですか？	スペルの読み方
6回目	20a 一か月のいくら使いますか？	70以上の数字
7回目	20b お金持ちだったら何をしますか？	条件法
8回目	21a(14bの復習)日本でいちばん住みやすい都市はどこですか？	最上級
9回目	21b パリの人口はどれくらいですか？	大きな数字
10回目	22a あなたにとって理想の仕事は何ですか？	接続法
11回目	22b どんな友達が」ほしいですか？	関係代名詞
12回目	テスト	リスニング、会話のテスト(60分)テスト後の説明・解説(30分)
13回目	フランスのアニメ映画(キリクと魔女)のシナリオを読み、理解する。1/3の映画をみる。	映画の内容を理解する。
14回目	フランスのアニメ映画(キリクと魔女)のシナリオを読み、理解する。2/3の映画をみる。	映画の内容を理解する。
15回目	フランスのアニメ映画(キリクと魔女)のシナリオを読み、理解する。3/3の映画をみる。映画についてのコメント、討論をする。	映画の内容を理解する。

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	授業中に実施するテストで評価する。出席、宿題も考慮する。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

仏和辞書が必要。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
Conversation et grammaire	M Ohki, J-L Azra, B Vannieuwenhuyse ／ALMA／4-9901072-9-2／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

授業中に指示する。

その他 / Others

フランス語中級表現読解I (KA)

12826

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

大学に入学以前に一通りフランス語を学んできた学生のための科目という性格から、初級文法の総復習を行い、中級フランス語レベルに移行できるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

大学以前に仏検4級に合格している学生も何人かいますので、レベル的に仏検3級を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	名詞の分類・登録の仕方、冠詞	
2	ﾌﾗﾝｽ語の基本文型	
3	疑問代名詞、関係代名詞	
4	人称代名詞、補語人称代名詞	
5	中性代名詞	
6	複合過去(1)	
7	複合過去(2)	
8	半過去(1)	
9	半過去(2)	
10	複合過去と半過去	
11	大過去	
12	複合過去と半過去と大過去(1)	
13	複合過去と半過去と大過去(2)	
14	練習問題	
15	総括講義(30分)・到達度検証テスト(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	平常点4割、到達度検証テスト6割

三分の二以上の出席と到達度検証テストでのミニマムレベルクリアが不可欠です。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリント教材を配布します。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

フランス語中級表現読解I (KB)

14174

担当者名 / Instructor 川本 真也

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

大学入学以前に一通りフランス語を学んできた学生のための科目という性格から、初級文法の総復習を行い、中級フランス語レベルに移行できるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

大学以前に仏検4級に合格している学生も何人かいますので、仏検3級を目指します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	名詞の分類・登録の仕方、冠詞	
2	ﾌﾗﾝｽ語の基本文型	
3	疑問代名詞、関係代名詞	
4	人称代名詞、補語人称代名詞	
5	中性代名詞	
6	複合過去形Ⅰ	
7	複合過去Ⅱ	
8	半過去形	
9	複合過去形と半過去形	
10	大過去形	
11	複合過去と半過去と大過去	
12	単純未来形	
13	前未来形	
14	練習問題	
15	総括講義(30分)・試験(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

授業に先立ち、受講者は各自丹念に辞書を引き、十分な予習をしてください。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	平常点(出席及び小テスト等)が4割、最終講義試験が6割で成績評価をします。

三分の二以上の「出席」が不可欠です。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

辞書や文法書をひもとく労を厭わず、課題に取り組んでください。また、普段からフランス、或いはフランス語圏の文化にいっそう親しんでいってください。

教科書 / Textbooks

教科書ではなく、「プリント」を配布します。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Other

原則的に、授業の前後に教室で連絡を取ってください。

その他 / Others

フランス語中級表現読解II (K)

11780

担当者名 / Instructor 川本 真也

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

大学入学時すでにフランス語を学習していた学生を対象に、初級・中級文法を解説しつつ、基本的な読解及び作文の問題練習を行なう。

到達目標 / Attainment Objectives

・初級文法の復習と中級文法の習得。
・基本的な読解力、作文力の養成。
・発音規則に基づいた正確な音読。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

前期において、「フランス語中級表現読解」を履修しておくことが望ましい。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	授業説明・文法解説:文法、読解、作文の問題練習	初級文法総復習(その1)
第2回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	初級文法総復習(その2)
第3回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	初級文法総復習(その3)
第4回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	複合過去、受動態、関係代名詞ほか
第5回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	命令法、人称代名詞
第6回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	代名動詞、指示代名詞、所有代名詞
第7回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	半過去、大過去
第8回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	中性代名詞
第9回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	単純未来、前未来、非人称動詞、使役・知覚動詞
第10回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	疑問代名詞、直接・間接疑問、関係代名詞(その2)
第11回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	単純過去、前過去、現在分詞、ジェロンディフ
第12回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	条件法
第13回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	接続法(その1)
第14回	文法解説:文法、読解、作文の問題練習	接続法(その2)
第15回	総復習(30分)・検証テスト(60分)	授業総括

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

授業に先立ち、受講者は各自丹念に辞書を引き、十分な予習をしておくこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	日常点(出席状況、普段の発表の内容、小テストの成績など)を30%、最終日の検証テストの結果を70%として評価を行なう。成績評価には、3分の2以上の出席を必要とする。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

中級フランス語をよりよく習得するために、辞書や文法書をひもとく労を厭わず、一つ一つの課題にじっくり取り組んでいただきたい。また、普段からフランス、或いはフランス語圏の文化にいっそう親しんでいっていただきたい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『新初等フランス語教本～文法編』	京都大学フランス語教室／白水社／ISBN978－4－560－06091－9 ／

参考書 / Reference Books

仏和辞典や文法書については、授業で紹介する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 ／ Other

原則的に、授業の前後に教室で連絡を取ること。

その他 / Others

フランス語中級表現読解III (KA)

12874

担当者名 / Instructor 久津内 一雄

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

フランス語中級表現読解Ｉを受講していることを前提にして、初級文法後半の総復習を行い、中級フランス語レベルに移行できるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

レベル的には仏検3級を完全射程に入れます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語中級表現読解Ｉ

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	フランス語中級表現読解Ｉの総復習(1)	
2	フランス語中級表現読解Ｉの総復習(2)	
3	複合時制における人称代名詞直接目的語と間接目的語	
4	過去分詞の性・数一致	
5	代名動詞の複合時制	
6	関係節における複合時制	
7	ﾌﾗﾝｽ語の受動表現	
8	単純未来	
9	前未来	
10	条件法現在と過去	
11	練習問題	
12	現在分詞とｼﾞｪﾛﾝﾃﾞｨﾌ	
13	接続法現在と過去	
14	練習問題	
15	総括講義(30分)・到達度検証テスト(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	平常点4割、到達度検証テスト6割

三分の二以上の出席と到達度検証テストでのミニマムレベルクリアが不可欠です。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

プリント教材を配布します。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

フランス語中級表現読解III (KB)

16507

担当者名 / Instructor 川本 真也

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期にフランス語中級表現読解Ⅰを受講していることを前提にして、初級文法後半の総復習を行い、中級フランス語レベルに移行できるようにします。

到達目標 / Attainment Objectives

仏検3級を完全射程に入れます。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

フランス語中級表現読解Ⅰ

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	総復習Ⅰ	
2	総復習Ⅱ	
3	複合時制における人称代名詞直接目的語と間接目的語	
4	過去分詞の性・数一致	
5	代名動詞の複合時制	
6	関係節における複合時制	
7	ﾌﾗﾝｽ語の受動表現	
8	補語人称代名詞	
9	中性代名詞	
10	条件法現在形	
11	条件法過去形	
12	現在分詞とｼﾞｪﾛﾝﾃﾞｨﾌ	
13	接続法現在形	
14	接続法過去形	
15	総括講義(30分)・試験(60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

授業に先立ち、受講者は各自丹念に辞書を引き、十分な予習をしてください。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	平常点(出席及び小テスト等)を4割、最終講義試験を6割で成績評価します。

三分の二以上の「出席」が不可欠です。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

辞書や文法書をひもとく労を厭わず、課題にじっくり取り組んでください。また、普段からフランス、或いはフランス語圏の文化にいっそう親しんでいってください。

教科書 / Textbooks

前期同様、プリント配布します。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Other

原則的に、授業の前後に教室で連絡を取ってください。

その他 / Others

フランス語中級表現読解IV (K)

10610

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

日常的な生活場面で使われる言葉が理解できるように、聞く・話す・読む・書く4能力をバランスよく養成し、フランス語会話の基礎を身につけると共に、フランス語が話されている地域への文化的理解を深める。

到達目標 / Attainment Objectives

初級文法の完璧に近い習得、会話力の増進、フランス文化への関心の深化を目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特になし

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	発音の復習	
第2回	第1課:名詞・形容詞の性と数、所有形容詞	Dictees:Fete de la chandeleur/La Saint-Valentin
第3回	第1課:文のつながり:理由をあらわす接続詞	フランスの祭り
第4回	第1課(承前)	Vocabulaire/Exercices
第5回	第2課:規則動詞・不規則動詞・代名動詞の現在活用	
第6回	第2課(承前)	Dictees:Culture japonaise/Des Japonaises a Paris
第7回	第2課(承前)	フランスにおける日本文化
第8回	第3課:冠詞と指示形容詞	
第9回	第3課(承前)	Dictees:Vivre a Paris/Familles recomposees
第10回	第3課(承前)	再構成家族
第11回	第4課:前置詞+場所、前置詞と定冠詞の縮約	Dictees:Les Francais en vacances/La vie de Maxime
第12回	第4課(承前)	Vacances
第13回	第5課:複合過去	Dictees:Hamburger et cuisine traditionnelle/Les habitudes alimentaires
第14回	第5課(承前)	La malbouffe
第15回	第6課:疑問副詞、ne~pas以外の否定	Dictees:De Toulouse a Bordeaux/L'anniversaire de Sarah Civilisation:Greve

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席点(2/3以上の授業に出席した者のみを成績評価の対象とする)、授業への参加、宿題、小テストなどで評価する。最終講義日に検証テストをおこなう(50点満点で)。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

毎回の授業までに該当の章を予習し、授業日に教科書を必ず持参する。教室では、腹から声を出して意識的に大きな声を発するよう心がけよう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
シヴィ・ラング	M.Sagaz、中里まき子／駿河台出版社／978-4-411-01105-3／

参考書 / Reference Books

プリントも配布する。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

フランス語中級表現読解V (K)

10631

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

前期を受けて、さらに読む・話す・聞く・書くの力を磨き、文法・読解・語彙増大を目指すとともに、文化理解をいっそう深める。

到達目標 / Attainment Objectives

会話と読解の基礎を固めること。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	第7課:目的補語人称代名詞/中性代名詞	Dictees:SMS/Les Francais et les ordinateurs
第2回	第7課(承前)	Civilisation:SMS(Short Message Service)
第3回	第7課(承前)	Vocabulaire/Exercices
第4回	第8課:単純未来/動詞のつながり	
第5回	第8課(承前)	Dictees:Plus tard.../Rentree universitaire
第6回	第8課(承前)	Civilisation:Baccalaureat
第7回	第9課:量の表現/必要・義務Il faut/devoir	
第8回	第9課(承前)	Dictees:Le dimanche matin/Le pain en France Civilisation:Gastronomie
第9回	第10課:比較表現	
第10回	第10課(承前)	Dictees:Mariages et divorces/L'age du mariage en France
第11回	第10課(承前)	Civilisation:Evolution de l'union en France
第12回	第11課:受動態/非人称表現/文のつながり(同時性、条件、対比など)	
第13回	第11課(承前)	Dictees:Le tabagisme passif/Fumer Civilisation:Tabagisme
第14回	第12課:条件法/現在分詞/ジェロンディフ/命令形	
第15回	第12課(承前)	Dictees:Aperitif/Permis de conduire Civilisation:Boire ou conduire,il faut choisir...

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

授業に先立ち、受講者は各自丹念に辞書を引き、十分な予習をしておくこと。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	普段の発表の内容、小テストの成績、宿題提出、出席状況を50%、最終日の検証テストの結果を50%として、最終的な評価を行なう。なお、評価のためには、3分の2以上の出席を前提とする。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

中級フランス語をより完成された形で習得するために、じっくり課題に取り組んでほしい。そのためにも、辞書や文法書をひもとく労を厭わないでいただきたい。また日常生活の中で、フランス文化にいっそう親しんでいっていただきたい。日本の新聞などでフランスやスイスなどフランス語圏の新聞記事が出ていれば、切り抜きして熟読するようにしよう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
シヴィ・ラング	M.Sagaz/中里まき子 /駿河台出版社 /978-4-411-01105-3 /

前期に使用した教科書である。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

授業中に指示する。

その他 / Others

基本スペイン語（単位回復）（A）

11850

担当者名 / Instructor　豊原 ひとみ

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

基本文法を確認し、CDやDVDを活用しながらスペイン語圏の文化についても講義していく。
学生の要望やレベルによって内容は調整する。

到達目標 / Attainment Objectives

基本文法の習得とスペイン語圏の文化的基礎知識を身につけること。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ガイダンス、基本表現、アルファベット	
2	母音と子音、アクセント	
3	名詞と 冠詞	
4	形容詞、数詞	
5	小テスト①、小テスト後、SER動詞	
6	SER動詞、疑問詞	
7	指示形容詞	
8	ESTAR動詞	
9	ESTAR動詞の復習、SER動詞	
10	小テスト② 、小テスト後、序数	
11	所有形容詞前置形	
12	規則動詞　直接法現在	
13	疑問文と否定文	
14	小テスト③　テスト後、今まで総復習	
15	小テスト③の返却と解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

語学を学ぶには、復習が基本である。
毎回の講義に出席し、内容を必ず復習すること。
実施される小テストを3回、必ず受けること。
不正行為は自動的に不合格にする。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	1）3回のテスト 2）出席・授業への積極的な参加

成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

辞書を必ず持参すること。

教科書 / Textbooks

プリントを配布する。

参考書 / Reference Books

今までの授業で使用したスペイン語の教科書。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

基本スペイン語（単位回復）（B）

11881

担当者名 / Instructor　豊原 ひとみ

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

基本文法を確認し、CDやDVDを活用しながらスペイン語圏の文化についても講義していく。
学生の要望やレベルによって内容は調整する。

到達目標 / Attainment Objectives

基本文法の習得とスペイン語圏の文化的基礎知識を身につけること。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	ガイダンス、スペインと南米におけるスペイン語について 簡潔に説明、アルファベット	
2	母音、子音、音節の分け方、アクセント	
3	名詞と冠詞、聞き取り問題	
4	形容詞、指示形容詞	
5	小テスト①、テスト後、Ser動詞	
6	Ser動詞の復習、Estar動詞、hay	
7	これまで習ったことを用いて文の構成	
8	会話文の聞き取り、受け答え方について	
9	小テスト②、短文の読解	
10	直説法現在　規則動詞	
11	直説法現在　不規則動詞	
12	動詞のまとめ	
13	天候を表す動詞について	
14	小テスト③、これまでの動詞の復習	
15	小テスト③返却、解説	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

語学を学ぶには、復習が基本である。
毎回の講義に出席し、内容を必ず復習すること。
実施される小テストを3回、必ず受けること。
不正行為は自動的に不合格にする。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	1）3回のテスト 2）出席・授業への積極的な参加

成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

辞書を必ず持参すること。

教科書 / Textbooks

プリントを配布する。

参考書 / Reference Books

今までの授業で使用したスペイン語の教科書。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

基本中国語（単位回復）（A）

11852

担当者名 / Instructor　宮城 美雪

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

中国語初級テキストを用いて、中国語の基礎を学ぶ。

到達目標 / Attainment Objectives

初級中国語文法理解し、必要単語を覚え、テキストの本文・例文を正しく読めるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	発音編：1）四声と短母音を覚えましょう～3）複母音を覚えましょう。小テスト。	
2	発音編：4）nとngの区別をしましょう～6）中国語の世界。	
3	発音編復習と発音編テスト。	
4	第1課：表現のポイント：判断文・疑問文、その他。小テスト。	
5	第1課：本文「初対面の挨拶と自己紹介」。朗読テスト。小課題。	
6	第2課：表現のポイント：動詞述語文、その他。小テスト。	
7	第2課：本文「出身地・家族構成・職業を語る」。朗読テスト。小課題。	
8	第3課：表現のポイント：形容詞述語文、その他。小テスト。	
9	第3課：本文「大学生活を語る」。朗読テスト。小課題。	
10	第4課：表現のポイント：存在をあらわす表現、その他。小テスト。	
11	第4課：本文「道順を聞く」。朗読テスト。小課題。	
12	第5課：表現のポイント：アスペクト助詞、その他。小テスト。	
13	第5課：本文「買い物」。朗読テスト。小課題。	
14	第6課：表現のポイント：様態補語・程度補語、その他。小テスト。 第6課：本文「料理を注文す」。	
15	授業の総まとめ（30分）総合テスト（60分）。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席回数（3分の2以上）、発音編テスト、小テスト、朗読テスト、総合テスト。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカティブ中国語Level1	岡田英樹ほか／郁文堂／978-4-261-01837-0／3回生以上
新コミュニカティブ中国語Level1	岡田英樹ほか／郁文堂／978-4-261-01852-3／2回生

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

基本中国語（単位回復）(B)

11883

担当者名 / Instructor　宮城 美雪

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

中国語初級テキストを用いて、中国語の基礎を学ぶ。

到達目標 / Attainment Objectives

初級中国語文法理解し、必要単語を覚え、テキストの本文・例文を正しく読めるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	発音編：1）四声と短母音を覚えましょう～3）複母音を覚えましょう。小テスト。	
2	発音編：4）nとngの区別をしましょう～6）中国語の世界。	
3	発音編復習と発音編テスト	
4	第1課：表現のポイント：判断文・疑問文、その他。小テスト。	
5	第1課：本文「初対面の挨拶と自己紹介」。朗読テスト。小課題。	
6	第2課：表現のポイント：動詞述語文、その他。小テスト。	
7	第2課：本文「出身地・家族構成・職業を語る」。朗読テスト。小課題。	
8	第3課：表現のポイント：形容詞述語文、その他。小テスト。	
9	第3課：本文「大学生活を語る」。朗読テスト。小課題。	
10	第4課：表現のポイント：存在をあらわす表現、その他。小テスト。	
11	第4課：本文「道順を聞く」。朗読テスト。小課題。	
12	第5課：表現のポイント：アスペクト助詞、その他。小テスト。	
13	第5課：本文「買い物」。朗読テスト。小課題。	
14	第6課：表現のポイント：様態補語・程度補語、その他。小テスト。 第6課：本文「料理を注文す」。	
15	授業の総まとめ（30分）。総合テスト（60分）。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席回数（3分の2以上）、発音編テスト、小テスト、朗読テスト、総合テスト。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
コミュニカティブ中国語Level1	岡田英樹ほか ／郁文堂／978-4-261-01837-0／3回生以上
新コミュニカティブ中国語Level1	岡田英樹ほか ／郁文堂／978-4-261-01852-3／1～2回生

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

基本朝鮮語(単位回復) (A)

11853

担当者名 / Instructor 金 友子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ハングル検定4級の合格を目指し、朝鮮語運用能力の基礎的な部分を習得する。
母音・子音の習得と発音の練習に始まり、挨拶の言葉、ハングルの短文を読み、書き、聞き取ることができるようにする。

到達目標 / Attainment Objectives

ハングル検定4級に合格できる朝鮮語運用能力をつける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	導入	授業の進め方、レベルチェック等
2-3	文字と発音	母音・子音・パッチム・連音
4	助詞「は」「の」	～です、～ではありません
5	助詞「～が」	存在の表現
6	動詞や形容詞の語幹、助詞「～を」	「～(し)ます」「～です」
7	否定の表現	
8	数詞、聞き返しやあいづちの表現	
9	丁寧でやわらかい存在・文末の表現	
10	丁寧でやわらかい文末の表現	
11	尊敬の表現と疑問詞	いつ、誰
12	疑問詞	どこ、何、どのように、なぜ
13	過去の表現	
14	「～(し)てください」「～(し)てみる」	
15	文末表現の整理	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	授業中に行う小テストを総合的に評価

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

授業中にプリントを配布する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

基本朝鮮語(単位回復) (B)

11884

担当者名 / Instructor 金 友子

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

ハングル検定4級の合格を目指し、朝鮮語運用能力の基礎的な部分を習得する。
母音・子音の習得と発音の練習に始まり、挨拶の言葉、ハングルの短文を読み、書き、聞き取ることができるようにする。

到達目標 / Attainment Objectives

ハングル検定4級に合格できる朝鮮語運用能力をつける。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	導入	授業の進め方、レベルチェック等
2-3	文字と発音	母音・子音・パッチム・連音
4	私は～です	
5	時間ありますか？	
6	それは何ですか？	
7	今、何時ですか？	
8	初デートの約束	
9	何が好きですか？	
10	韓国文化に触れる(1)	
11	韓国文化に触れる(2)	
12	週末に何をしましたか？	
13	スープが冷たくておいしいです。	
14	一度遊びに来てください。	
15	文法事項のまとめ	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	授業中に行う小テストを総合的に評価

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
チャレンジ！ 韓国語	金順玉、阪堂千津子／白水社／4-560-01775-1／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

基本ドイツ語（単位回復）（A）

11144

担当者名 / Instructor 林 晶

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本ドイツ語Ｉの単位を回復するためのクラスである。動詞（規則動詞・不規則動詞）の現在形と名詞の格変化を中心に、ドイツ語初級文法の確認と習得を図る。クラスではまず各文法事項の説明を行い、その後、毎回プリントを使用して数多くの練習問題をこなしていく。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語検定試験4級程度の内容とし、基礎的なドイツ語運用能力の習得を目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要と導入	授業の進め方、到達目標、成績評価方法等の説明。プリント配布。アルファベット、
第2回目	ドイツ語の発音。人称代名詞。動詞の現在形（1）	ウムラウト、二重母音、注意すべき子音の発音練習。動詞の主語となる人称代名詞の説明。 規則動詞の現在人称変化の説明と練習。
第3回目	文章構造	定動詞の位置。決定疑問文と補足疑問文の説明と練習。
第4回目	検証テストと解説。	第1回目から第3回目までの検証テスト（5月10日）
第5回目	動詞の現在形（2）	規則動詞とsein,haben等の重要な不規則動詞の現在人称変化の説明と練習。
第6回目	動詞の現在形（3）	不規則動詞の現在人称変化の説明と練習。
第7回目	検証テストと解説。	動詞の現在形の総復習。第2回目から第6回目までの検証テスト（5月31日）
第8回目	名詞の性、数、格変化（1）	定冠詞と不定冠詞（1格）の説明と練習。
第9回目	名詞の格変化（2）	定冠詞と不定冠詞、並びに人称代名詞（4格）の説明と練習。
第10回目	名詞の格変化（3）	定冠詞と不定冠詞、並びに人称代名詞（3格）の説明と練習。
第11回目	検証テストと解説。	第8回目から第10回目までの検証テスト（6月21日）
第12回目	冠詞類	否定冠詞ならびに所有冠詞の説明と練習。
第13回目	前置詞。	前置詞の格支配の説明と練習。特に3・4格支配の前置詞の練習。
第14回目	話法の助動詞。	助動詞構文の説明と練習。
第15回目	最終検証テストと解説。	第12回目から第14回目までの検証テスト（7月19日）

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	四回の検証テストの総合で評価する。CまたはF評価。四回の検証テストは必ず受験すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

プリントの配布の際、必ず受け取るように。四回の検証テストは必ず受験すること。

教科書 / Textbooks

プリント使用。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

基本ドイツ語（単位回復）（B）

11160

担当者名 / Instructor 林 晶

単位数 / Credit 1

授業の概要 / Course Outline

基本ドイツ語Ｉの単位を回復するためのクラスである。動詞（規則動詞・不規則動詞）の現在形と名詞の格変化を中心に、ドイツ語初級文法の確認と習得を図る。クラスではまず各文法事項の説明を行い、その後、毎回プリントを使用して数多くの練習問題をこなしていく。

到達目標 / Attainment Objectives

ドイツ語検定試験4級程度の内容とし、基礎的なドイツ語運用能力の習得を目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要と導入	授業の進め方、到達目標、成績評価方法等の説明。プリント配布。アルファベット。
第2回目	ドイツ語の発音。人称代名詞。動詞の現在形（1）	ウムラウト、二重母音、注意すべき子音の発音練習。動詞の主語となる人称代名詞の説明。 規則動詞の現在人称変化の説明と練習。
第3回目	文章構造。	定動詞の位置。決定疑問文と補足疑問文の説明と練習。
第4回目	検証テストと解説。	第1回目から第3回目までの検証テスト（10月18日）
第5回目	動詞の現在形（2）	規則動詞とsein,haben等の重要な不規則動詞の現在人称変化の説明と練習。
第6回目	動詞の現在形（3）	不規則動詞の現在人称変化の説明と練習。
第7回目	検証テストと解説。	動詞の現在形の総復習。第2回目から第6回目までの検証テスト（11月8日）
第8回目	名詞の性、数、格変化（1）	定冠詞と不定冠詞（1格）の説明と練習。
第9回目	名詞の格変化（2）	定冠詞と不定冠詞、並びに人称代名詞（4格）の説明と練習。
第10回目	名詞の格変化（3）	定冠詞と不定冠詞、並びに人称代名詞（3格）の説明と練習。
第11回目	検証テストと解説。	第8回目から第10回目までの検証テスト（12月6日）
第12回目	冠詞類	否定冠詞ならびに所有冠詞の説明と練習。
第13回目	前置詞。	前置詞の格支配の説明と練習。特に3・4格支配の前置詞の練習。
第14回目	話法の助動詞。	助動詞構文の説明と練習。
第15回目	最終検証テストと解説。	第12回目から第14回目までの検証テスト（1月17日）

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	四回の検証テストの総合で評価する。CまたはF評価。四回の検証テストは必ず受験すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

プリントの配布の際、必ず受け取るように。四回の検証テストは必ず受験すること。

教科書 / Textbooks

プリント使用。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

基本フランス語（単位回復）（A）

11145

担当者名 / Instructor　内藤 義博　　単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

毎回、予定の学習項目にそって文法の説明と練習を行ない（1時間程度）、その後それを復習し、授業の最後に小テストを実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語基礎（仏検4級～5級レベル）の習得を目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	er動詞、定冠詞、不定冠詞、形容詞	
2	疑問文の作り方、否定文、数詞（1～30）	
3	人やものの特徴を言う	比較級、最上級
4	彼、彼女、それについて言う	補語人称代名詞
5	天候を言う、時刻を言う	非人称動詞、数詞（30～69）
6	私は～という名前です	代名動詞、強勢形人称代名詞
7	一週間・一日の生活を話す	さまざまな動詞、曜日
8	前半講義の総括および小テスト（講義30分、小テスト60分）	
9	朝食に食べるものを言う	部分冠詞、数量の表現、prendre, manger, boire
10	過去のことを言う（1）	複合過去形
11	過去のことを言う（2）	半過去形
12	未来のことを言う	単純未来形
13	中性代名詞	
14	文で説明する	関係代名詞、受動態
15	後半講義の総括および小テスト（講義30分、小テスト60分）	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。合計点の6割以上とること。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

毎回プリントを配布する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

基本フランス語（単位回復）（B）

11161

担当者名 / Instructor　内藤 義博

単位数 / Credit　1

授業の概要 / Course Outline

毎回、予定の学習項目にそって文法の説明と練習を行ない（1時間程度）、その後それを復習し、授業の最後に小テストを実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語基礎（仏検4級～5級レベル）の習得を目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	あいさつ、名前を言う	主語人称代名詞、数詞（1～10）s'appeler
2	国籍・職業を言う	名詞の性・数、否定文、数詞（11～20）être, faire
3	住んでいる所を言う	場所の前置詞、不定冠詞、数詞（21～69）habiter, aller
4	年令を言う、兄弟姉妹のことを言う	定冠詞、avoir
5	～語を話す、～を着ている	冠詞の使い分け、parler, porter, er動詞
6	人や物の特徴を言う	疑問文の作り方（基本形）、品質形容詞、faire
7	誰のものかを言う	所有形容詞
8	前半講義の総括および小テスト（講義30分、小テスト60分）	
9	天候を言う、時刻を言う	非人称動詞
10	この・あの、どんな	疑問形容詞、指示形容詞、強勢形人称代名詞
11	これからのこと・したばかりのことを言う	近接未来・近接過去、前置詞と冠詞の縮約　allerとvenir
12	毎朝何を食べているか言う	部分冠詞、数量副詞　prendre, manger, boire
13	一週間・一日の生活を話す	さまざまな動詞、曜日
14	つづり字と発音	
15	後半講義の総括および小テスト（講義30分、小テスト60分）	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。合計点の6割以上とること。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

毎回プリントを配布する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

スペイン語と社会I(単位回復) (Z1)

12492

担当者名 / Instructor 坂巻 素子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

教科書と視聴覚教材を用い生きたスペイン語の表現を身につけ、スペイン語圏(主にスペイン)の社会や文化について学びます。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話に必要な語彙・表現を習得します。また、スペイン語圏の(主にスペイン)社会に関する知識を得ることで、スペイン語圏(主にスペイン)およびスペイン語に対する興味・関心を深めることを目的とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	第1課:En la estacion	アルファベット、名詞と形容詞性と数・定冠詞と不定冠詞
2	第2課:En el taxi	動詞ser
3	第3課:En casa de Lorenzo	動詞estar、所有形容詞
4	第4課:La familia	規則動詞の直説法現在、基数(1ー10)
5	第5課:Comiendo en casa	1人称単数形だけが不規則変化する動詞直説法現在
6	第6課:De compras	動詞haber、形容詞と不定代名詞、基数(11-20)
7	第7課:Las horas	不規則動詞(語根母音変化型)の直説法現在、時刻
8	第8課:En el quiosco	その他の不規則動詞の直説法現在、月・日付
9	第9課:En la ciudad de las ciencias	所有形容詞完全形(後置形)、直接目的語、基数(100まで)、感嘆文
10	第10課:En el bar	動詞ir・ir a ＋不定詞
11	第11課:En la catedral	querer, poder, saber, volver＋不定詞、住所
12	第12課:En el medico	量と頻度に関する副詞、基数(100ー1000)、気候
13	第13課:En la tienda	間接目的語、色
14	第14課:Vamos a comer	義務の動詞、基数(1.000-1.000.000)、曜日
15	第15課:Las Fallas	動詞gustar、身体の部位
	上記のように教科書に沿って進めますが、受講生の理解度を確認しながら進度を調整します。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

予習・復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	1)小テスト・中テスト 2)提出物 3)授業への積極的な参加

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Nunca es tarde. Animo!

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
バレンシアの休日	ルルデス ドメネク／同学社／978-4-8102-0384-4 C1087／

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『改訂スペイン語の入門』	瓜谷良平 ／白水社／4-560-00677-6 ／

文法の知識をさらに深めたい人には『改訂スペイン語の入門』が参考になる。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定:http://www.casa-esp.com/link-examen.html

DELE：http://www2.gol.com/users/esptokio/jap/dele.htm
スペイン基本情報（外務省）：http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/spain/
ラテンアメリカ基本情報（外務省）：http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/latinamerica.html

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 ／ Other

質問は大歓迎。
motoko@motoko-es.comまで。

その他 / Others

スペイン語と社会II(単位回復) (Z1)

12523

担当者名 / Instructor 坂巻 素子

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

教科書と視聴覚教材を用いて生きたスペイン語の表現を身につけ、スペイン語圏(主にスペイン)の社会や文化について学びます。

到達目標 / Attainment Objectives

日常会話に必要な語彙・表現を習得します。また、スペイン語圏の(主にスペイン)社会に関する知識を得ることで、スペイン語圏(主にスペイン)およびスペイン語に対する興味・関心を深めることを目的とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	第1課:Hola!	
	第2課:Como estas?	
	第3課:Hablas espanol?	
	第4課:Tienes tiempo?	
	第5課:Te gusta el futbol?	
	第6課:Nuestro equipo es mas fuerte.	
	第7課:Trate de ser traductora.	
	第8課:Cuando era nina...	
	第9課:De que estais hablando?	
	第10課:Se llama Natsume.	
	第11課:Ven.	
	第12課:Ojala pasemos los examenes!	
	上記のように教科書のテーマに沿って進める。	
	科目の性格上, 15回の授業の内容を正確に表すことはできない。 各週の授業と教科書の課が一致していないからである。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

予習・復習を確実にすること。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	1)小テスト・中テスト 2)提出物 3)授業への積極的な参加

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

Nunca es tarde. Animo!

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
動く! スペイン語	福嶌教隆／朝日出版社／978-4-255-55023-7C1087／

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『改訂スペイン語の入門』	瓜谷良平 ／白水社 ／4-560-00677-6 ／

文法の知識をさらに深めたい人には『改訂スペイン語の入門』が参考になる。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定:http://www.casa-esp.com/link-examen.html

DELE：http://www2.gol.com/users/esptokio/jap/dele.htm
スペイン基本情報（外務省）：http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/spain/
ラテンアメリカ基本情報（外務省）：http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/latinamerica.html

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 ／ Other

質問は大歓迎。
motoko@motoko-es.comまで。

その他 / Others

スペイン語と文化I(単位回復) (Z1)

11149

担当者名 / Instructor 福森 雅史

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基礎文法とスペイン文化について学習します。また、文を作る上で必要不可欠となる語彙に関しても、どのようにすればより多くの語彙を身につけられるようになるかについても学習していきます。その際、多くの人が中学・高校で学習した英語の知識を活用することで、一見難解にも思えるスペイン語も決して難しいものではないことを理解してもらえたら、と考えています。

授業は簡単なスペイン語文の読み書きの練習および語彙習得を中心に行います。授業は基本的に講義形式で行いますが、時にはクイズをしたり、必要に応じてビデオやDVDの鑑賞などを通じて、スペイン文化についての紹介をしたりしていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介をはじめ、日常会話に必要な語彙・表現を習得します。また、スペイン文化に対する知識を得ることで、スペインおよびスペイン語に対する興味・関心を深めることを目的とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	アルファベット／スペイン語とスペイン語圏の国々について	
第2回	発音・アクセント(1)／挨拶(1)	
第3回	発音・アクセント(2)／挨拶(2)	
第4回	発音・アクセント(3)／生活習慣(1)	
第5回	名詞・冠詞(1)／生活習慣(2)	
第6回	名詞・冠詞(2)／生活習慣(3)	
第7回	形容詞(1)／生活習慣(4)	
第8回	形容詞(2)／建築・美術(1)	
第9回	規則変化動詞(1)／建築・美術(2)	
第10回	規則変化動詞(2)／建築・美術(3)	
第11回	規則変化動詞(3)／建築・美術(4)	
第12回	ser動詞とestar動詞(1)／建築・美術(5)	
第13回	ser動詞とestar動詞(2)／建築・美術(6)	
第14回	前期範囲の復習	
第15回	まとめの確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

特に予習をする必要はありませんが、授業の内容を定着させるためにも、毎回の復習は必ず行なうよう心がけて下さい。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	まとめの確認テスト 小テスト 授業参加態度

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「大学」という4年間は社会に出る前の最後の準備期間です。この間に、社会に出てから困らないよう専攻科目の勉強は勿論のこと、一般的な社会常識やマナー、果ては雑学と呼ばれるものに至るまで様々な知識を身につけて下さい。思いもかけないところでそうした知識が活きてくる時が必ずやって来ます。そのためにも単に授業に参加するという気持ちではなく、「人よりも一つでも多くの知識を身につけよう」という気持ちで授業を受けてみて下さい。

教科書 / Textbooks

適宜プリントを配布します

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／978-4-560-00677-1／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定：http://www.casa-esp.com/link-examen.html
DELE：http://www2.gol.com/users/esptokio/jap/dele.htm
スペイン基本情報（外務省）：http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/spain/

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

スペイン語と文化II（単位回復）（Z1）

11169

担当者名 / Instructor　福森 雅史

単位数 / Credit　2

授業の概要 / Course Outline

スペイン語の基礎文法とスペイン文化について学習します。また、文を作る上で必要不可欠となる語彙に関しても、どのようにすればより多くの語彙を身につけられるようになるかについても学習していきます。その際、多くの人が中学・高校で学習した英語の知識を活用することで、一見難解にも思えるスペイン語も決して難しいものではないことを理解してもらえたら、と考えています。

授業は簡単なスペイン語文の読み書きの練習および語彙習得を中心に行います。授業は基本的に講義形式で行いますが、時にはクイズをしたり、必要に応じてビデオやDVDの鑑賞などを通じて、スペイン文化についての紹介をしたりしていきます。

到達目標 / Attainment Objectives

挨拶や自己紹介をはじめ、日常会話に必要な語彙・表現を習得します。また、スペイン文化に対する知識を得ることで、スペインおよびスペイン語に対する興味・関心を深めることを目的とします。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

スペイン語と文化I（単位回復）（Z1）

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	前期の復習（1）	
第2回	前期の復習（2）	
第3回	不規則変化動詞（1）／食べ物（1）	
第4回	不規則変化動詞（2）／食べ物（2）	
第5回	不規則変化動詞（3）／食べ物（3）	
第6回	目的格代名詞（1）／祭り・観光（1）	
第7回	目的格代名詞（2）／祭り・観光（2）	
第8回	gustar型動詞（1）／祭り・観光（3）	
第9回	gustar型動詞（2）／文学・思想（1）	
第10回	再帰動詞（1）／文学・思想（2）	
第11回	再帰動詞（2）／文学・思想（3）	
第12回	命令文（1）／歴史（1）	
第13回	命令文（2）／歴史（2）	
第14回	後期の復習	
第15回	まとめの確認テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

特に予習をする必要はありませんが、授業の内容を定着させるためにも、毎回の復習は必ず行なうよう心がけて下さい。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	まとめの確認テスト 小テスト 授業参加態度

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

「大学」という4年間は社会に出る前の最後の準備期間です。この間に、社会に出てから困らないよう専攻科目の勉強は勿論のこと、一般的な社会常識やマナー、果ては雑学と呼ばれるものに至るまで様々な知識を身につけて下さい。思いもかけないところでそうした知識が活きてくる時が必ずやって来ます。そのためにも単に授業に参加するという気持ちではなく、「人よりも一つでも多くの知識を身につけよう」という気持ちで授業を受けてみて下さい。

教科書 / Textbooks

適宜プリントを配布します

参考書 / Reference Books

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
改訂スペイン語の入門	瓜谷良平／白水社／978-4-560-00677-1／

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

スペイン語検定：http://www.casa-esp.com/link-examen.html

DELE：http://www2.gol.com/users/esptokio/jap/dele.htm
スペイン基本情報（外務省）：http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/spain/

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

中国語と社会I(単位回復) (Z1)

11146

担当者名 / Instructor　鳥谷 まゆみ

単位数 / Credit　2

授業の概要 / Course Outline

本授業は、中国社会を構成する基礎的な知識を得ながら、日常でよく使う中国語の表現を話せるようになることを目指します。
DVD、新聞、資料などを用いて、現代中国の社会や文化を多面的に理解する眼を育成し、今後の日中関係のあり方を考える端緒となることを希望します。

到達目標 / Attainment Objectives

基礎的な中国語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	発音A＋中国社会に関する講義	声調・単母音・無気音と有気音・二重母音・－nと－ng・声の変調・軽声
2	発音B＋中国社会に関する講義	発音:－an,－ang,－ian,－iang・軽声のeの発音・そり舌音 文法:数字・数詞述語分・疑問詞
3	発音C＋中国社会に関する講義	発音:e,eng・d,t,g,k・jia,qia,xia,ya 文法:人称代名詞・S+V+O・的
4	発音D＋中国社会に関する講義	発音:yu,ju,qu,xu・yue,,yong・二重三重母音・b,p,m,f・en,eng,wen,weng,-un,-ong　文法:名前の聞き方・答え方
5	第一課＋中国社会に関する講義	指示代名詞・形容詞述語文・疑問文・疑問詞・「不」・不の変調
6	第二課＋中国社会に関する講義	正反疑問文・選択疑問文・「的」の省略・動詞句→名詞句へ
7	第三課＋中国社会に関する講義	親族の名称・「两」・「有」と「没有」・年齢の聞き方・「一」の変調・数字の発音
8	第四課＋中国社会に関する講義	助動詞「想」・日付と曜日・動詞の重ね型・前置詞「給」・積極的な気持ちを表す「来」
9	第五課＋中国社会に関する講義	月・時刻
10	第六課＋中国社会に関する講義	お金の言い方・100以上の数・数量補語
11	第七課＋中国社会に関する講義	動詞「在」・助動詞「要」・前置詞「离」
12	第八課＋中国社会に関する講義	前置詞「在」・助動詞「能」・二重目的語・「多～点儿」
13	第九課＋中国社会に関する講義	助動詞「会」・連動文・「别」「不要」
14	第十課＋中国社会に関する講義	助動詞「可以」・比較の言い方
15	実用的な表現のまとめ・検証テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	・授業中のミニレポート: 講義内容に関して適宜、ミニレポートを書いてもらいます(50%)。出席点はとくに考慮しませんが、上記の提出回数が提出回数の半数以下の者は、単位認定の対象外とします。 ・検証テスト: 中国語の文章を聴いて理解し、正確に返答できるかを問います(50%)。

・成績評価は、C・Fのみです。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

◎自分が中国の何に対して興味を持つのか、あるいは何に対して疑問を覚えるのか、こうした問題意識を持って中国語を学習してください。語学は、取り組みやすい学問であるいっぽう、ただ覚えるだけでは、国際社会で通用しません。後の職業や進路、学習進捗状況に関わらず、中国語を使うことができた時にはじめて、学んだ意味や楽しさを実感することになります。世界や中国を、ますます身近に感じられる今日、中国語を習得することは、選択肢や視野、生活の幅を広げることに繋がります。
▲指定教科書は、授業開始前までに必ず購入を済ませて、授業に持参してください。教科書を準備しない者は、単位認定の対象外とします。
▲遅刻、途中退席は認めません。やむを得ない理由がある場合は、関連書類を添えて申し出るようにしてください。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ともだち・朋友（スリム版①）	薫燕・遠藤光暁／朝日出版社／978-4-255-45189-3／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語と社会II（単位回復）（Z1）

11162

担当者名 / Instructor　鳥谷 まゆみ

単位数 / Credit　2

授業の概要 / Course Outline

本授業は、中国語の基礎を学び、はなすこと、聞くことに慣れ、現代の中国に関する基本的な認識を得ることを目指します。
ビデオ、新聞、資料などを用いて、現代中国の社会や文化を多面的に理解する眼を育成し、今後の日中関係のあり方を考える端緒となることを希望します。

到達目標 / Attainment Objectives

基礎的な中国語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	発音1＋中国社会に関する講義	中国、言語、声調、単母音、複母音
2	発音2＋中国社会に関する講義	声母表、無気音と有気音、そり舌音
3	発音のまとめ（3）とあいさつ言葉＋中国社会に関する講義	鼻音、「e」の発音
4	第一課 ホテル探検＋中国社会に関する講義	人称代名詞、姓・名の言い方、「是」
5	第二課 天安門広場＋中国社会に関する講義	指示代名詞、「吗」「哪儿？」「什么」
6	第三課 中国の中の日本＋中国社会に関する講義	「想」、「不太」、「有」と「没有」、「为什么」、「吧」
7	第四課 NEW北京 OLD北京＋中国社会に関する講義	「看看」、量詞、値段の聞き方、「还是」
8	第五課 ある食堂の一日＋中国社会に関する講義	「你吃的」、「多少钱一碗」、「上几年级」、年齢の聞き方
9	第六課 北京留学事情＋中国社会に関する講義	「从、在」などの介詞、強調の「是～的」、「了」、「祝」
10	第七課 中国車社会の幕開け＋中国社会に関する講義	時の長さの言い方、反復疑問文、「可以」
11	第八課 中国新商売＋中国社会に関する講義	方向補語、「把」構文
12	第九課 北京上海車窓の旅＋中国社会に関する講義	「打算V」、可能補語、アスペクト助詞「了」「着」「过」
13	第十課 上海万華鏡＋中国社会に関する講義	連動文、「觉得」
14	第十一課 魯迅と紹興＋中国文化に関する講義	周作人、「就」、「要不」、「要～了」、「跟～一起」
15	主要な表現のまとめと検証テスト。 ※発問を聴き正確に答えられるかを問います。	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	・授業中のミニレポート: 講義内容に関して適宜、ミニレポートを書いてもらいます（50%）。出席点はとくに考慮しませんが、上記の提出回数が提出回数の半数以下の者は、単位認定の対象外とします。 ・検証テスト: 学期末にペーパーテストを実施します。(50%)

・成績評価は、C・Fのみです。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

▲指定教科書は、授業開始前までに必ず購入を済ませて、授業に持参してください。教科書を準備しない者は、単位認定の対象外とします。
▲遅刻、途中退席は認めません。やむを得ない理由がある場合は、関連書類を添えて申し出るようにしてください。
◎自分が中国の何に対して興味を持つのか、あるいは何に対して疑問を覚えるのか、こうした問題意識を持って中国語を学習してください。語学は、取り組みやすい学問であるいっぽう、ただ覚えるだけでは、国際社会で通用しません。後の職業や進路、学習進捗状況に関わらず、中国語を使うことができた時にはじめて、学んだ意味や楽しさを実感することになります。世界や中国を、ますます身近に感じられる今日、中国語を習得することは、選択肢や視野、生活の幅を広げることに繋がります。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
北京上海リスニングツアー	相原茂／朝日出版社／4-255-45030-7／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

中国語と文化I(単位回復) (Z1)

11151

担当者名 / Instructor 緒方 賢一

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

中国語の基本的な発音・文法・単語を学習する。また語学の学習を通して、中国の文化も同時に学ぶ。

到達目標 / Attainment Objectives

1. ピンインを正確に読めるようにする。
2. 簡体字を正確に書けるようにする。
3. 簡単な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	授業の概要説明・声調の練習	
2	母音・子音の練習(1)	
3	子音の練習(2)	
4	n/ngの練習	
5	第1課	
6	第2課	
7	第3課	
8	一旦のまとめ・中間テスト	
9	第4課(1)	
10	第4課(2)・第5課(1)	
11	第5課(2)・第6課(1)	
12	第6課(2)・第7課(1)	
13	第7課(2)・第8課(1)	
14	第8課(2)・授業のまとめ	
15	前期授業のまとめ・期末テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	・平常点(出席・発言・授業態度) ・授業中の提出物(プリント・小テスト) ・中間、期末のテスト

授業の進度は、受講生の数や理解度によって変化することもある。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
日中いぶこみ広場	相原茂他／朝日出版社／ISBN978-4-255-45193-0／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

コミュニケーションペーパー／Communication Paper

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

中国語と文化II（単位回復）（Z1）

11171

担当者名 / Instructor　緒方 賢一

単位数 / Credit　2

授業の概要 / Course Outline

中国語の基本的な発音・文法・単語を学習する。また語学の学習を通して、中国の文化も同時に学ぶ。

到達目標 / Attainment Objectives

1. ピンインを正確に読めるようにする。
2. 簡体字を正確に書けるようにする。
3. 簡単な会話ができるようになる。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	後期授業の概要説明・小テスト	
2	第1課（1）	
3	第1課（2）	
4	第2課（1）	
5	第2課（2）	
6	第3課（1）	
7	第3課（2）	
8	授業のまとめ・中間テスト	
9	第4課（1）	
10	第4課（2）	
11	第5課（1）	
12	第5課（2）	
13	第6課（1）	
14	第6課（2）	
15	授業のまとめ・期末テスト	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	・平常点（出席・発言・授業態度） ・授業中の提出物（プリント・小テスト） ・中間、期末のテスト

授業の進度は、受講生の数や理解度によって変化することもある。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
話したくなる中国語	周飛帆他／朝日出版社／ISBN4-255-45103-6 ／

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

コミュニケーションペーパー／Communication Paper

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

朝鮮語と社会I(単位回復) (Z1)

12494

担当者名 / Instructor 金 惠玉

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

本講義は、語学の単位回復として設定され、言語の基礎的知識を通して朝鮮語と朝鮮社会の理解を深めます。まず、朝鮮語の基礎的知識を身につけるために、ハングルの文字と発音からはじめ、文法学習をしながら基本的な日常会話を学びます。さらに、視聴覚教材も活用し、朝鮮の社会や文化に関する教養知識を習得して、朝鮮語と朝鮮の社会文化をより理解するように学習していきます。

毎回の授業に前半は朝鮮語を学習し、後半は朝鮮の社会知識を学びます。

到達目標 / Attainment Objectives

1.朝鮮語の基礎的知識として文字と発音からはじめ文法を学びつつ、会話習得や語学能力を目指します。

2.朝鮮の社会をより理解するために、視聴覚教材の諸資料も取り入れながら、朝鮮語と社会の基本的な知識を習得します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要、ハングルの文字と発音	あいさつ言葉
第2回目	文字と発音	家族・親族の呼び方
第3回目	発音の変化	社会の位置関係の言葉
第4回目	ハングル文字の復習と基本文法(助詞)	朝鮮の料理・食べ物・飲み物
第5回目	基本文法(指定詞・指示詞)	朝鮮の食事作法
第6回目	基本文法(疑問詞・存在詞)	朝鮮の秋夕とお正月(伝統遊びと衣装)
第7回目	基本文法(丁寧形)	祝日と記念日
第8回目	基本文法(尊敬形)	朝鮮の敬老思想
第9回目	基本文法(否定形)	朝鮮人の感情表現
第10回目	基本文法(時制と連体形)	朝鮮半島の地図
第11回目	基本文法(過去形)	朝鮮の歴史遺跡地
第12回目	基本文法(接続語尾)	買い物と大衆交通
第13回目	基本文法(助数詞)	教育制度と大学入試
第14回目	朝鮮語の慣用的表現	朝鮮社会の基礎知識のまとめ
第15回目	到達度検証テスト(60分)と解説(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	検証テスト:40% 日常点(授業課題の提出・小テスト):40% 出席と授業態度:20%

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

復習をすること。出席率を守ること。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉／新幹社／／

プリントを配布します。

参考書 / Reference Books

資料プリントを配布します。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

韓国ドットコム http://www.kankoku.com

ハングルの森 http://www.hangulforest.com

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

Web - コースツール ／ Web Course Tool (Blackboard system)

その他 / Others

朝鮮語と社会II（単位回復）（Z1）

12524

担当者名 / Instructor　金 仁姫

単位数 / Credit　2

授業の概要 / Course Outline

文字と発音からはじめ、文法の基礎的なところから、易しい日常会話を学習していきます。さらに韓国の社会や文化にも触れていくことによって異文化の理解を深める。

到達目標 / Attainment Objectives

まずは文字からです。ハングルが読めるようになります。そして、基礎的な文法を学びつつ、やさしい会話を学習します。さらに、韓国のドラマや映像資料も取り入れ、社会や文化を理解します。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要・文字と発音	あいさつ言葉
第2～3回目	文字と発音	
第4回目	発音の変化	
第5回目	指定詞、指示詞	朝鮮語の概要
第6回目	漢数詞	朝鮮半島について
第7回目	固有数詞	自己紹介文を書く
第8回目	存在詞	韓国の食事作法
第9回目	否定形	韓国映画
第10回目	勧誘の表現	韓国映画
第11回目	意志や推量を表す表現	韓国人の感情表現
第12回目	一日の行動	韓国の教育・大学入試事情
第13回目	尊敬形	韓国と朝鮮の政治
第14回目	変則用言	韓国常識クイズ
第15回目	到達度検証テスト（60分）と解説（30分）	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	検証テスト：40 % 日常点（課題・小テスト）：30% その他（出席と授業態度）：30%

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

復習をすること。

教科書 / Textbooks

プリントを配布します。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

kiminhee@fc.ritsumei.ac.jp

その他 / Others

朝鮮語と文化I(単位回復) (Z1)

11150

担当者名 / Instructor 宋 基燦

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

文法事項の確認を交えながら、各言語と文化あるいは社会について講義する。
当講義は語学単位回復科目として設定されており、朝鮮語、朝鮮文化の理解を目指す。朝鮮語の基礎的知識を身につけ朝鮮語に対する理解を求める。また視聴覚教材を活用しながらの朝鮮の文化との接触を通して、受講生の朝鮮文化への理解を深めるものとする
毎回、授業の前半は韓国語を学習し、授業の後半は韓国の文化について学ぶ。

到達目標 / Attainment Objectives

1.朝鮮語と朝鮮の文化について基礎的知識を身に付けること。
2.基礎的な外国語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	・ガイダンス(授業の説明、評価方法など)・朝鮮語に関する一般知識	
2	朝鮮語の文字、ハングルの理解1(母音の製作原理と正確な発音)	
3	朝鮮語の文字、ハングルの理解2(子音の製作原理と正確な発音)	
4	朝鮮語の文字、ハングルの理解3(子音と母音の組み合わせと複合母音)	
5	ハングル文字のまとめと復習	
6	基本文法1(文章の終結語尾)	
7	基本文法2(基本文型の理解)	
8	基本文法3(尊敬語と朝鮮の敬老思想)	
9	基本文法4(朝鮮語の数詞)	
10	基本文法5(時制と連体形)	
11	決まり文句1(挨拶言葉、友達間の表現)	
12	決まり文句2(買い物に使われる)	
13	決まり文句3(ビジネスに使われる表現)	
14	朝鮮語の慣用的表現からみる朝鮮人の考え方	
15	到達度確認テスト(60分)解説(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席40% 確認テスト・小テスト(複数回)60%

このクラスの成績評価はC・Fのみである

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『初級ハングル』	梁貞模・盧載玉／新幹社／4-88400-055-2 ／

授業内容に沿ってプリントを配布することもある。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

朝鮮語と文化II（単位回復）（Z1）

11170

担当者名 / Instructor　南 裕恵

単位数 / Credit　2

授業の概要 / Course Outline

当講義は語学単位回復科目として設定されており、朝鮮語、朝鮮文化の理解を目指す。朝鮮語の基礎的知識を身につけ朝鮮語に対する理解を求める。また視聴覚教材を活用しながらの朝鮮の文化との接触を通して、受講生の朝鮮文化への理解を深めるものとする。毎回、授業の前半は朝鮮語を学習し、授業の後半は朝鮮の文化について学ぶ。

到達目標 / Attainment Objectives

1.朝鮮語と朝鮮の文化について基礎的知識を身に付けること。
2.基礎的な外国語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回	・ガイダンス（授業の説明、評価方法など）・朝鮮語に関する一般知識	
第2回	朝鮮語の文字、ハングルの理解1（母音の製作原理と正確な発音）	
第3回	朝鮮語の文字、ハングルの理解2（子音の製作原理と正確な発音）	
第4回	朝鮮語の文字、ハングルの理解3（子音と母音の組み合わせと複合母音）	
第5回	ハングルのまとめと復習	
第6回	基本文法1（文章の終結語尾）	
第7回	基本文法2（基本文型の理解）	
第8回	基本文法3（尊敬語と朝鮮の敬老思想）	
第9回	基本文法4（朝鮮語の数詞）	
第10回	基本文法5（時制と連体形）	
第11回	決まり文句1（挨拶言葉、友達間の表現）	
第12回	決まり文句2（買い物に使われる）	
第13回	決まり文句3（ビジネスに使われる表現）	
第14回	朝鮮語の慣用的表現からみる朝鮮人の考え方	
第15回	到達度確認テスト（60分）解説（30分）	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席40% 確認テスト・小テスト（複数回）60%

このクラスの成績評価はC・Fのみである

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

テキストは毎回、教員が印刷して配布する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

その他 / Others

ドイツ語と社会I(単位回復) (Z1)

12493

担当者名 / Instructor 大西 光弘

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

習得できなかったドイツ語の基礎を習得し直し、
ドイツ語の社会や文化を紹介する授業です。
授業時間の内わけは、
授業の前半－－－教科書を使っての授業時間その1.
社会の時間－－－ドイツZDFのニュース、ドイツ観光案内、ドイツの歌謡曲の紹介。
授業の後半－－－教科書を使っての授業時間その2.
文化の時間－－－オペラ(ワグナーの作品)を見てもらいます。

到達目標 / Attainment Objectives

1、テキストを一冊、とにかく読み終える。
そのために、テキストは自習のできる本を選びました。
2、ドイツの歌を、一つ覚える。
小テストの一つは、歌を暗唱するというものです。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特に無し

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	テキストは全部で22章です。はじめの易しい頃は一回の授業で2章進み、後半になって難しくなるに従って一回の授業で1章進む、というペースになると思います。	
1	1章、動詞の人称変化。2章、名詞の性。	
2	3章、名詞と冠詞の格変化。4章、不規則な人称変化。	
3	5章、前置詞の格変化。6章、後順。	
4	7章、並列接続詞と従属接続詞。8章、名詞の複数形。	
5	9章、冠詞類の格変化。10章、形容詞の格変化。	
6	11章、分離動詞。12章、話法の助動詞。	
7	13章、人称代名詞と再起代名詞。14章、命令形。	
8	15章、過去形。16章、過去分詞の作り方。	
9	17章、完了時制。	
10	18章、受動文。	
11	19章、zu不定詞。	
12	20章、比較表現。	
13	21章、関係文。	
14	22章、接続法。	
15	検証テスト(60分)およびまとめ(30分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	①最終講義で、締めくくりの検証テストを行います。評価の40%を占めます。 ②覚えておかねばならないものについて、10点満点の小試験を合計6回行います。10×6＝60点です。平常点も加味します。評価の60%を占めます。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『ゼロからはじめるドイツ語』	在間進／三修社／／自分の力でドイツ語が習得できます

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

コミュニケーションペーパー／Communication Paper

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

ドイツのニュースなどは授業中に見てもらいますが、
図書館の視聴覚ルームにもたくさんのドイツのビデオがありますから、
ぜひ見てみて下さい。

ドイツ語と社会Ⅱ（単位回復）（Z1）

12522

担当者名 / Instructor　大西 光弘

単位数 / Credit　2

授業の概要 / Course Outline

習得できなかったドイツ語の基礎を習得し直し、
ドイツ語の社会や文化を紹介する授業です。
授業時間の内わけは、
授業の前半－－－教科書を使っての授業時間その1.
社会の時間－－－ドイツZDFのニュース、ドイツ観光案内、ドイツの歌謡曲の紹介。
授業の後半－－－教科書を使っての授業時間その2.
文化の時間－－－オペラ（ワグナーの作品）を見てもらいます。

到達目標 / Attainment Objectives

1、テキストを一冊、とにかく読み終える。
　そのために、テキストは自習のできる本を選びました。
2、ドイツの歌を、一つ覚える。
　小テストの一つは、歌を暗唱するというものです。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
	テキストは全部で20章です。初めの易しい頃は1回の授業で2章進み、後半になって難しくなるに従って1回に1章進む、というペースになると思います。	
1	1章、こんちには（あいさつ）。2章、あれは何ですか（Was ist das?）	
2	3章、ケルン大聖堂（名詞の性）。4章、どこにお住まいですか（動詞の人称変化）	
3	5章、失礼ですが（疑問文と命令文）。6章、どこにいるの（du）4	
4	7章、私の名はアンネッテ（格）。8章、日曜日に、（名詞の複数形）	
5	9章、兄弟姉妹（不定冠詞）。10章、バスで（ちょっと変わった動詞）	
6	11章、郵便局で（話法の助動詞）。12章、よろしいでしょうか（再帰動詞）	
7	13章、バスの中で（分離動詞）	
8	14章、運転免許証（動詞の過去、過去分詞）	
9	15章、赤いネクタイ（どの）	
10	16章、何かニュースある？（形容詞の名詞化）	
11	17章、ランイ河畔のケルン（形容詞の比較）	
12	18章、ライン河は悠々と流れる（完了形）	
13	19章、アウトバーン（関係代名詞）	
14	20章、素晴らしいだろうに（接続法）	
15	検証テスト（60分）およびまとめ（30分）	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	①最終講義で、締めくくりの検証テストを行います。評価の40%を占めます。 ②覚えておかねばならないものについて、10点満点の小試験を合計6回行います。10×6＝60点です。平常点も加味します。評価の60%を占めます。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
『CDエクスプレス ドイツ語』	小塩節 ／白水社 ／／自分でドイツ語がものにできる本です

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

コミュニケーションペーパー／Communication Paper

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

ドイツのニュースなどは授業中に見てもらいますが、
図書館の視聴覚ルームにもたくさんのドイツのビデオがありますから、
ぜひ見てみて下さい。

ドイツ語と文化I(単位回復) (Z1)

11860

担当者名 / Instructor 林 晶

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

基礎ドイツ語の確認を交えながら、ドイツ文化事情の幅広い理解を図る。授業では基礎ドイツ語の習得を中心に据え、毎回、プリントを使用して文法事項の説明と数多くの練習問題をこなしていく。さらに適時、ドイツの歴史や文化事情を紹介していく。

到達目標 / Attainment Objectives

基礎的なドイツ語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要と導入	授業の進め方、到達目標、成績評価方法等の説明。プリント配布。アルファベット。
第2回目	ドイツ語の発音。動詞の現在人称変化(1)	ウムラウト、二重母音の発音練習。規則動詞の現在人称変化。
第3回目	ドイツ語の文章構造。	定動詞の位置。決定疑問文と補足疑問文の説明と練習。
第4回目	検証テストと解説。ドイツという国について(1)。	ヨーロッパにおけるドイツ。ドイツ語圏の国々。第1回目から第3回目までの検証テスト(5月11日)
第5回目	動詞の現在人称変化(2)	sein,haben,werden等の重要な不規則動詞の現在人称変化の説明と練習。
第6回目	動詞の現在人称変化(3)	不規則動詞の現在人称変化の説明と練習。
第7回目	名詞の性、数、格変化(1)	定冠詞と不定冠詞の1格の説明と練習。
第8回目	検証テストと解説。ドイツという国について(2)。	ドイツ国内の地誌。第5回目から第7回目までの検証テストと解説(6月1日)
第9回目	名詞の格変化(2)	定冠詞と不定冠詞ならびに人称代名詞(4格)の説明と練習。
第10回目	名詞の格変化(3)	定冠詞と不定冠詞ならびに人称代名詞(3格)の説明と練習。
第11回目	冠詞類	否定冠詞と所有冠詞の説明と練習。
第12回目	検証テストと解説。ドイツの大まかな歴史(1)	敗戦までのドイツ。第9回目から第11回目までの検証テストと解説(6月29日)
第13回目	前置詞	前置詞の格支配の説明と練習。
第14回目	話法の助動詞	助動詞を用いた文章構造の説明と練習。
第15回目	最終検証テストと解説。ドイツの大まかな歴史(2)	敗戦後のドイツ。第13回目から第14回目までの検証テストと解説(7月20日)

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	四回の検証テストの総合で評価する。CまたはF評価。四回の検証テストは、必ず受けること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

練習問題用のプリントは第1回目の授業で配布する。必ず受け取るように。

教科書 / Textbooks

プリント使用。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

ドイツ語と文化II（単位回復）（Z1）

11892

担当者名 / Instructor 林 晶

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

基礎ドイツ語の習得とドイツ文化事情の幅広い理解を図る。授業では過去の表現等を含む後期基礎ドイツ語の理解と習得を中心に据え、毎回、プリントを使用して文法事項の説明と練習をこなしていく。さらに適時、教育、住宅建築、環境問題、外国人労働者といったドイツ人の抱える身近なドイツ文化事情を紹介していく。

到達目標 / Attainment Objectives

基礎的なドイツ語運用能力の習得と異文化理解に関する基礎的な知識の習得を目指す。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
第1回目	授業の概要と導入	授業の進め方、到達目標、成績評価方法等の説明。ドイツ語 I の総復習。プリント配布。
第2回目	複合動詞の現在形	分離動詞と非分離動詞の説明と練習。
第3回目	接続詞（1）、間接疑問文	並列の接続詞と副詞的接続詞の説明と練習。間接疑問文の作り方と練習。
第4回目	検証テストと解説。ドイツの教育	ドイツの学校制度について。第1回目から第3回目までの検証テスト（10月19日）
第5回目	接続詞（2）	従属の接続詞、副文の説明と練習。
第6回目	命令形	命令形の作り方と練習。
第7回目	未来形、話法の助動詞	未来形の説明と練習。話法の助動詞を用いた構文の練習。
第8回目	検証テストと解説。ドイツの建築	バウハウスの運動について。第5回目から第7回目までの検証テスト（11月16日）
第9回目	形容詞と副詞（1）	形容詞と副詞の用法、形容詞の格変化の説明と練習。
第10回目	形容詞と副詞（2）	形容詞と副詞の比較表現の説明と練習。
第11回目	過去の表現（1）	規則動詞と不規則動詞の三基本形の説明と練習。
第12回目	検証テストと解説。ドイツの環境問題	ドイツのゴミ処理と環境問題について。第9回目から第11回目までの検証テスト（12月14日）
第13回目	過去の表現（2）	過去形の作り方と練習。
第14回目	過去の表現（3）	現在完了形の作り方と練習。
第15回目	最終検証テストと解説。外国人労働者	多民族国家になりつつあるドイツについて。第13回目から第14回目までの検証テスト（1月18日）

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	四回の検証テストの総合で評価する。CまたはF評価。四回の検証テストは必ず受けること。

四回の検証テストは必ず受験すること。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

授業ではプリントを使用するが、以前、受講した際の教科書を持参するように。

教科書 / Textbooks

プリント使用。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

フランス語と社会I(単位回復) (Z1)

11851

担当者名 / Instructor 内藤 義博

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

毎回、フランスの社会についてテーマを決めて紹介したあと、予定の学習項目にそって文法の説明と練習を行ない、その後それを各自復習し、授業の最後に小テストを実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

フランスの社会について関心をもつとともに、フランス語基礎の習得を目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	世界のフランス語圏	近接未来、近接過去
2	フランスの地理	比較級、最上級、数字(1～29)
3	フランスの歴史1	補語人称代名詞
4	フランスの歴史2	非人称動詞、数字(30～69)
5	日仏関係	代名動詞、ジェロンディフ
6	フランスとEU	一週間・一日の生活を話す
7	フランス人のアメリカ嫌い?	疑問文の作り方(疑問副詞)
8	前半講義の総括と小テスト(講義30分、小テスト60分)	
9	フランス人の宗教	複合過去形
10	恋愛、結婚、家族	半過去形
11	フランスの経済	複合過去形と半過去形の使い分け
12	フランス人の労働	中性代名詞
13	フランス人のスポーツ	単純未来形
14	フランスの政治	関係代名詞、受動態
15	後半講義の総括と小テスト(講義30分、小テスト60分)	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。合計点の6割以上とること。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

毎回プリントを配布する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

フランス語と社会II（単位回復）（Z1）

11882

担当者名 / Instructor　内藤 義博

単位数 / Credit　2

授業の概要 / Course Outline

毎回、フランスの社会についてテーマを決めて紹介したあと、予定の学習項目にそって文法の説明と練習を行ない、その後それを各自復習し、授業の最後に小テストを実施する。

到達目標 / Attainment Objectives

フランスの社会について関心をもつとともに、フランス語基礎の習得を目標とする。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	パリという街1	挨拶、名前、国籍・職業、主語人称代名詞、être, s'appeler
2	パリという街2	年令、兄弟、不定冠詞、否定文、数字（1～30）、avoir
3	パリという街3	住んでいる町、好きなものを言う、定冠詞、habiter, aimer
4	パリという街4	～語を話す、～を着ている、er動詞、冠詞の使い分け
5	フランスの地方1	品質形容詞、疑問文の作り方（基本形）、faire
6	フランスの地方2	所有形容詞
7	フランスの地方3	近接未来・近接過去、前置詞と冠詞の縮約、allerとvenir
8	前半講義の総括と小テスト（講義30分、小テスト60分）	
9	フランスの地方4	部分冠詞、数量の表現　prendre　manger　boire
10	フランスの学校	非人称動詞、数字（30～69）
11	フランス人とヴァカンス	代名動詞
12	フランスの料理	一週間・一日の生活を話す、さまざまな動詞
13	フランスのエリート	疑問形容詞、指示形容詞、強勢形人称代名詞
14	つづり字と発音	
15	後半講義の総括と小テスト（講義30分、小テスト60分）	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	毎回授業の最後に実施する小テストの合計で判定する。合計点の6割以上とること。

このクラスの成績評価はC・Fのみである。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

教科書 / Textbooks

毎回プリントを配布する。

参考書 / Reference Books

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

フランス語と文化I(単位回復) (Z1)

12501

担当者名 / Instructor 永都 軍三

単位数 / Credit 2

授業の概要 / Course Outline

フランス語の初級文法とフランスの文化を学ぶ授業です。取り上げる文化は、スケジュールに記すように、多方面にわたる。テキストで問題にされている文化だけでなく、プリントなどを用意して、例えば、映画・歌・古代から近代までのフランス語の歴史なども取り上げます。前期と後期とでは、文化においてはダブル部分もありますが、文法では、前期が名詞とその仲間を中心に、後期は動詞とその仲間を中心に授業を展開することにしています。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語の特徴のいくつかを理解し、またフランス文化の一端にふれることを通じて、より深い興味を自覚し自ら追求できるようになってもらうことが、担当者の到達目標です。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

とくにありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日(第N回)	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	名詞と冠詞(1) フランス人のファースト・ネーム	名詞の「性」と「数」
2	名詞と冠詞(2) 印象派の画家たちと日本	不定冠詞・定冠詞
3	名詞と冠詞(3) 曜日と月、ヴァカンス	
4	数詞 日本のアニメや漫画	
5	品質形容詞 フランスの言語事情(方言や地域語)	形容詞の位置(どこに置くか?)
6	動詞の現在活用(1) 時刻表現「いま何時ですか」「いま～時～分です」	規則動詞、及び不規則動詞etre/avoirの2つ
7	疑問文 フランス人の食事	
8	否定文 フランス料理	
9	指示形容詞と所有形容詞 フランス映画(1)	
10	疑問代名詞 フランス映画(2)	
11	動詞の現在活用(2) フランス映画(3)	aller/venir
12	近接未来と近接過去 シャンソン(1)	「恋心」「ミラボー橋」
13	部分冠詞 シャンソン(2)	「ラ・ボエーム」
14	動詞の現在活用(3) フランス語の歴史(1)「古フランス語」の時代まで	pouvoir/vouloir
15	中性代名詞 フランス語の歴史(2)「中期フランス語」と「近代フランス語」	en/y

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

授業の中で指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席状況、小テスト(文法と文化について少なくとも5回行います)の結果、受講姿勢などによって評価します。

評価は合格のCか不合格のFかのいずれかです。終盤になって自分の出席状況を気にして、「レポートでも何でもしますから!」と哀願しに来る受講生が時々ありますが、就職活動などで休まざるを得ないことは理解できるとしても、そのような哀訴をしないで済むように平素から気を

つけてください。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

この科目を受講するのは3，4回生あるいはそれ以上の方が多いが、就職活動などで休むような時は、予め担当者に通知していただきたい。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ラルカンスィエル	江島泰子／第三書房／978-4-8086-2066-0／

参考書 / Reference Books

参考文献は授業の進度に応じて、適宜推薦していきますので、どしどし読んでいっていただきたいですね。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 ／ Other

「その他」は担当者のメールアドレスなどですが、それは教室で要請があればお教えします。

その他 / Others

フランス語と文化II（単位回復）（Z1）

12532

担当者名 / Instructor　永都 軍三

単位数 / Credit　2

授業の概要 / Course Outline

フランス語の初歩的文法を動詞を中心に学ぶとともに、フランスやフランス語圏の文化について理解を深めます。一部は前期科目「フランス語と文化I」とかぶるものもあります。シャンソン・フランセーズとフランス映画については、まだ未定です。受講生諸君の要望を考慮したいからです。

到達目標 / Attainment Objectives

フランス語とフランスの文化に対して、いっそうの親近感と理解をもってもらうことが、目標です。

履修しておくことが望まれる科目 / Required Preparatory Study

特にありません。

授業スケジュール / Course Schedule

授業日（第N回）	テーマ / Theme	キーワード / Key Word
1	非人称表現（非人称動詞）（1） フランスの風土と気候	
2	非人称表現（非人称動詞）（2） スポーツ	
3	目的補語人称代名詞 ユネスコ世界遺産（フランス篇）	
4	命令法 フランスの祝祭日	
5	規則動詞と不規則動詞の現在活用 移民問題	faire/partir/sortir
6	複合過去（1） 教育制度（1）	
7	複合過去（2） 教育制度（2）	
8	比較構文 フランス語の歴史（1）古代から「古フランス語」時代まで	
9	数詞 フランス語の歴史（2）「中期フランス語」から「近代フランス語」へ	
10	代名動詞の現在活用 シャンソン・フランセーズ（1）	
11	代名動詞の用法 シャンソン・フランセーズ（2）	
12	半過去 シャンソン・フランセーズ（3）	
13	単純未来 フランス映画（1）	
14	非現実を仮定し、その帰結を述べる（1） フランス映画（2）	
15	非現実を仮定し、その帰結を述べる（2） フランス映画（3）	

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study
(大学院科目 / Graduate Courses) 授業の方法 / Study Metho

授業のなかで、進度に応じて、指示します。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 / Kind	割合 / Percentage	評価基準等 / Grading Criteria etc.
平常点評価	100 %	出席状況、受講姿勢、そして何よりも最低でも5回は行なう予定の小テスト（文法と文化についての）などによって、総合的に評価します。

出席率や受講態度がきわめて悪く、小テストを3回以上受けていない人はF、つまり「不可」と判定しますから、十分注意しましょう。合格者は一律にCとなります。AやBの評価は絶対にありません。授業も終盤になって「私の出席状況はどうなっていますか？」「レポートでも何でも出しますから、通してください！」と言ってくる人が時にみられるが、そのような「言い訳」は認めることはできません。就職活動などでどうしても休まざるを得ない場合は、予め私に伝えるようにしましょう。

受講および研究に関するアドバイス / Advice to Students on Study and Research Methods

授業では意識的に大きな声を出し、腹式呼吸をすることを心がけましょう。

教科書 / Textbooks

書名 / Title	出版社・ISBNコード・コメント / Author, Publisher, ISBN Code, Comment
ラルカンスィエル	江島泰子／第三書房／978-4-8086-2066-0／

参考書 / Reference Books

授業中に順次推薦・指示していきます。どしどし読んで教養を深めていただきたいですね。

参考になる WWW ページ / Web Pages Useful for Reference

教員との連絡方法 / How to Contact Teaching Staff

学生との直接対話／Talk with Students

その他 / Others

辞書の活用。紙の辞書が一番望ましいが、電子辞書でもよいから、教室に必ず持参して活用しましょう。